



Kodak

i5x50 シリーズスキャナー

ユーザーズガイド

サードパーティライセンス

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

Copyright (C)2009-2013 D. R. Commander. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

目次

1 概要	1
参考資料	2
アクセサリ	2
同梱品一覧	3
スキャナーのコンポーネント	4
前部：すべてのモデル	4
前部：i5850 および i5850S スキャナー	6
前部プリンタアクセス部：すべてのモデル	7
後部プリンタアクセス部	7
内部：すべてのモデル	8
後部：i5250/i5250V/i5650/i5650V/i5650S スキャナー	9
後部：i5850 および i5850S スキャナー	10
2 インストール	11
スキャナーの接続	11
Kodak ドライバソフトウェアのインストール	11
出力トレイの取り付け：i5x50/i5x50V スキャナー	12
出力トレイの取り付け：i5650S/i5850S スキャナー	12
電源コートと USB ケーブルの接続：i5250/i5250V/i5650/i5650V/i5650S スキャナー	12
電源コードと USB ケーブルの接続：i5850/i5850S スキャナー	13
スキャナーの電源をオンにする	14
電源モード	16
3 スキャン	17
スキャナーの準備	17
入力エレベータの調整	17
オプションの延長トレイの取り付け	19
出力トレイの調整	19
ダングラールエクステンションの変更（i5250、i5250V、i5650、i5650V、i5850）	21
ショートドキュメント用アダプタの取り付け	21
スキャナーの高さ調節（i5850/i5850S スキャナーのみ）	22
背面排紙口の使用	23
背面排紙トレイアクセサリの取り付け	24
書類の準備	25
原稿のスキャン	26
スキャンの停止と再開	27
オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンの使用	27
[準備完了] 画面	28
搬送路のクリア	29
エレベータを下げる	29
カウンタ切り替え	30
背面排紙口	30
オペレータログの表示	30
スキャナー情報の表示	31
診断	31
スキャン履歴の表示	31
メンテナンスメータの表示	32
印字テストの実行	34
セルフテストの実行	35
カウントのみ	35

カウントのみ - 重送	36
カウントのみ - ソートオプション	37
カウントのみ - 簡易ソート	37
カウントのみ - バーコードソート	37
カウントのみ - パッチソート	38
パッチテストの実行	38
パッチリーダーテストの実行	39
超音波重送検知キャリブレーションの実行	40
タッチスクリーン キャリブレーションの実行	40
変更	40
スキャンアプリケーションでインデクシングが有効な場合の [準備完了] 画面 (i5650/i5650S/i5850/i5850S スキャナーのみ)	41
重送原稿の検証	42
原稿詰まりの対処方法	43
[設定] 画面	44
ユーザーカウンタ	45
自動エレベータ	45
ホッチキス / 金属防護	46
アラーム音量の変更	46
音声の選択	47
[単位]	47
ミスフィード OCP コントロール	48
デュアルスタッキングトグルパッチ	48
優先処理	49
アプリケーションの優先処理	51
言語の選択	52
印刷中	52
最長サイズ検知	53
自動的にスキャンを開始	54
排紙方法	54
スキャン方法	55
スキャン後に回転	55
ミスフィード検出	56
スキャナー速度	56
重送検知	57
重送センサ	57
オフセット印刷の変更	58
デュアルスタッキング	59
すべての設定をリセット	59
4 ドキュメントの印字	61
プリンタの仕様	62
インクカートリッジの取り付け / 交換	63
前部プリンタへのアクセス	63
後部プリンタへのアクセス (i5850 および i5850S)	64
後部プリンタへのアクセス (i5250/i5250V/i5650/i5650V/ i5650S)	64
インク カートリッジの取り付け	64
印字位置の変更	66
前部および後部印字キャリアの間のインクカートリッジの移動	67
インクプロッタの取り付け / 交換 (前部プリンタのみ)	68
問題解決	69

5 ソートとスタッキング	71
i5650S および i5850S スキャナー用の出力トレイの調整	71
上段トレイの角度の調整	73
上段トレイまたは後部排紙トレイのサイドガイドの調整	74
後部排紙トレイの取り外し	74
ダングラーの使用法	75
問題解決 - i5650S および i5850S スキャナー	75
管理デュアルスタッキングアクセサリ (i5650S または i5850S では使用不可)	77
スタッキングの場所	77
推奨設定	78
推奨用紙の仕様	78
縦送りスキャンでの長さ保護の有効化	79
確実なスタッキングのためのヒント	80
管理デュアルスタッキングアクセサリの調整	80
スタック #1 とスタック #2 でのサイドガイドの調整	80
短原稿インサート	81
エンドストップの調整	82
管理デュアルスタッキングに対する優先処理	82
デュアルスタッキングトグルパッチ	82
問題解決 - 管理デュアルスタッキングアクセサリの調整	83
6 パッチ読み込み	85
パッチページとは	85
パッチページの読み込み場所	86
パッチコード要件	88
カラー切替パッチ	88
パッチパターンの詳細	89
バーパターンの詳細	92
パッチの位置決定	95
用紙の詳細	95
7 メンテナンス	97
クリーニング頻度チャート	97
クリーニング用品	98
スキャナーカバーの開け方	98
清掃手順	99
出カトレイと入力エレベータの掃除	100
ローラの清掃	100
セパレーションローラタイヤのクリーニング手順	101
フィードモジュールタイヤのクリーニング手順	102
切替式ホワイトバックグラウンドストリップのクリーニング方法	102
イメージングガイドのクリーニング	103
トランスポートクリーニングシートによる清掃	103
クリーニングの最終手順	103
交換手順	104
フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順	104
セパレーションローラ、セパレーションローラタイヤの交換手順	108
プリセパレーションパッドの交換手順	109
イメージングガイドの交換手順	110
切替式ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法	111
消耗品	112

8	トラブルシューティング	113
	問題解決	113
	電源ボタン/インジケータライト	115
	ソフトウェアのアップグレード	115
	サービスセンターへの問い合わせ	115
付録 A	仕様	117
	システム要件	118
付録 B	保証 –米国、カナダ限定	119

安全性について

ユーザへの注意事項

- デスクトップスキャナーは 57.6 kg (i5650S モデルのみ 65 kg) の重量に耐えられる安定した水平な場所に置き、スキャナーの周囲には十分なスペースを確保してください。
- デスクトップスキャナーを移動する場合、少なくとも 2 名でスキャナーを持ち上げて、安全な方法で運んでください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーは必ず室内の湿気のない場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 機器の電源ソケットを外すときは、コードではなくプラグを持ってください。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。
- 電源コードを破損しないよう注意してください (結ぶ、切る、改造するなどの行為を含む)。また、破損した電源コードは使用しないでください。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続し、アースを付けてください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを設け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外し、サービスセンターに問い合わせてください。
- 『ユーザーズガイド』に記載された場合を除き、スキャナーを解体、修理または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルを接続したままでスキャナーを移動しないでください。電源コードとインターフェースケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- Kodak Alaris が推奨する清掃手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の化学物質安全データシート (MSDS) は、Kodak Alaris のウェブサイト、www.kodakalaris.com/en-us/about/ehs で入手できます。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号、またはキーワードを提示する必要があります。消耗品およびカタログ番号については、「消耗品」ページの 112 を参照してください。
- このデバイスは表示装置の作業環境で表示のダイレクトフィールドでの使用を対象としていません。表示装置の作業環境で妨げとなる反射を避けるため、このデバイスを表示のダイレクトフィールドに置かないでください。
- ユーザやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項として以下のものがあります (ただし、これに限りません)。
- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナーまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

警告ラベル



注意：可動部品。触らないでください。



注意：高温。触らないでください。

環境に関する情報

- Kodak i5x50 シリーズスキャナーは、世界各国の環境要件に対応できるよう設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。
- リサイクルや再利用については、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は以下を参照してください）
www.kodakalaris.com/go/scannerrecycling。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- Kodak i5x50 スキャナーは、国際エネルギースタープログラムに適合しており、出荷時にはスリープモードへの移行時間が15分に設定されています。

電池に関する情報

本製品にはユーザ修復不能の電池が含まれています。資格を持ったサービス担当の技術者のみが、この電池の取り外しや交換を行うことができます。

ヨーロッパ連合 (EU)



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集 / 回収プログラムの詳細については、最寄りの Kodak Alaris 代理店にお問い合わせください。または、www.kodakalaris.com/go/recycle を参照してください。

REACH 規則 ((EC) No. 1907/2006) 第 59 (1) 条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、<http://www.kodakalaris.com/en-us/about/ehs/product-declarations> を参照してください。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).

[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70 dB (A) 以下]

EMC 声明 - for Kodak i5250/i5250V/i5650/i5650V/i5650S スキャナー

米国：この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、個人の住宅に取り付けた場合に、有害な干渉から適切に保護することをその目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、特定の設置条件で、干渉が起こらないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合（装置をオン / オフにして確認）は、以下の方法をいくつか試して問題を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機との距離を広げる
- 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する
- 取扱店または信頼できるラジオ / テレビ関係の技術者に問い合わせる。

法令遵守に責任のある当事者により明白に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント / アクセサリとして使用するよう指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

韓国：この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파 적합 등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本：この装置は、クラスB機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この装置は、クラスB機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - B

EMC 声明 - Kodak i5850/i5850S スキャナー

米国：本製品は、FCC 規定のパート 15 に準拠するクラス A デジタル製品の規定に適合していることが検査によって確認されています。これらの制限は、商業環境で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。住宅地区でこの装置を使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザー側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

ヨーロッパ連合：警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

日本：この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

台湾：警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

中華人民共和國：警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

声明，该产

此为A级产品，在生活环境中心可能会造成无线申干扰。在这种情况下，可能需要

韓國：この装置は、業務用の EMC 登録規格を取得しています。誤って販売または購入された場合は、家庭用の装置と交換してください。

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못 판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

1 概要

Kodak i5x50 スキャナーは、以下のモデルが用意されています。



Kodak i5250 スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 150 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り) 処理し、Kodak パーフェクトページを搭載したデスクトップ用両面カラーレスキャナーです。

Kodak i5250V スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 150 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り) 処理し、Kofax VRS[®] Professional¹ 内蔵の CGA ハードウェアを搭載したデスクトップ用両面カラーレスキャナーです。

Kodak i5650 スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 180 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り) 処理し、Kodak パーフェクトページを搭載したデスクトップ用両面カラーレスキャナーです。

Kodak i5650V スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 180 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り) 処理し、Kofax VRS[®] Professional 内蔵の CGA ハードウェアを搭載したデスクトップ用両面カラーレスキャナーです。

Kodak i5650S スキャナー — i5650S スキャナーには i5650 スキャナー² と同様の機能に、横向き印刷したパッチ、原稿の長さ、原稿の重送、バーコードなどの条件に基づいて物理的に原稿をソートしてトレイに仕分ける機能が追加されています。

Kodak i5850 スキャナー — A4 サイズ原稿を毎分 210 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り) 処理し、Kodak パーフェクトページを搭載したフロアスタンド型両面カラーレスキャナーです。



Kodak i5850S スキャナー — i5850S スキャナーには i5850 スキャナー² と同様の機能に、横向き印刷したパッチ、原稿の長さ、原稿の重送、バーコードなどの条件に基づいて物理的に原稿をソートしてトレイに仕分ける機能が追加されています。

この『ユーザーズガイド』では、Kodak i5x50 シリーズスキャナーの使用および保守手順について説明します。特に指定がない限り、本マニュアルに記載されている情報は全モデルに該当します。

注：

- 本ガイドに記載の図では Kodak i5250/i5650 スキャナーを使用しています。
- Kodak i5250V/i5650V スキャナーは Kofax VRS 対応のアプリケーションと連携することを目的としています。これらのモデルでは、Kodak パーフェクトページに対応していません。

1.VRS は Kofax の登録商標です。

2. ソートオプションは 1 分ごとにページを減らす場合があります。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に、次の資料が用意されています。

- **インストールガイド** — スキャナーの設置を手順ごとに説明します。
- **スキャンセットアップガイド** — Kodak i5x50 スキャナーには TWAIN データソースおよび ISIS ドライバが同梱されています。VRS は Kodak i5250V/i5650V スキャナーのみ同梱されています。各スキャンセットアップガイドでは、基本的なイメージ処理機能の使用方法を説明します。スキャンセットアップガイドは、インストール CD/DVD に PDF ファイルで収録されており、Kodak Alaris の Web サイト (www.kodakalaris.com/go/scanners) からダウンロードできます。
- **リファレンス ガイド** — スキャナーをクリーニングする手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばにおいて置いて、いつでも参照できるようにしてください。

アクセサリ

次のアクセサリのカタログ番号については、「消耗品」ページの 112 を参照してください。

Kodak プリンタアクセサリ (前部および後部) — スキャンした原稿に情報を効果的に印字できます。プリンタは、スキャナーの最高速度で印字可能です。印字内容として、日付、時刻、原稿カウンタ値、固定文字列を使用できます。詳細については、「4 ドキュメントの印字」ページの 61 を参照してください。

Kodak マニュアルフィードシェルフ — 原稿を手動給紙する場合、マニュアルフィードシェルフを使用すると、作業面が平滑になり、1 枚ずつ給紙できます。マニュアルフィードシェルフは簡単に取り付けたり、取り外すことができます。Kodak マニュアルフィードシェルフには、シェルフと 2 つのサイドガイドがあり、適切な位置に調整することで正しくスキャンができます。

Kodak リード エッジ アラインメント 排紙トレイ アクセサリ — スキャン後に原稿が停止する出力トレイに原稿の先端を合わせる際にこのアクセサリを使用します。

延長トレイ — 延長トレイは 43.2cm 以上の原稿をスキャンするときに使用します。また、66.04cm、76.2cm および 86.36cm の長さに対応しています。

Kodak 薄紙専用フィーダキット — 紙厚 25g/m² ~ 80 g/m² (7 ~ 20 ポンド) の軽量紙を給紙できます。Kodak 薄紙専用フィーダキットには、専用のフィードモジュールとセパレーションローラがあり、スキャナー搬送部に薄紙を給紙できるように特別に設計されています。

Kodak 管理デュアルスタッキングアクセサリ (i5850 のみ) — サイズや原稿に印刷されたパッチコードに応じて、スキャンした原稿を実際にスタッキングすることができます。重送を発生させるような原稿をスタックしておく場所も選択します。

i5250 および i5650 スキャナー用 Kodak 背面排紙トレイ — スキャナー背面に取り付け、原稿がこのトレイに直接重なるようにします。

Kodak A3 フラットベッドアクセサリ — Kodak A3 フラットベッドにより、Kodak i5x50 スキャナーモデルを使って、11 x 17 インチ (A3) までの規格外のドキュメントをスキャンできるようになります。

Kodak リーガルフラットベッドアクセサリ — Kodak リーガルフラットベッドにより、規格外のドキュメントをスキャンできるようになります (最大: リーガル / 8.5 x 14 インチ / 216 x 356 mm)。

同梱品一覧

梱包品内容の確認

- Kodak i5250、i5250V、i5650、i5650V、i5650S、i5850、および i5850S スキャナー
- 出力トレイ
- ショートドキュメントアダプタ
- USB ケーブル
- AC 電源コードセット
- 交換タイヤとプレセパレーションパッド
- 後部排紙トレイ (i5650S/i5850/i5850S スキャナーのみ)
- 次の物品が入ったフォルダ
 - インストール CD/DVD
 - アプリケーション CD/DVD
 - ダングラーエクステンション
 - ユーザーズガイド (英語版)
 - リファレンスガイド (各国語)
 - インストールガイド
 - クリーニングキットのサンプル
 - その他のパンフレット / 安全性データシート

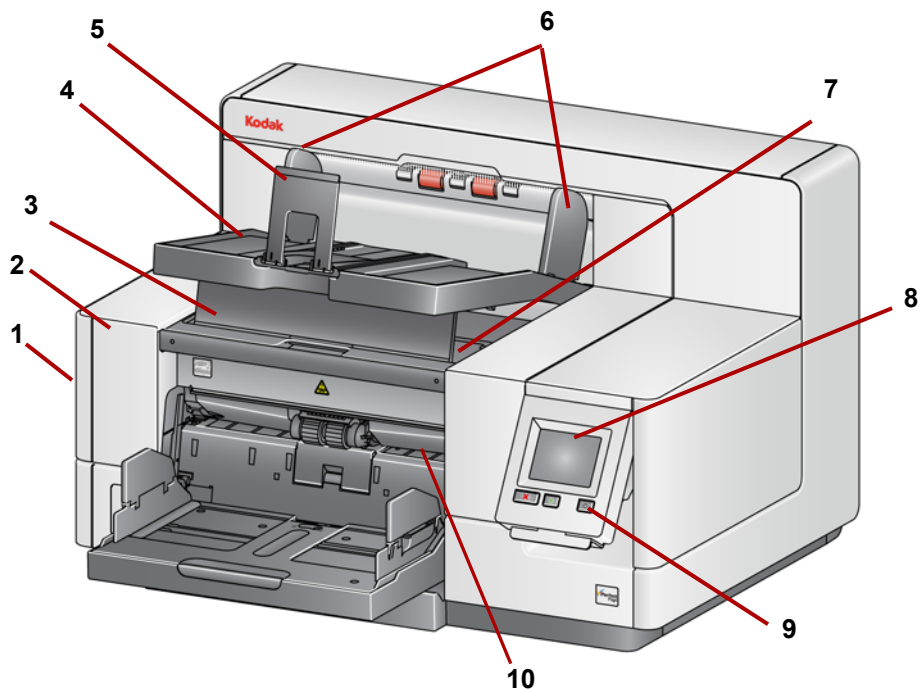
Kodak i5650S および i5850S スキャナーには、以下の追加または代替コンテンツが含まれています。

- 上段出力トレイ
- 上段出力トレイおよび後部排紙トレイ用サイドガイド
- 代替エンドストップエクステンション
- ダングラーエクステンション
- 次の物品が入ったフォルダ

注：Kodak i5650S、i5850、または i5850S スキャナーのご購入には、フィールドサービス担当者による開梱と設置サービスが含まれています。お客様側での Kodak i5650S/i5850/i5850S スキャナーの開梱 / 設置はご遠慮ください。i5650S/i5850/i5850S スキャナーの設置に関する詳細については、以下のサイトをご覧ください www.kodakalaris.com/go/IMcontacts。

スキャナーのコンポーネント

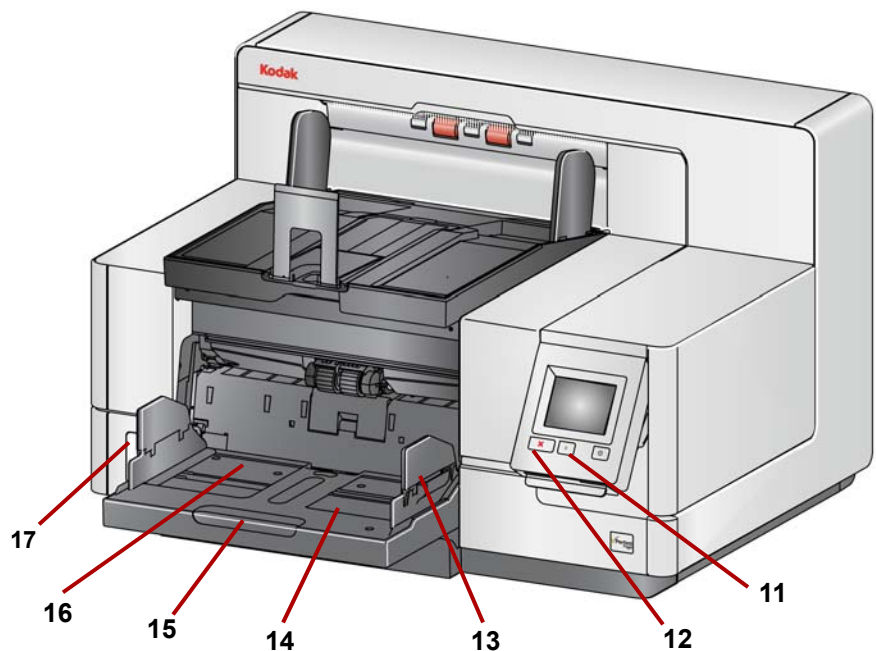
前部：すべてのモデル



- 1 **スキャナーカバーリリースラッチ**（図に記載なし、「スキャナーカバーの開け方」ページの 98 参照）— スキャナーの左側にあります。レバーを手前に引くとスキャナーのカバーが開きます。
- 2 **スキャナーカバー** — このカバーを開いて内部コンポーネントにアクセスします。
- 3 **出力トレイの高さ調節タブ** — スキャンするときに、このタブを使用して出力トレイの前を持ち上げると、スムーズに排紙できます。出力トレイを持ち上げると、このタブは自動的に外れてプリンタアクセスカバーに収まります。
- 4 **出力トレイ** — スキャン済みの原稿を収納します。
- 5 **原稿ストッパー** — 原稿がまとめやすくなります。このストッパーはスキャンする原稿のサイズに合わせて前後に動かしたり、折りたたむことができます。
- 6 **出力トレイのサイドガイド** — 書類サイズに合わせて内側や外側に動かしたり、折りたたむことができます。
- 7 **前部プリンタアクセスカバー** — （出力トレイの下にある）このカバーを開くと、フィードモジュールリリースノブの使用や、プリンタの位置の変更とメンテナンスが行えます。スキャナーのシリアル番号とKナンバーもその付近に記載されています。
- 8 **タッチスクリーン/オペレータコントロールパネル** — タッチスクリーンで、さまざまな機能を実行できます。この機能の使用方法については、「3 スキャン」ページの 17 を参照してください。
- 9 **電源ボタン** — 押すとスキャナーの電源が入ります。2秒間押すと、スキャナーは省電力モードになります。

- 10 **フィードモジュールリリースレバー** — フィードモジュールを清掃、交換する場合、このレバーを右に押し、モジュールを取り外します。このリリースレバーを使用する場合、スキャナーのカバーを開ける必要があります。
- 11 **[開始/再開] ボタン** — このボタンを押すと、スキャン開始または再開します。
- 12 **[停止/一時停止] ボタン** — 1回押しとスキャンを一時停止します（[開始/再開] ボタンを押すと、スキャンを再開します）。2回押しと、スキャンが終了します。
- 13 **入力エレベータのサイドガイド** — スキャンする原稿のサイズに合わせて、ガイドを内側または外側にスライドします。サイドガイドは、原稿の幅に合わせて、左側、中央、右側に調整できます。サイドガイドを最適な位置でロックすることもできます。

スキャナーを使用していないときに入力エレベータを閉じる場合は、スキャナーガイドを折りたたみます。



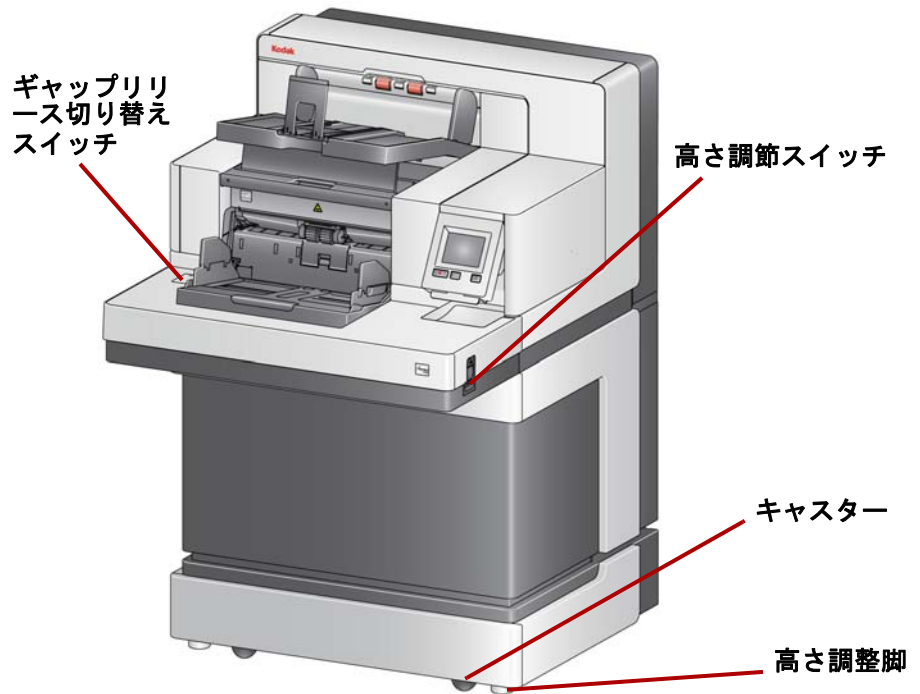
- 14 **入力エレベータ** — 最大 750 枚までの原稿をセットできます (20 ポンド / 80 g/m² 紙換算)。入力エレベータにセットする原稿の枚数は、25 枚、100 枚、250 枚、500 枚、750 枚から選択できます。使用していないときは折りたたむことができます。
- 15 **入力エレベータエクステンション** — このエクステンションを引き出すと、35.6cm 以上の長さの原稿をセットできます。
- 16 **前部印字位置インジケータ** — プリンタアクセサリを使用する場合、入力エレベータの端の目印で原稿の印字位置を確認します。
- 17 **ギャップリリース切り替えスイッチ** (i5250/i5250V/i5650/i5650V/i5650S スキャナー) — 特別な処理を必要とする原稿をスキャンする場合、+ ボタンを押して、フィードモジュールとセパレーションローラ間のギャップを調節します。

注：i5850/i5850Sスキャナーではギャップリリース切り替えスイッチの位置が異なります。詳細については、「前部：i5850 および i5850S スキャナー」ページの 6 を参照してください。

追加調整はソーターモデルスキャナー（i5650S および i5850S）で可能です。「i5650S および i5850S スキャナー用の出力トレイの調整」ページの 71 を参照してください。

前部：i5850 および i5850S スキャナー

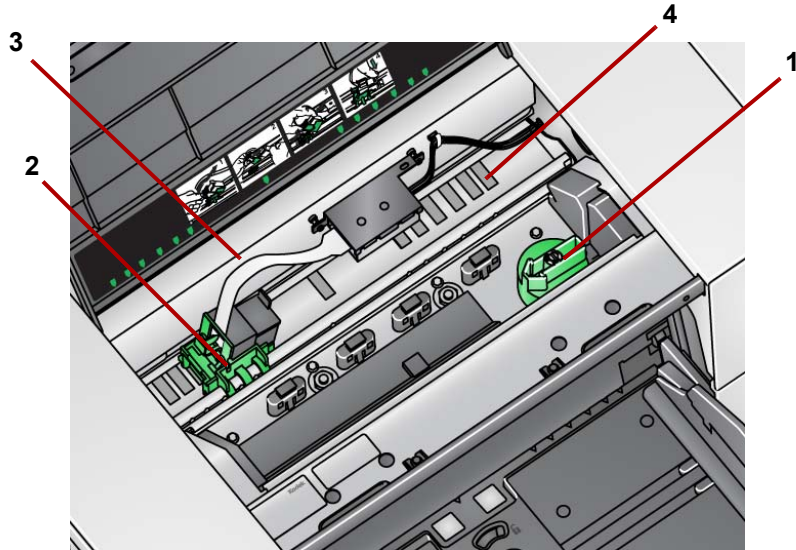
前述のコンポーネントに加え、Kodak i5850/i5850S スキャナーにはスキャナーの作業テーブルの高さを調節する作業テーブル高さ調節スイッチがあります。作業テーブルは、およそ 10 インチ上下に移動することができます。



スキャナー下部には 4 つのキャスターと高さ調整脚があります。スキャナーを移設する場合は、これらの調整脚を上げる必要があります。スキャナーを移動して別の場所に配置する場合は、あらかじめテクニカルサポートまでお問い合わせください。

前部プリンタアクセス部： すべてのモデル

Kodak プリンタアクセサリを使用していない場合でも、アクセスすることがあります。フィードモジュールリリースノブはこの内部にあります。



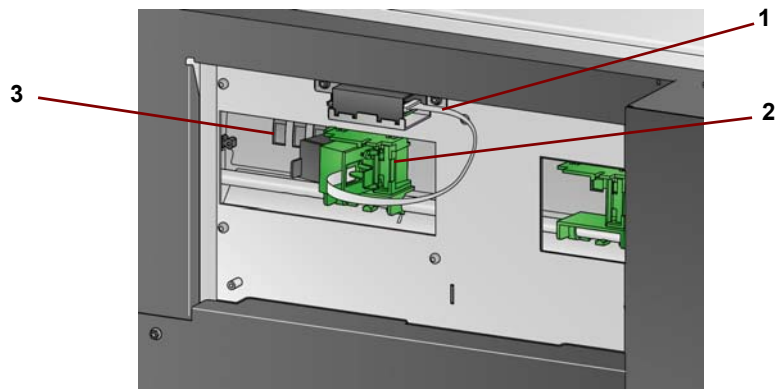
- 1 **フィードモジュールリリースノブ** — このノブを回すと、フィードモジュールを取り外してクリーニングや交換ができます。矢印を右側に回して、フィードモジュールを取り外します。

以下のコンポーネントは前部印刷用であり、プリンタアクセサリが取り付けられている場合に限り、カバー内部にあります。

- 2 **インクカートリッジホルダ/カートリッジ** — 原稿を印字する場合に使用します。
- 3 **プリンタケーブル** — このケーブルをインクカートリッジホルダに接続すると、プリンタと通信が行えます。
- 4 **印字位置** — i5x50スキャナーでは原稿の表面に印字することができます。前部プリンタを使用する場合は、最大 39 の位置が使用できます。

後部プリンタアクセス部

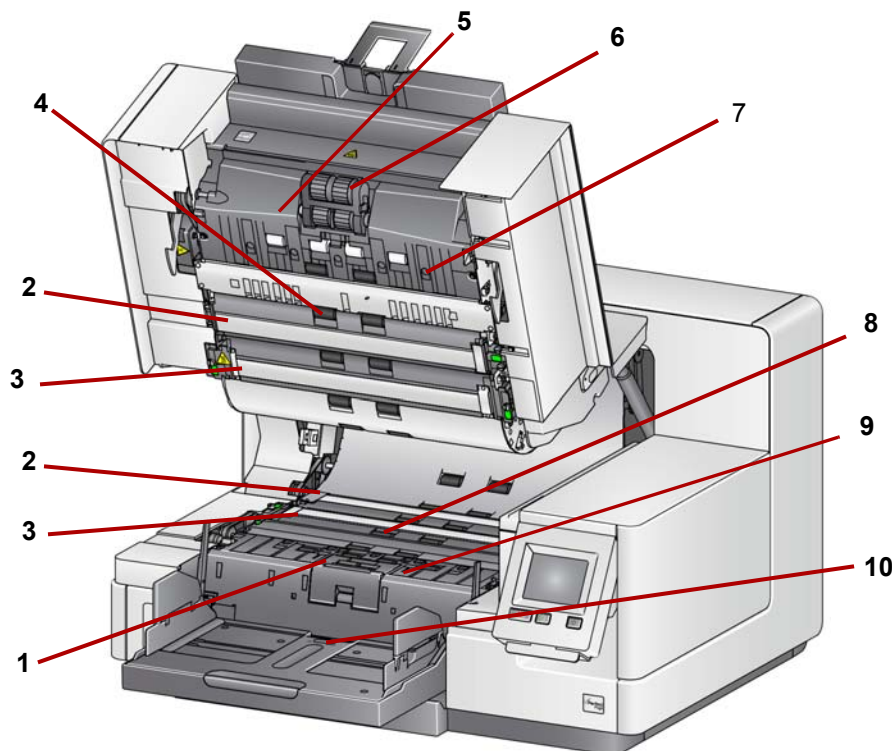
以下のコンポーネントは後部印刷用であり、プリンタアクセサリが取り付けられている場合に限り、カバー内部にあります。



- 1 **プリンタケーブル** — このケーブルをインクカートリッジホルダに接続すると、プリンタと通信が行えます。
- 2 **インクカートリッジホルダ/カートリッジ** — 原稿を印字する場合に使用します。
- 3 **印字位置 (レールの下側にある)** — i5850/i5850S スキャナーでは前部および後部での印刷が可能です。後部プリンタを使用する場合は、最大 24 の位置が使用できます。一度に 1 つのプリンタ (前部または後部) のみ使用できます。

内部：すべてのモデル

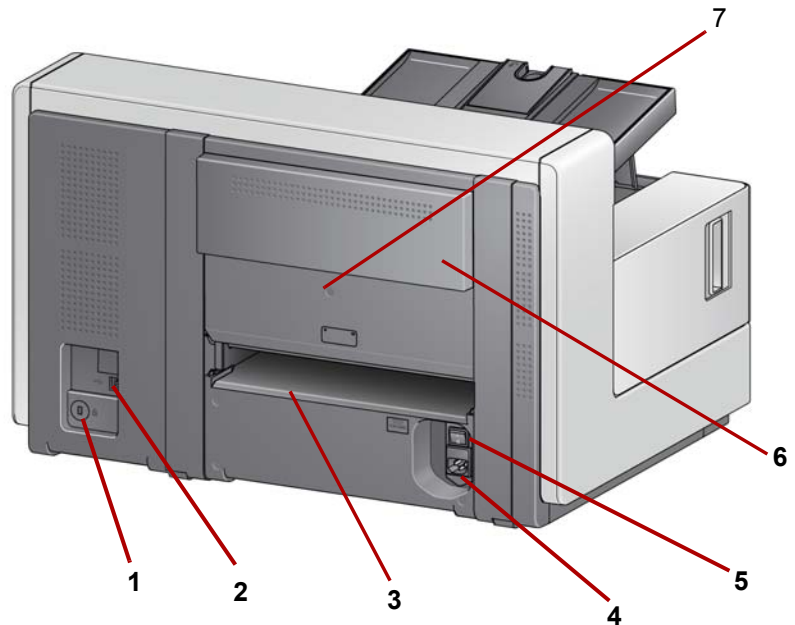
スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引いてスキャナーカバーを開くと、以下のコンポーネントが見えます。



- 1 **セパレーションローラとプリセパレーションパッド** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。
- 2 **ブラック/ホワイトバックグラウンド** — スキャンアプリケーションを使用して、背景を白または黒に変更できます。通常のスキャンの設定では、ブラックバックグラウンドが使用されます。片面の薄い用紙をスキャンする場合、より優れた画質でスキャンするには、ホワイトバックグラウンドを使用することをお勧めします。詳細については、*TWAIN* および *ISIS* のスキャンセットアップガイドを参照してください。
注：VRS ではホワイトバックグラウンドでのスキャンに対応していません。
- 3 **イメージングガイド** — イメージ品質を最適に保つために、イメージングガイドは定期的にクリーニングしてください。
- 4 **ローラ** — スキャナー内で原稿をスムーズに搬送する役割を果たします。
- 5 **インテリジェントドキュメントプロテクションセンサ** — スキャナーに正しく入っていない原稿を、スキャナーがどの程度積極的に検出するかを決定します。
- 6 **フィードモジュール** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。

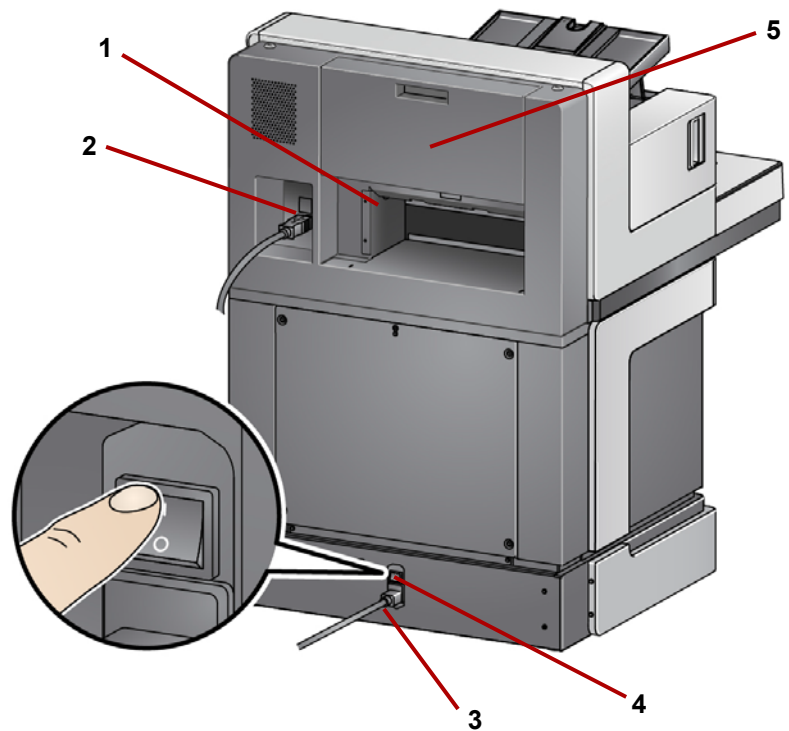
- 7 センサ — 5ヶ所の超音波センサで原稿の重送を検出します。
- 8 インクプロッタチャンネルとインクプロッタ（ストリップの下） — オプションのプリンタアクセサリから漏れたインクは、インクプロッタに吸収されます。
- 9 金属検出部 — スキャナーに入る前に金属（ホッチキスなど）を検知します。
- 10 用紙センサ — 入力エレベータにセットした原稿を検知します。このセンサの上に原稿をセットすると、スキャンを開始します。

**後部 : i5250/i5250V/i5650/
i5650V/i5650S スキャナー**



- 1 **セキュリティロックポート** — セキュリティロックをスキャナーに接続します。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などでご購入ください。取り付け手順は、セキュリティロックの付属の手順書を参照してください。
- 2 **USB ポート** — スキャナーを PC へ接続します。
- 3 **後部排紙口** — 特別な処理を必要とする原稿をスキャナーの後部から排紙します。
- 4 **電源ポート** — 電源コードをスキャナーに接続します。
- 5 **主電源スイッチ** — スキャナーに電源を供給するには、このスイッチをオン (I) にします。
- 6 **後部プリンタアクセサドア** — 後部プリンタへのアクセスができます。
- 7 **ねじ** — 平頭ネジ用ドライバーを使用してこのねじを緩め、後部プリンタへアクセスする後部カバーを取り外します。

後部: i5850 および i5850S ス
キャナー



- 1 後部排紙口 — 特別な処理を必要とする原稿をスキャナーの後部から排紙します。
- 2 USB ポート — スキャナーを PC へ接続します。
- 3 電源ポート — 電源コードをスキャナーに接続します。
- 4 主電源スイッチ — スキャナーに電源を供給するには、このスイッチをオン (I) にします。
- 5 後部プリンタアクセスドア — 後部プリンタへのアクセスができます。

2 インストール

必要に応じて、Kodak Alaris プロフェッショナル サービスが設置とユーザトレーニングを実施します。詳細については、www.kodakalaris.com/go/IMSsupport のテクニカルサポートまでお問い合わせください。

次のインストール手順は Kodak i5250/i5250V/i5650/i5650V スキャナーに対応しています。Kodak i5650S、i5850、または i5850S スキャナーのご購入には、フィールドサービス担当者による設置サービスが含まれています。

スキャナーの接続

このセクションでは、スキャナーに付属の『インストールガイド』の詳細について説明します。手順を順番に実行して、スキャナーを接続してください。

注：

- 開始する前に、ホスト PC が付録 A の「仕様」に記載されているシステム要件を満たしているか確認します。
- 『インストールガイド』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションを省略してください。

www.kodakalaris.com/go/scanners に最新のドライバが提供されています。

Kodak ドライバソフトウェアのインストール

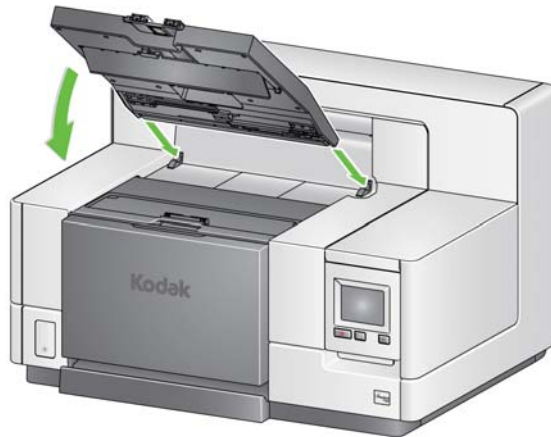
ドライバソフトウェアをインストールする前に、USB ケーブルを接続しないでください。

1. Kodak i5x50 または i5x50V スキャナーのインストールディスクをディスクドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。
注： ディスクが自動的に起動しない場合は、デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンを開き、ディスクドライブのアイコンをダブルクリックし、**セットアップ.exe** をダブルクリックします。
2. インストールが完了するまで表示されるプロンプトに従います。
3. インストールディスクをディスクドライブから取り出します。

**出力トレイの取り付け：
i5x50/i5x50V スキャナー**

Kodak i5x50/i5x50V スキャナーの梱包箱には、出力トレイが入った箱が同梱されています。

- スキャナーにある出力トレイスロットの位置を確認します。出力トレイを傾けて出力トレイと溝を合わせ、正しく取り付けます。



注：原稿を給紙する前に、出力トレイを必ずスキャン位置まで持ち上げます。「出力トレイの調整」ページの 19 を参照してください。

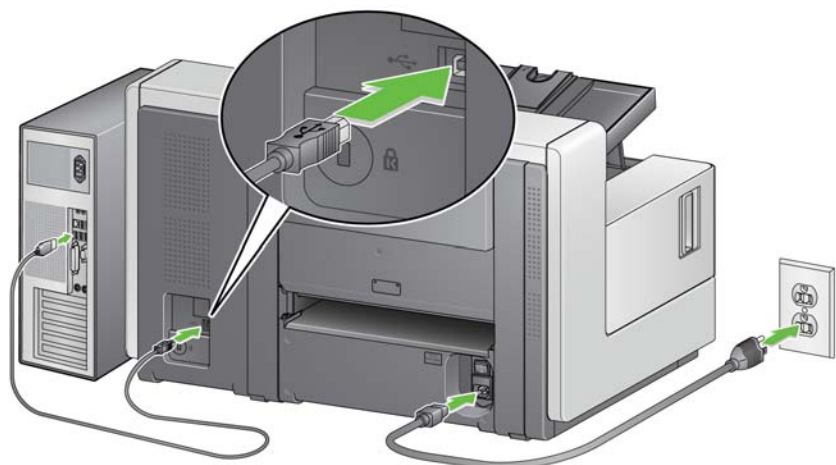
**出力トレイの取り付け：
i5650S/i5850S スキャナー**

Kodak Alaris の担当者がお客様と協力してスキャンアプリケーション向けに出力トレイを配置します。詳細については、このガイドに後述の「ソートとスタッキング」を参照してください。

**電源コードと USB ケーブル
の接続：i5250/i5250V/i5650/
i5650V/i5650S スキャナー**

ドライバをインストールしたら、電源コードとスキャナーの USB ケーブルを接続します。以下の図を参照して、正しく接続します。電源コンセントがスキャナーから 1.52m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。

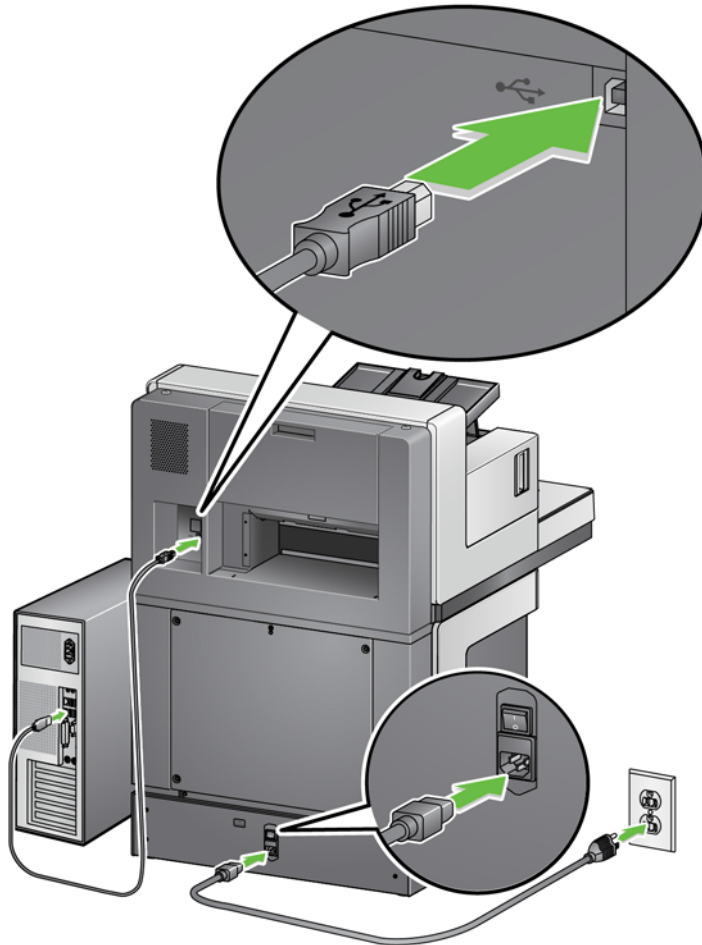
1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。しっかりと接続していることを確認してください。
3. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。
4. USB ケーブル (USB 2.0 または 3.0) をスキャナーの USB ポートに接続します。
5. USB ケーブルのもう一方のコネクタを PC の USB ポートに接続します。



電源コードと USB ケーブルの接続：i5850/i5850S スキャナー

i5850/i5850S スキャナーを電源に接続する際は、下記の図を参照して適切に接続してください。電源コンセントがスキャナーから 1.52m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。

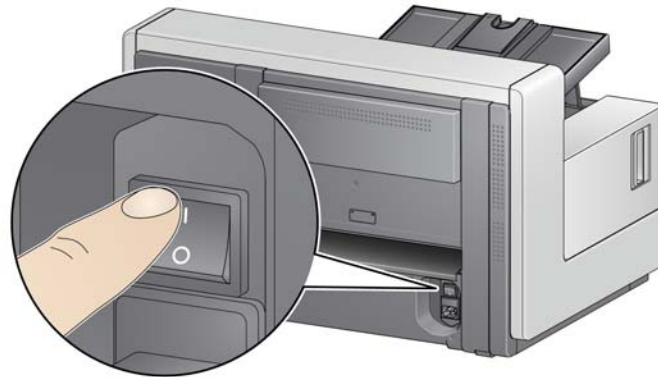
1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。しっかりと接続していることを確認してください。



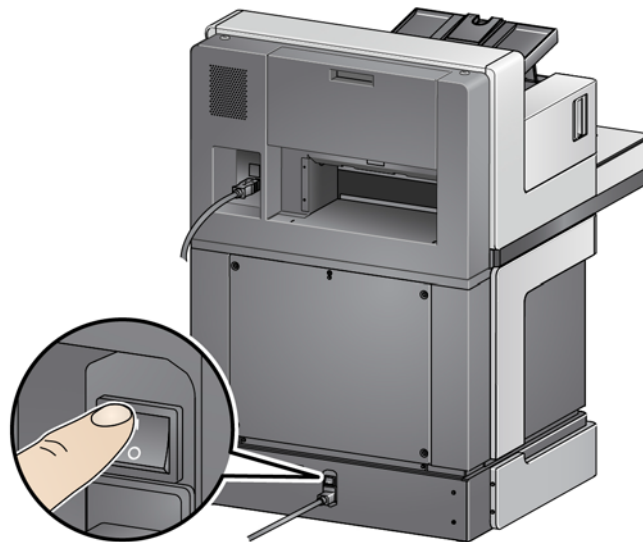
3. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。
4. USB ケーブル (USB 2.0 または 3.0) をスキャナーの USB ポートに接続します。
5. USB ケーブルのもう一方のコネクタを PC の USB ポートに接続します。

スキャナーの電源をオンにする

1. スキャナーの後部にある電源スイッチのオン (I) 側を押します。スキャナー前面の LED が黄色に点灯し、オペレータコントロールパネルには何も表示されません (低電力モード)。



i5250/i5250V/i5650/i5650V/i5650Sスキャナー



i5850/i5850Sスキャナー

注 :

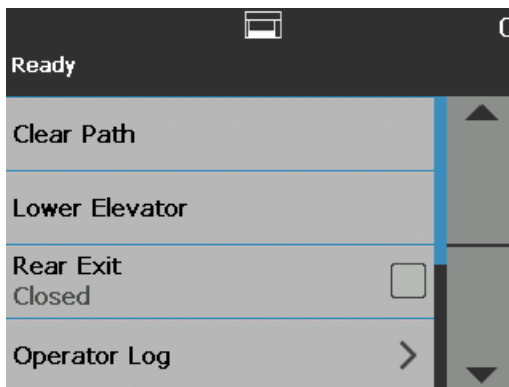
- 長期間スキャナーを使用しない場合、メンテナンスを実施する場合、スキャナーを移動する場合、またはフィールドサービス担当者から電源を切るように指示された場合を除き、メイン電源スイッチをオフにする必要はありません。
- **Kodak i5850/i5850S スキャナーのみ** : スキャナ下部には4つの高さ調整脚があります。スキャナを移動する場合は、これらの調整脚を上げる必要があります。スキャナを移動して別の場所に配置する場合は、あらかじめフィールドサービス担当までお問い合わせください。
- スキャナーを移動する際に発生した損傷は保守契約での保証の対象外になります。スキャナーの移設サービスを希望される場合は、www.kodakalaris.com/go/IMcontacts を参照してください。

2. スキャナーの前面の **[電源]** ボタンを押します。[電源] ボタンの LED が一旦消え、オペレータコントロールパネルには何も表示されません。



数秒後、初期化画面が表示され、電源 LED が点灯します。

スキャナー入力エレベータを閉じている場合は、初期化プロセス中に自動的に開きます。スキャナーが **[準備完了]** モードに切り替わると電源 LED は緑色に点灯し、([音量] 設定をオフに設定していない場合) スキャナーから音が鳴って **[準備完了]** 画面が表示されます。



電源モード

以下の表ではスキャナーの電源モード、LED ステータス、自動または手動による電源モードの移行方法を説明しています。

モード	LED	電力消費	動作
電源オフ	オフ	0W	スキャナー後部の電源スイッチを切ります (O)。
スタンバイ時	黄色で点灯	1W 未満	最初に電源を入れた (スキャナーの電源スイッチがオンの位置にある [I]) 際のモードです。 [電源] ボタンを 2 秒以上押すと、スキャナーは [低電力] モードから [スタンバイ] モードに切り替わります。
低電力	黄色で点滅	4W 未満	[電源] ボタンを 2 秒以上押すと、スキャナーは [準備完了] モードから [低電力] モードに切り替わります。
準備	緑色で点灯	115W 未満 スキャン時以外 (全モデル) 215W 未満 スキャン時 (i5250/i5650/i5650S) 250W 未満 スキャン時 (i5850/i5850S) 350W 未満 スキャン時および フト操作時 (i5850/i5850S)	スキャナーは以下の操作で [スタンバイ] モードから [準備完了] モードに切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • [電源] ボタンを押す、または • 入力エレベータに用紙をセットする。 スキャナーは以下の操作で [低電力] モードから [準備完了] モードに切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • [電源] ボタンを押す、または • 入力エレベータに用紙をセットする、または • [スタート/再開] ボタンを押す、または • ホストコマンドを受信する。

3 スキャン

スキャナーの準備

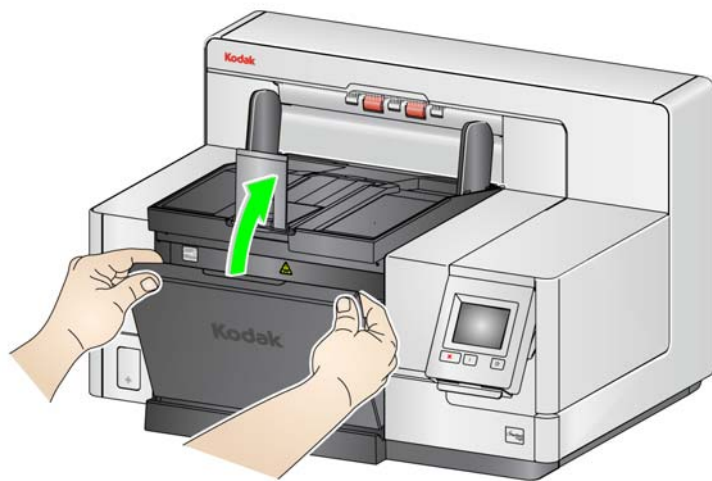
1. スキャナーの電源が入っており、[準備完了] モード（電源ボタン LED が緑色に点灯）であることを確認します。
2. スキャン要件に合わせて入力エレベータを調整します。「入力エレベータの調整」ページの 17 を参照してください。
3. スキャン要件に合わせて出力トレイを調整します。「出力トレイの調整」ページの 19 を参照してください。
4. 使用するスキャンアプリケーションを選択します。

注：この章の図では i5250/i5650/i5250V/i5650V スキャナーを表します。特に指示のない限り、すべての調節は i5850/i5650S/i5850S スキャナーに対しても同じです。

入力エレベータの調整

サイドガイドと入力エレベータの高さは、スキャン要件に合わせて調整できます。スキャナーを使用していない場合、入力エレベータは閉じることができます。

注：入力エレベータを下げ、エレベータ側面のガイドを折りたたんでから閉じてください。

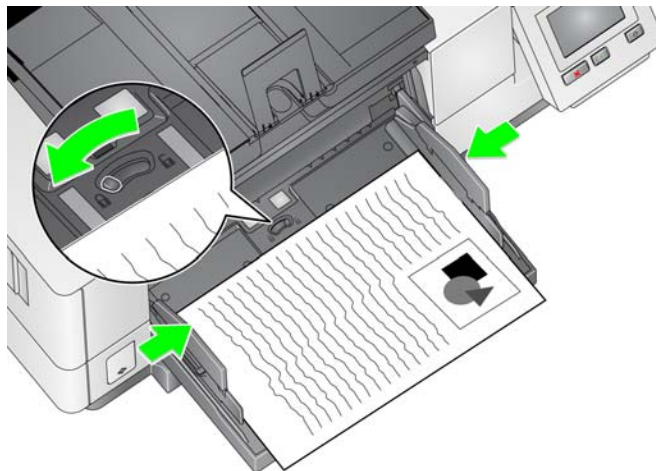


- **サイドガイドの調整** — サイドガイドは右側、左側、中央に調整して給紙できます。両方のサイドガイドを移動して中央から給紙することも、どちらか片方を動かして右端または左端からオフセット給紙することも可能です。サイドガイドを移動する前に、スイッチがロック位置にないことを確認してください（下図参照）。

注：オプションのプリンタを使用する場合、印字文字列が正しい位置に配置されるように原稿を入力エレベータにセットする必要があります。詳細については、「4 ドキュメントの印字」ページの 61 を参照してください。

- **サイドガイドのロック** — サイドガイドは調整後に位置をロックできます。ガイドのロックは印字位置を固定したい場合に便利です。

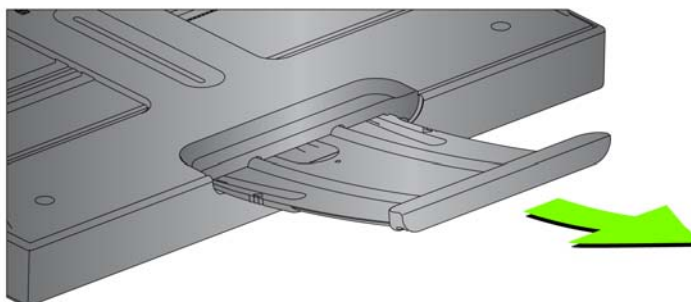
サイドガイドをロックするには、入力エレベータから原稿を取り除き、ロックのスイッチを左側に切り替えます（ロック位置）。



- **入力エレベータの高さの調整** — 入力エレベータは 20 lb./80 g/m² のボンド紙を 25 枚以下、100 枚、250 枚、500 枚、750 枚セットするように設定できます。入力エレベータは、スキャナアプリケーションソフトウェア（TWAIN データソース、ISIS ドライバ、VRS）で設定します。

入力エレベータは（TWAIN データソースまたは ISIS ドライバを使用して）**ADF** モードに設定されているか、**給紙が手動（VRS）** に設定されている場合、入力エレベータは最上段（25 枚以下）にセットされます。25 枚以上に設定した場合、指定された枚数の原稿を給紙するために入力エレベータが自動的に上がり、最後の原稿が給紙されると自動的に下がります。

- **入力エレベータの調整**
 - **長さ 35.6cm までの原稿** — 調整は不要です。
 - **長さ 35.6cm から 43.2cm の原稿** — エクステンションをゆっくりと引き出します。



- エクステンションを元の位置に押し戻すには、エクステンションの側面（矢印部分）に指を添えて、元の位置にスライドします。

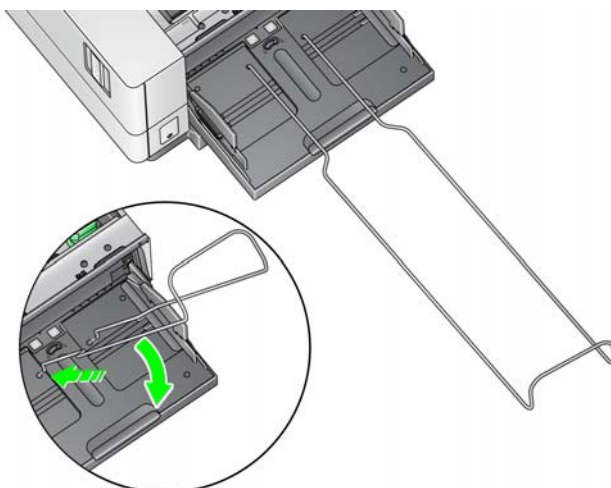
注：

- 43.2cm 以上の原稿をスキャンする場合、オペレータによる補助が必要になる場合があります。

- 43.2 cm 以上の原稿をスキャンする場合、その長さに対応するようにスキャンアプリケーションの設定を **必ず** 変更してください。[デバイス - 一般 タブの [最長原稿サイズ] オプション (TWAIN データソース) または [スキャナー] タブの [最長原稿サイズ] オプション (ISIS ドライバ) が、スキャンする原稿より若干長く設定されていることを確認してください。必要以上の長さを設定すると処理速度が低下する場合があります。
- **i5250V および i5650V スキャナー** : これらのスキャナーでは最大 **原稿長** が 40 インチに設定されているため、調整する必要はありません。
- 43.2cm 以上の原稿をスキャンする場合、延長トレイの使用をお勧めします。43.2 cm ~ 86.36 cm の原稿をスキャンするために、3 種類のサイズの延長トレイが用意されています。ご注文については、「消耗品」ページの 112 を参照してください。
- **用紙の重さ** — 入力エレベータに収容できる用紙の最大枚数は、A3 用紙で約 500 枚、または A4 用紙で約 750 枚です。A3 より大きな原稿をスキャンする場合は、推奨重量は 4.5 kg 以下でなければなりません。スキャンする原稿の長さが A3 用紙を超える場合、100 枚以上の原稿を同時にスキャンしないでください。

オプションの延長トレイの取り付け

- 延長トレイの終端を入力エレベータと出力トレイの穴に挿入し、延長トレイを正しい位置に取り付けます。



出力トレイの調整

原稿の種類によって最適な排紙方法を (TWAIN データソース、ISIS ドライバ、VRS を使用して) 複数の設定から選択できます。[標準] モードの排紙方法では、出力トレイのサイドガイドとエンドストップを使用して同じサイズの原稿をスキャンすると、最大の処理速度が得られます。

他の排紙方法のオプションはサイズや厚さが異なる原稿をスキャンする際に使用します。

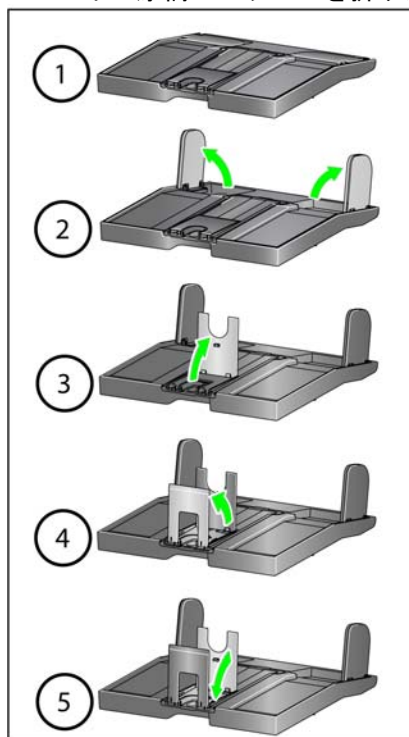
- 出カトレイの角度の調整** — スキャンした原稿が最適に排紙されるよう、出カトレイの角度を「高い」位置にすることをお勧めします。出カトレイの前部を持ち上げると、その下から高さの調節タブが出てきます。



出カトレイを下げる場合は、出カトレイ下の高さ調節タブをゆっくり押してから、出カトレイを前部プリンタアクセスカバーの方に下げます。

- サイドガイドと原稿ストッパーの調整** — サイドガイドと原稿ストッパーは、いくつかの方法で調整できます。出カトレイのサイドガイドを開いて、入力エレベータのサイドガイドの位置と合わせます。サイドガイドは出カトレイの方向に折りたたむことができます。

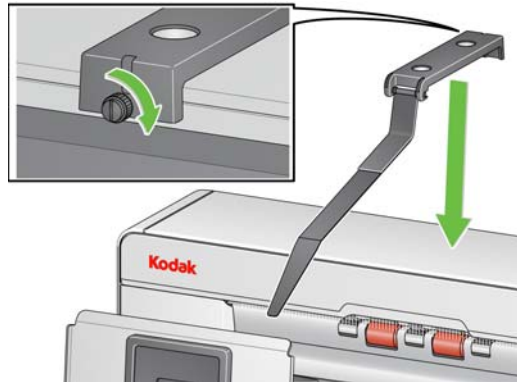
給紙する一番長い原稿より少し長くなるように、出カトレイの原稿ストッパーを調整します。出カトレイよりも長い原稿をスキャンする場合、出カトレイの原稿ストッパーを折りたたみます。



ダングラークステンションの変更 (i5250、i5250V、i5650、i5650V、i5850)

スキャナーにはマウントとダングラークが付属し、スキャンする原稿セットに応じて簡単に交換できます。

必要に応じ、マウントをスキャナー上部に取り付けます。ダングラークは出力トレイに積み重なる原稿を合わせるのに役立ちます。ダングラークは3つのサイズが使用できます。スキャンする原稿セットに応じて、最適なサイズのダングラークを取り付けます。



注：ダングラークを交換するにはマウントを取り外し、ダングラークを外して図のように新しいダングラークを溝にはめ込みます。

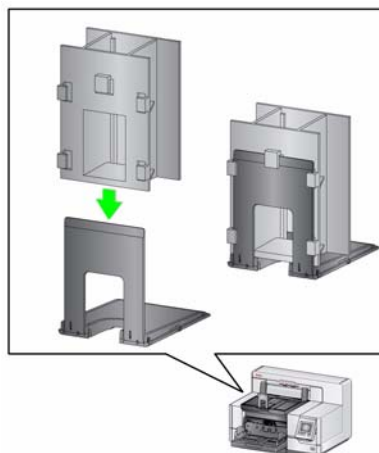


i5650S および i5850S スキャナーについては、「ダングラークの使用方法」ページの 75 を参照してください。

ショートドキュメント用アダプタの取り付け

小さい原稿（小切手など）をスキャンする場合は、ショートドキュメント用アダプタを使用します。このアダプタを使用すると原稿がまとめやすくなります。

1. 図の様に、出力トレイの原稿ストッパーを開きます。
2. 原稿ストッパーの上にショートドキュメント用アダプタを取り付けて、一番下まで押し下げます。

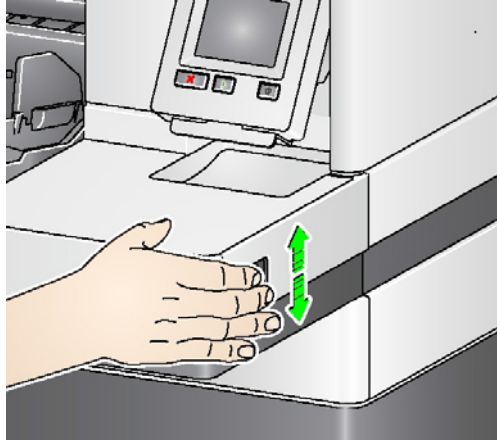


3. 必要に応じてサイドガイドを調整します。

スキャナーの高さ調節 (i5850/i5850S スキャナー のみ)

作業テーブルは、一番下の位置から約 25.4cm 上まで上げることができます。スキャナーの作業を座って行うか、または立って行うかなど、作業状況に応じて適切な高さに調整してください。作業テーブルを上下に移動する場合、移動範囲内に障害物（椅子、テーブルなど）がないことを確認してください。

- 作業テーブルを上げる場合は、スキャナー側部にあるボタンの上側を押します。



- 作業テーブルを下げる場合は、スキャナー側部にあるボタンの下側を押します。

作業テーブルが上または下に移動しない場合は、以下の事柄を確認してください。

- 作業テーブルが、すでに一番上または一番下の位置に移動していないか。
- スキャナーの電源がオンで、[省電力] モードになっていない。

背面排紙口の使用

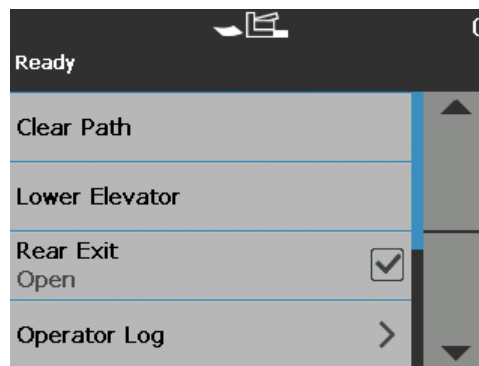
特別な処理を必要とする原稿（破損しやすい原稿、梱包材料など）は背面排紙口から出力できます。この排紙口は、ストレートパス搬送オプションによって、特別な処理を必要とする原稿にはこの搬送路が使用されます。これにより紙詰まりを防止できます。

背面排紙口は、以下の場合に使用します。

- 原稿が非常に堅い（例えば、曲げにくい）ため搬送路で向きを変えられず、紙詰まりする。
- 原稿が破損しやすいため、曲げずにスキャンする必要がある。
- 排紙後の原稿の順番が重要ではない。
- スキャン後に原稿が不要になるため、直接リサイクル分別箱に入れる。
- 写真をスキャンする。

注：

- オペレータコントロールパネルの [背面排紙口] を選択します。



- このオプションを使用する場合、スキャナーの後部に原稿を排紙するのに十分なスペースを確保してください。
- 複数枚の原稿のスキャンに背面排紙口を使用する場合、給紙とは逆の順番で排紙されます。
- 背面排紙トレイアクセサリがある場合、取り付けてあることを確認してください。詳細については、「アクセサリ」ページの 2 を参照してください。

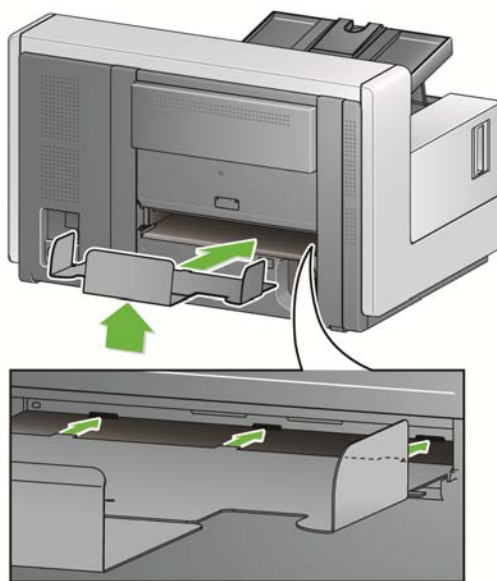
背面排紙トレイアクセサリの 取り付け

背面排紙トレイアクセサリを取り付けてスキャンした原稿を背面排紙口から収集することができます。

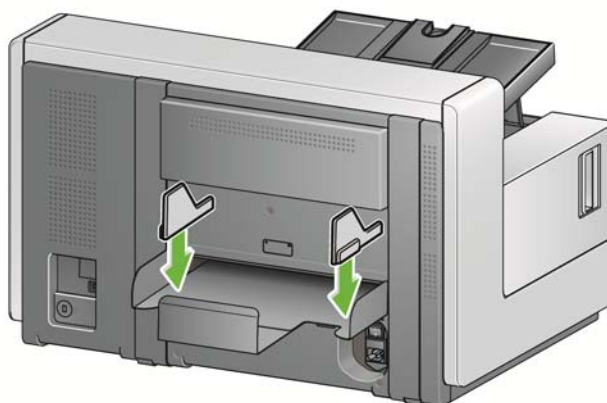
- i5250、i5650、および i5650S スキャナー用後部排紙トレイは最大 35.6 cm の原稿をスキャンできます。
- i5850 および i5850S スキャナー用後部排紙トレイは最大 43.2 cm の原稿をスキャンできます。

基本的に排紙トレイの取り付けはすべてのスキャナーで同じです。

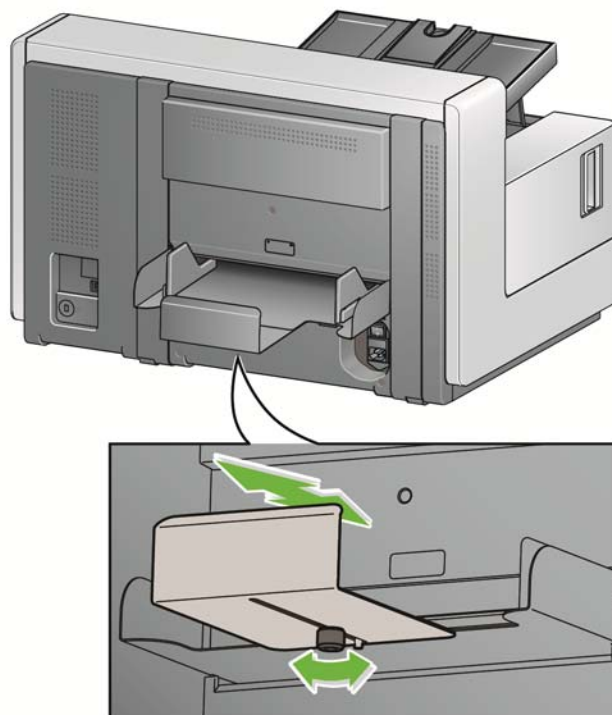
1. トレイをやや傾けて背面排紙トレイの溝をスキャナー内の溝に合わせ、静かにトレイを置きます。



2. サイドガイドを排紙トレイ上のスキャンのニーズに応じた希望する位置に置きます。



注：排紙トレイ底部のロックノブを緩めてトレイを前後にスライドさせ、スキャンする原稿のサイズに合わせることができます。



書類の準備

- 標準用紙サイズの原稿は、スキャナーへ簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃えて入力エレベータの中央に積み重ねます。これにより、原稿は1枚ずつスキャナーに給紙されます。
- ホチキスやクリップは、スキャン前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が破損する場合があります。
- スキャン前に、用紙上のすべてのインクや修正液が乾いていることを確認してください。
- 破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキャナーでは問題なくスキャンすることができます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿をスキャナに搬送できるかどうか不確かな場合は、原稿を保護用クリアシートに入れてください。シートは1枚ずつ手動で給紙する必要があります。ギャップリリース切り替えスイッチを使用しながら、閉じ代から給紙してください。
- あまりにも厚い原稿や硬い原稿（梱包材料など）の場合は、以下の設定が必要になる場合があります。
 - ギャップリリース切り替えスイッチの使用。
 - プリセパレーションパッドの取り外し。
 - 排紙方法から **[デリケート]**、**[厚紙]**、**[薄紙]** 設定を使用します。搬送速度が低下します。
 - 背面排紙トレイの使用。

原稿のスキャン

原稿をスキャンするには、スキャナーを有効にする必要があります。スキャンアプリケーションで有効にできます。スキャナーを有効にしたら、スキャナーの設定内容によって、自動的にスキャンを開始するか（オートスタート）、スキャナーの【スタート/再開】ボタンを押してスキャンを開始します。詳細は、スキャンアプリケーションに対応したマニュアルを参照してください。

1. 前のセクションのガイドラインに従って原稿を準備したら、スキャンアプリケーションでスキャンジョブが目的に応じて設定されていることを確認します。
2. スキャンする原稿を入力エレベータにセットします。
3. スキャンアプリケーションを使用してスキャンを開始します。

スキャナーの設定方法に応じて、タッチスクリーンには【スキャン中】画面または【停止中】画面が表示されます。

オートスタート オプション：

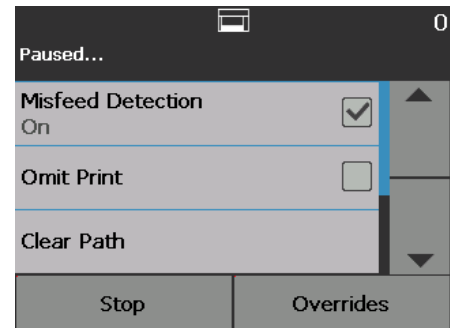
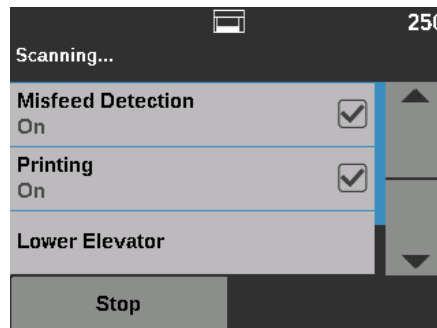
TWAIN: 自動的にスキャンを開始

ISIS: 自動的に転送を開始

VRS: ADF（オートスタート有効）/ パネル給紙（オートスタート無効）

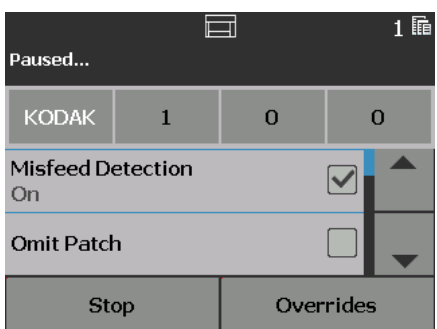
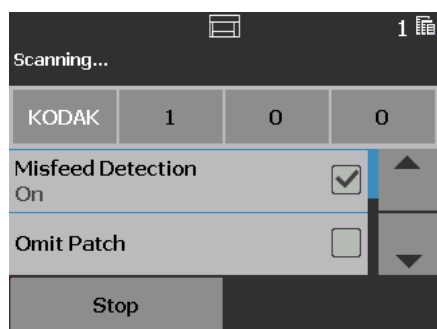
詳細については、TWAIN、ISIS、VRS のスキャンセットアップガイドを参照してください。

オートスタート オプションが【有効】の場合はこの画面が表示されます。 オートスタート オプションが【無効】の場合はこの画面が表示されます。



インデックス (i5850/i5850S スキャナーのみ) およびオートスタート オプションが【有効】の場合はこの画面が表示されます。

インデックス (i5850/i5850S スキャナーのみ) およびオートスタート オプションが【無効】の場合はこの画面が表示されます。



注： スキャンジョブで一時的な優先処理（印字、パッチ読み出し、重送検知など）が必要な場合、[優先処理] 画面を表示するには、スキャンジョブの開始前にオートスタートオプションを無効にする必要があります。

または、スキャン中に [停止 / 一時停止] ボタンを押すと、[バッチの優先処理] 画面が表示されます。

詳細については、「優先処理」ページの 49 を参照してください。

4. [スキャン中] 画面に表示されるオプションを選択すると、そのアクションを次の原稿にのみ実行します（[重送検知なし] の場合のみ）。残りのスキャンジョブに対してこれらのアクションを実行するには、「優先処理」ページの 49 を参照してください。
5. スキャンアプリケーションでオートスタートを無効にした場合は、[スタート / 再開] ボタンを押してスキャンを開始します。

スキャンの停止と再開

原稿のスキャン中に手動でスキャナーを停止 / 一時停止したり、スタート / 再開することができます。

- スキャンを一時的に停止するにはスキャナーの [停止 / 一時停止] ボタンを一回押します。
- スキャンを停止するには、タッチスクリーンのオペレータコントロールパネルで [停止] を選択するか、[停止 / 一時停止] ボタンを押します。
- 一時停止後にスキャンを再開するには、スキャナーの [スタート / 再開] ボタンを押します。

注： PC が最小要件を満たしていない場合、内部バッファメモリに十分な空きがあるとスキャンおよびスキャン再開時にスキャナーは自動的に一時停止する場合があります。

オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンの使用

オペレータコントロールパネルのタッチ画面から、さまざまなオプションを利用することができます。



オプションの後に矢印がある場合に選択すると、他の選択肢のある新しい画面が表示されます。



オプションの横にチェックボックスがある場合、このボックスのチェックの有無で [オン]、[オフ] オプションを切り替えることができます。



例えば、[背面排紙口] チェックボックスにチェックマークがある場合、背面排紙口がスキャナー上で開いていることを示します。



上下矢印を使用してオペレータコントロールパネルに表示されるオプションのリストをスクロールします。

これらのオプションの詳細は、以降のセクションを参照してください。

タッチ画面を使用するには、目的のオプションを指で触ってください。指以外の物で触ると、タッチ画面が損傷する可能性があります。また、このような損傷は保証の対象にはなりません。

[準備完了]画面

[準備完了]画面には選択可能なオプションのリストが表示されます。さらに、画面の一番上のステータス領域にカウンタ値が表示されます。

以下はステータス領域に表示されるアイコンです。

5

カウンタ値は0から始まり、1 ページスキャン毎にカウントアップします。表示最大値は 999,999,999 です。

[ユーザーカウンタ]オプションが有効の場合、カウンタ値の後ろに原稿カウンタアイコンまたはユーザーカウンタアイコンのいずれかが表示され、どのカウンタ値が表示されているのかを示します。



ドキュメントカウンタが表示されていることを示します。



ユーザカウンタが表示されていることを示します。



i5850/i5850S スキャナーのみ: バッチが有効になっていることを示します。



アプリケーションの優先処理が有効になっていることを示します。



原稿が入力エレベータにあり、スキャナーは入力エレベータからスキャンを行うことを示します。



入力エレベータに原稿がないことを示します。



背面排紙口が開いていて、入力エレベータに原稿がないことを示します。



背面排紙口が開いていて、入力エレベータに原稿があることを示します。



消耗品の交換または手入れが必要なことを示します。「メンテナンスメータの表示」ページの 32 を参照してください。



情報メッセージを示します。例: **入力エレベータに用紙がありません**。こうしたメッセージはオペレータが簡単に修正できます。

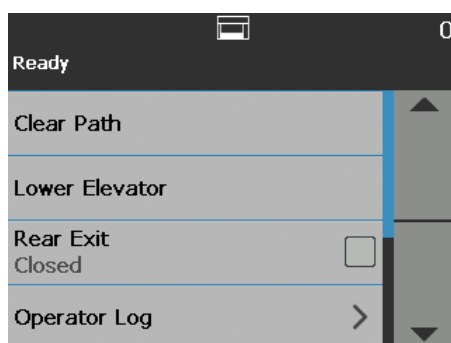


修正可能なエラー状態を示します。例: **入力エレベータが一杯です**や**フィードモジュールが見つからないまたは壊れています**。



エラー状態を示します。例えば、用紙が搬送路にある、またはイメージングガイドが正しく取り付けられていないなどです。

[準備完了]画面が表示されている場合、以下の機能を実行できます。



- **搬送路のクリア** — スキャナーの搬送部から原稿を取り除きます。
- **エレベータを下げる** — 入力エレベータを一番下まで下げます。
- **後部排紙口** — 後部排紙口を開閉できます。

注：

- 追加の後部排紙口やスタッキングおよびソートのオプションのセットアップは、このガイドの「ソートとスタッキング」の章でご覧いただけます。
- OCP 後部排紙口は i5650S/i5850S スキャナーでのソート判断に優先します。
- **オペレータログ** — 発生したエラー、エラーコード、エラーの簡単な説明など、エラーコード情報を表示します。
- **情報** — スキャナーのモデル、ファームウェアバージョンなど、スキャナー情報を表示します。
- **診断** — スキャン履歴の表示、メンテナンスメータのチェック、印字テストの実行、スキャナーのセルフテストの実行、スキャナーのカウントオンリーモード投入、パッチテストおよびパッチリーダーテストの実行、重送検知（超音波）キャリブレーションの実行、タッチ画面キャリブレーションの実行、変更へのアクセスができます。変更は Kodak Alaris テクニカルサポート専用です。
- **設定** — さまざまなスキャナー設定へアクセスできます。これらの設定を行うことはめったにありません。詳細については、「[設定]画面」ページの 44 を参照してください。

注：ユーザーカウンタが有効な場合（「ユーザーカウンタ」ページの 45 を参照）、[ユーザーカウンタのリセット]と[原稿カウンタの切り替え]が[準備完了]画面に表示されます。これらのオプションで表示するカウンタ値の選択と、ユーザーカウンタのリセット（[原稿カウンタの切り替え]はスキャンアプリケーションでリセットします）が可能になります。

搬送路のクリア

[搬送路のクリア]を選択すると、スキャナーは搬送路内に残った原稿を排紙します。

エレベータを下げる

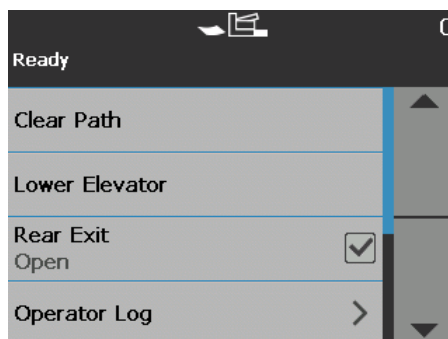
入力エレベータにセットする用紙を追加したい場合は、このオプションを使用します。[エレベータを下げる]を選択すると、入力エレベータが一番下（750枚分）まで下がります。

カウンタ切り替え

[カウンタ切り替え]はユーザーカウンタまたはバッチカウンタが有効に設定されている場合 [準備完了] 画面に表示されます。このオプションを選択すると、スキャナーはステータス領域のユーザーカウンタと原稿カウンタの値で切り替わります。詳細については、「ユーザーカウンタ」ページの 45 を参照してください。

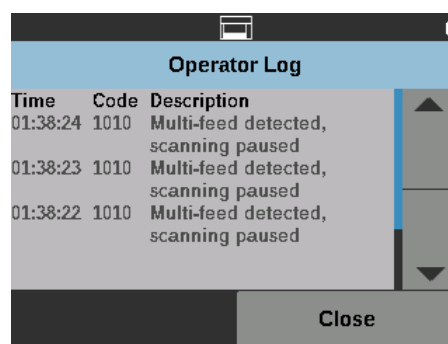
背面排紙口

特別な処理を必要とする原稿（破損しやすい原稿、梱包材料など）がある場合にこのオプションを使用します。こうしたタイプの原稿のスキャン時に、背面排紙口により原稿が搬送路を容易に通過するストレートパス搬送が可能になります。このオプションを使用する場合、チェックボックスを選択して背面排紙口を開きます。タッチ画面に背面排紙口が [開] であることが示されます。



オペレータログの表示

[オペレータログ] を選択すると、[オペレータログ] 画面が表示されます。この画面には、時刻、メッセージコード、およびメッセージの詳細が表示されます。



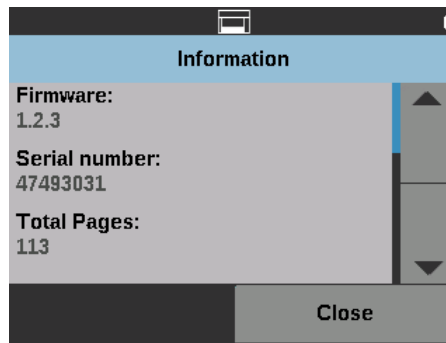
ここには、スキャナーの電源投入後に最後に発生したメッセージが表示されません。電源を切るか、スキャナーが待機モードまたは省電力モードになると、オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンに表示されたオペレータログが消去されます。

オペレータコントロールパネルのタッチスクリーンから消去されたメッセージを表示するには、「8 トラブルシューティング」ページの 113 を参照してください。

- オペレータログを参照した後、[閉じる] を選択すると [準備完了] 画面に戻ります。

スキャナー情報の表示

情報画面にはスキャナー情報（ファームウェアのバージョン、スキャナーのシリアル番号、スキャン合計枚数など）が表示されます。スクロールバーを使用

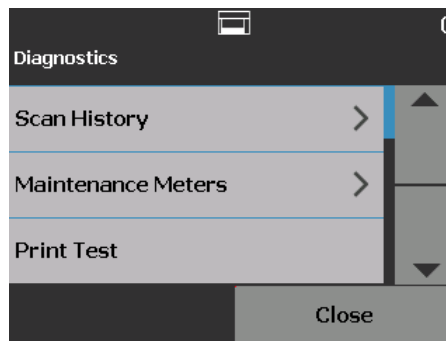


すると、すべての情報を確認できます。

- 情報を参照後、**[閉じる]**を選択すると**[準備完了]**画面に戻ります。

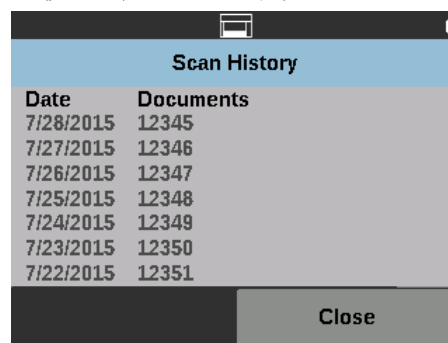
診断

[診断]を選択すると、スキャン履歴の表示、メンテナンスメータのチェック、印字テストの実行、スキャナーのセルフテストの実行、スキャナーのカウントオンリーモード投入、パッチテスト、パッチリーダーテストの実行、重送検知（超音波）キャリブレーションの実行、タッチ画面キャリブレーションの実行ができます。



スキャン履歴の表示

1. **[スキャン履歴]**を選択します。過去7日間のスキャンについてのスキャン履歴が表示されます。



Date	Documents
7/28/2015	12345
7/27/2015	12346
7/26/2015	12347
7/25/2015	12348
7/24/2015	12349
7/23/2015	12350
7/22/2015	12351

2. 確認後、**[閉じる]**を選択します。

メンテナンスメータの表示

メンテナンスメータを使用してメンテナンスメータ値およびしきい値（消耗品の交換が必要な頻度を示す間隔）の表示または変更、消耗品の交換が必要な場合の監視を行います。



メンテナンスしきい値の値を変更できます。

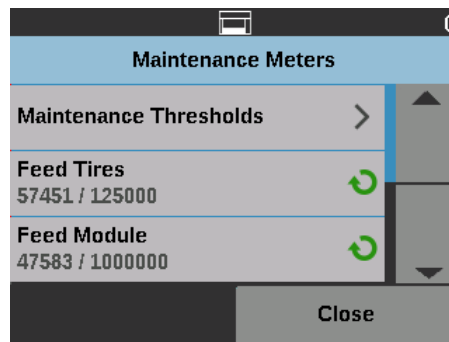


[メータのリセット]画面を表示し、消耗品のメータをリセットできます。例えば、消耗品を交換する場合、このアイコンを選択してメータを0にリセットします。



[メータのリセット]画面を表示し、メンテナンスしきい値の限度に達したことを示します。

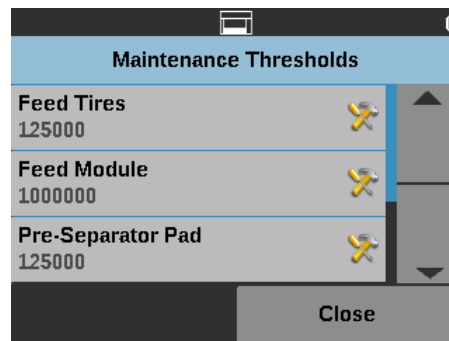
1. [メンテナンスメータ]を選択します。[メンテナンスメータ]画面が表示されます。



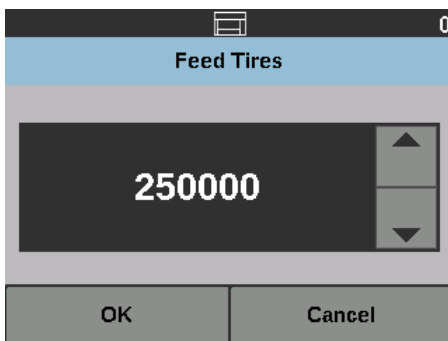
消耗品のメンテナンスしきい値を変更、または消耗品交換後にメンテナンスメータをリセットできます。

メンテナンスしきい値をリセットする場合：

- ・ [メンテナンスしきい値]を選択して[メンテナンスしきい値]画面を表示します。



- しきい値を変更する消耗品の横の **[編集]** アイコンを選択します。

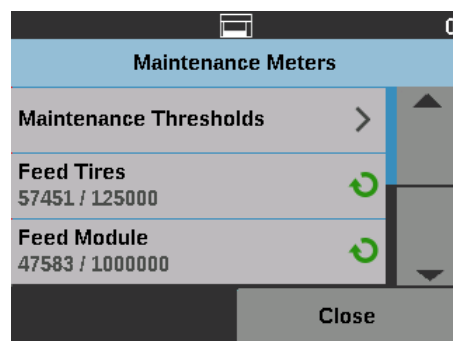


- 上下矢印を使用して値を調整し、**[OK]** を選択します。

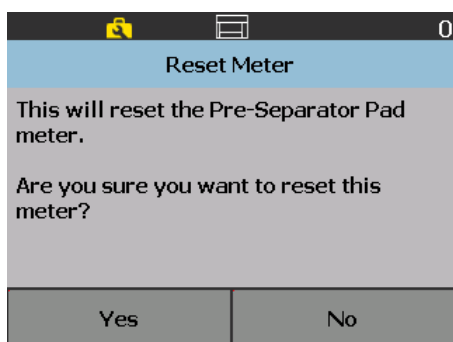
メンテナンスメータをリセットする場合：

注： フィードモジュールのカウンタメータをリセットする際、フィードタイヤのメータもリセットされます。

- 値をリセットする消耗品を選択します。



[メータのリセット] 画面が表示されます。



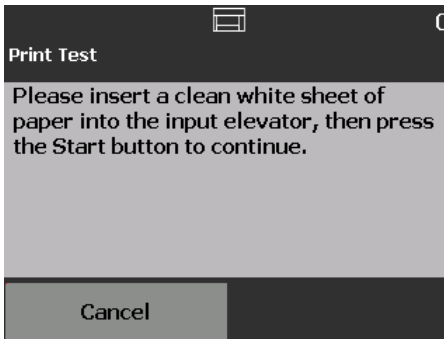
- **[はい]** を選択してメータを 0 にリセットします。

印字テストの実行

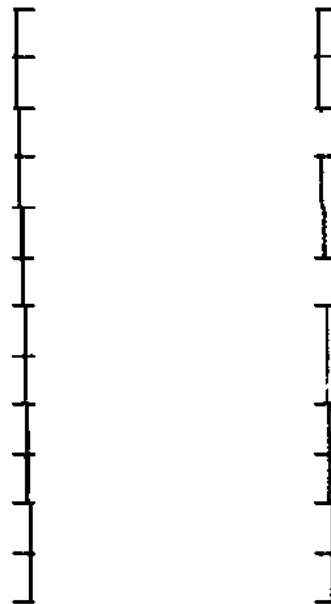
印字テストを実行すると、オプションのプリンタのインクジェットが適切に機能しているかを確認できます。

注：このオプションはプリンタの前部と後部両方に機能します。

1. **[印字テスト]** を選択します。**[印字テスト]** 画面が表示されます。



2. 入力エレベータに白紙をセットします。
3. **[スタート/再開]** ボタンを押します。出力トレイの原稿をスキャンし、印字テストの結果を表示します。
4. 出力トレイから用紙を取り出して、テストパターンの品質を評価します。
 - パターンが完全な場合は、スキャンする準備が完了しています。
 - パターンにムラがある場合は、インクカートリッジが正しくセットされているか確認し、プリントヘッドのクリーニングかインクカートリッジを交換します。



許容できる

許容できない：パターン
にむらがある

注：インクカートリッジをインクカートリッジホルダから取り外して、湿った布で軽く拭いてください。インクカートリッジの取り外しや交換の手順は、「4 ドキュメントの印字」ページの 61 を参照してください。

5. **[キャンセル]** を選択すると、**[準備完了]** 画面に戻ります。

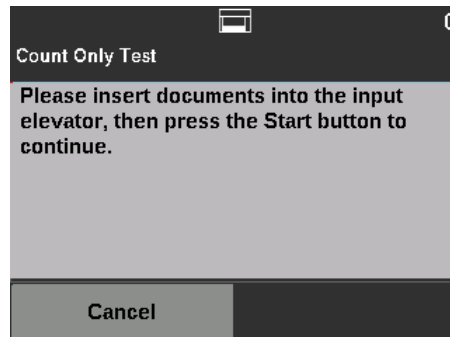
セルフテストの実行

スキャナのセルフテストでは、イメージキャプチャサブシステムが正しく動作しているかどうかテストされます。

カウントのみ

実際にスキャンせずに、スキャナを通る原稿の枚数を数えたい場合に、この機能を利用します。

1. **[カウントのみ]** を選択します。[カウントのみ] 画面が表示されます。



2. 入力エレベータに、原稿をセットします。
3. **[スタート/再開]** ボタンを押します。すべての原稿がスキャンされると、合計枚数が表示されます。
4. **[キャンセル]** を選択すると、[準備完了] 画面に戻ります。

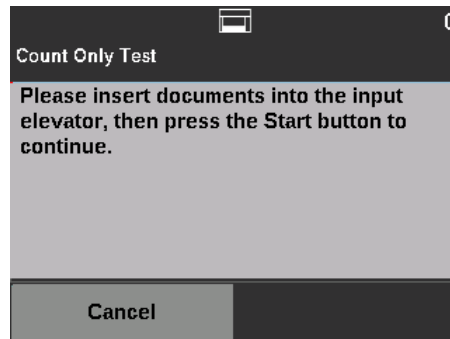
注：

- **[停止/一時停止]** ボタンを押すと、フィーダと搬送部が停止します。**[スタート/再開]** ボタンを押すと、カウントオンリーテストを再開します。
- カウントオンリーモードでは、排紙方法は自動的に **[サイズ混在]** に設定されます。
- カウントオンリーモードでは、重送検知は有効にできません。

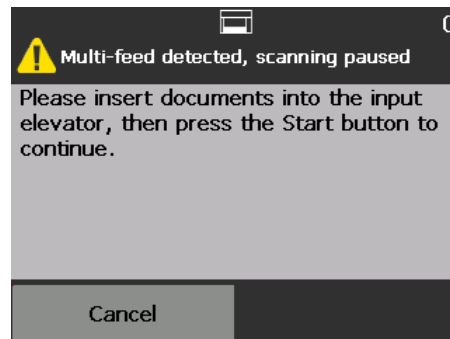
カウントのみ - 重送

カウントのみ - 重送オプションによりスキャンせずに原稿をカウントできますが、重送を検出するとスキャナーは停止します。

1. **【カウントのみ - 重送】**を選択します。**【カウントオンリーテスト】**画面が表示されます。



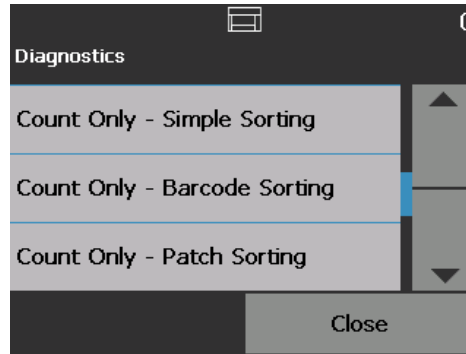
2. 入力エレベータに、原稿をセットします。
3. **【スタート / 再開】**ボタンを押します。スキャナーが重送原稿を検出すると、以下の画面が表示されます。



4. **【キャンセル】**を押してスキャンを停止し、**【診断】**画面に戻ります。

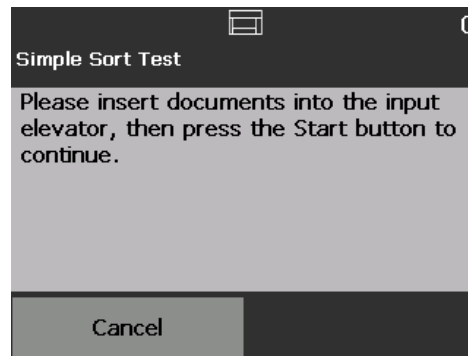
カウントのみ - ソートオプション

カウントのみはソートオプションで実行でき、原稿セットまたはスキャナーの問題の診断に役立ちます。



カウントのみ - 簡易ソート

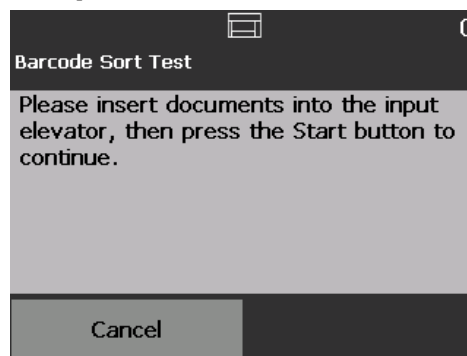
1. [**カウントのみ - 簡易ソート**] を選択します。[簡易ソートテスト] 画面が表示されます。



2. 入力エレベータにテスト用の原稿をセットします。
3. [**スタート/再開**] ボタンを押します。1 ページ目は上段トレイ、次のページは下段トレイ、その次のページは後部トレイに排紙されます。残りのページも同様に3つのトレイに引き続き排紙されます。
4. [**キャンセル**] を押してスキャンを停止し、[**診断**] 画面に戻ります。

カウントのみ - バーコードソート

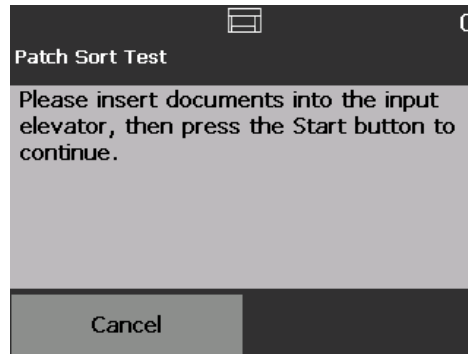
1. [**カウントのみ - バーコードソート**] を選択します。[バーコードソートテスト] 画面が表示されます。



2. 入力エレベータにテスト用の原稿をセットします。
3. [**スタート/再開**] ボタンを押します。ページの表か裏で向きに関わらずサポートするバーコードタイプが見つかったページは、上段トレイに排紙されます。他のページはすべて下段トレイに排紙されます。
4. [**キャンセル**] を押してスキャンを停止し、[**診断**] 画面に戻ります。

カウントのみ - パッチソート

1. **[カウントのみ - パッチソート]** を選択します。**[パッチソートテスト]** 画面が表示されます。

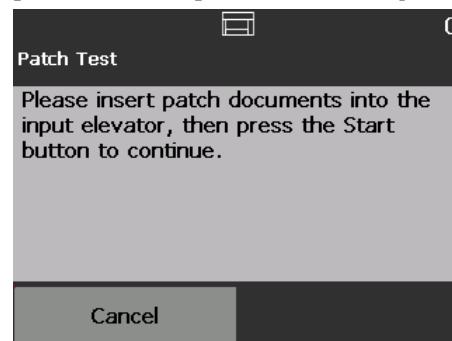


2. 入力エレベータにテスト用の原稿をセットします。
3. **[スタート/再開]** ボタンを押します。サポートするパッチコードがハードウェアのパッチリーダーによって読み取られた（表面のみ）ページは、上段トレイに排紙されます。他のページはすべて下段トレイに排紙されます。
4. **[キャンセル]** を押してスキャンを停止し、**[診断]** 画面に戻ります。

パッチテストの実行

パッチテストを使用してカメラのパッチリーダーをテストし、パッチシートが検出できることを確認します。

1. **[パッチテスト]** を選択します。**[パッチテスト]** 画面が表示されます。



2. パッチのある原稿を入力エレベータにセットします。
3. **[スタート/再開]** ボタンを押します。原稿がスキャンされたら、タッチ画面にパッチテストの結果が表示されます。結果には、スキャナーが認識したパッチの枚数とパッチタイプが表示されます。

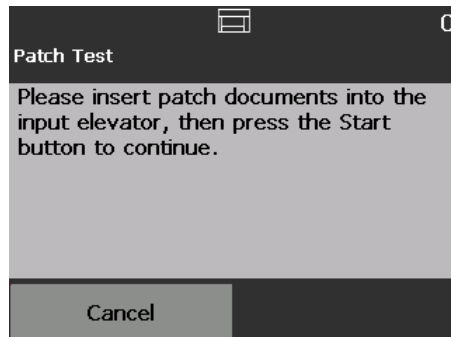
	1 - 6		10 - 15				Total
	1	2	3	4	T	6	Total
F	0	0	0	0	0	0	0
R	0	0	0	0	0	0	0

4. **[キャンセル]** を選択すると、**[準備完了]** 画面に戻ります。

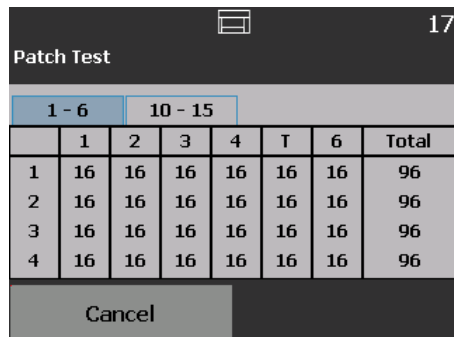
パッチリーダーテストの実行

パッチリーダーテストを使用してハードウェアのパッチリーダーをテストし、パッチシートが検出できることを確認します。

1. **[パッチリーダーテスト]** を選択します。**[パッチテスト]** 画面が表示されます。



2. パッチのある原稿を入力エレベータにセットします。
3. **[スタート/再開]** ボタンを押します。原稿がスキャンされたら、タッチ画面にパッチテストの結果が表示されます。結果には、スキャナーが認識したパッチの枚数とパッチタイプが表示されます。



The screenshot shows the "Patch Test" screen with a page number "17" in the top right corner. It displays a table of results. The table has columns for "1 - 6", "10 - 15", and "Total". The rows represent different patch types (1, 2, 3, 4) and their counts.

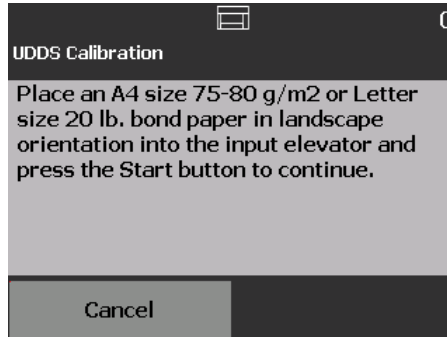
	1	2	3	4	T	6	Total
1	16	16	16	16	16	16	96
2	16	16	16	16	16	16	96
3	16	16	16	16	16	16	96
4	16	16	16	16	16	16	96

At the bottom, there is a "Cancel" button.

超音波重送検知キャリブレーションの実行

超音波重送検知のキャリブレーションは、超音波重送検知機能をキャリブレーションする場合に用いられます。超音波重送検知のキャリブレーションは、ほとんど実行する必要はありません。給紙や重送検知に関する問題が発生した場合にのみ、このキャリブレーションを行ってください。

1. **[キャリブレート]** を選択します。[キャリブレート] 画面が表示されます。
2. **[超音波重送検知のキャリブレーション]** を選択すると、[超音波重送検知のキャリブレーション] 画面が表示されます。



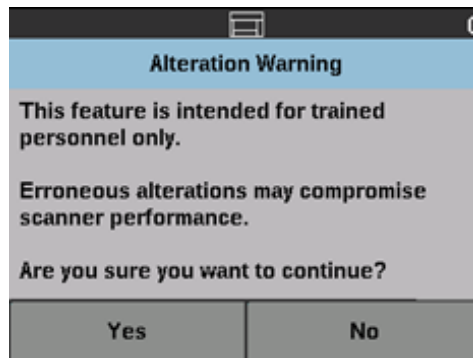
3. 入力エレベータに 20lb. または 80 g/m² のボンド紙を横方向にセットするように指示するメッセージが表示されます。
4. **[スタート/再開]** ボタンを押します。キャリブレーションの結果が表示されます。
5. 終了したら、**[キャンセル]** を選択して、[診断] 画面に戻ります。
6. **[閉じる]** を選択すると、[準備完了] 画面に戻ります。

タッチスクリーン キャリブレーションの実行

タッチスクリーンキャリブレーションは、タッチポイントが正しく機能していることを確認します。タッチスクリーンは工場ではキャリブレーションされています。テクニカルサポートからの指示がある場合を除き、タッチスクリーンのキャリブレーションを実行しないでください。

変更

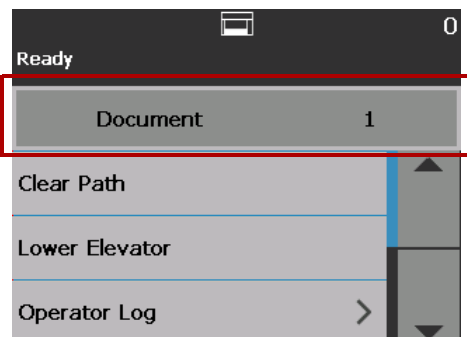
Kodak Alaris テクニカルサポートの指示がある場合のみこのオプションを使用します。



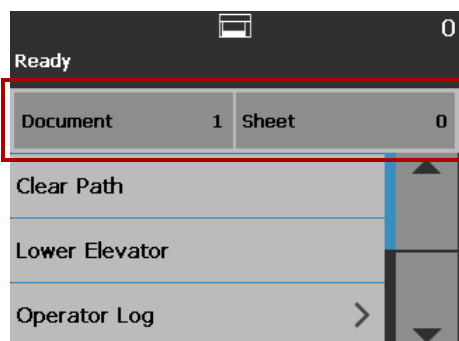
スキャンアプリケーションで
インデクシングが有効な場合
の [準備完了] 画面
(i5650/i5650S/i5850/i5850S
スキャナーのみ)

インデクシングおよびバッチが有効の場合、[準備完了] 画面には追加のオプションが表示されます。カウンタ領域がステータス領域の下に表示されます。スキャンアプリケーションのインデクシングの選択に応じて、表示されるレベル領域は異なります。例：

- [単一ページ] または [ペイツタンプ] が (ドライバで) 選択されている場合、以下が表示されます。

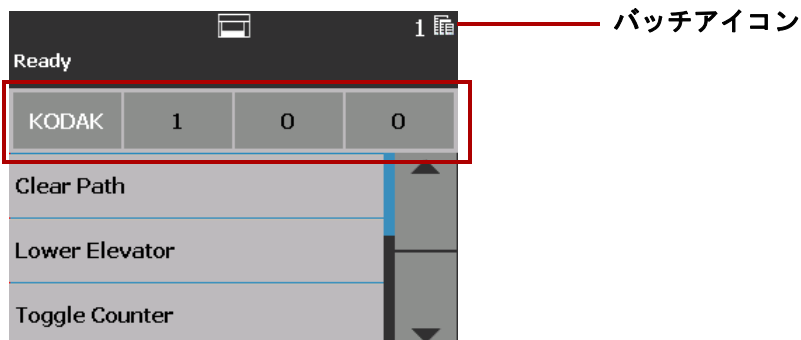


- [複数ページ] が (ドライバで) 選択されている場合、以下が表示されます。



- [イメージアドレス] が (ドライバで) 選択されている場合、以下が表示されます。

注： このオプションは i5650 スキャナーでは利用できません。



[バッチ] アイコンはバッチが有効の場合にのみ表示されます。あらかじめ定義されたアクションを実行するまでにカウントする原稿数が表示されます

インデクシングが有効な場合、

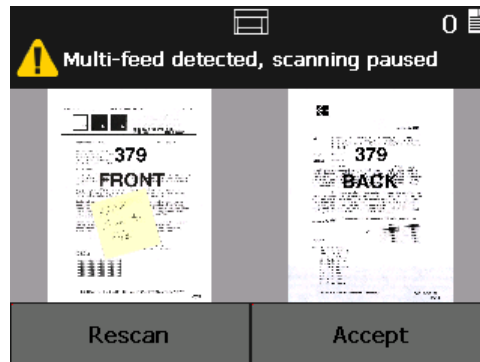
- 3つのインデクシングレベルボタンがレベル領域に表示されます。[レベル3]、[レベル2]、および [レベル1] です。いずれかのレベルボタンを押すと、インデックスレベルを増やすことができます。スキャンセッション中に強調表示されているレベルボタンが、次の原稿のレベルとして割り当てられます。
- [バッチ終了] オプションを利用して手動でバッチを終了できます。

重送原稿の検証

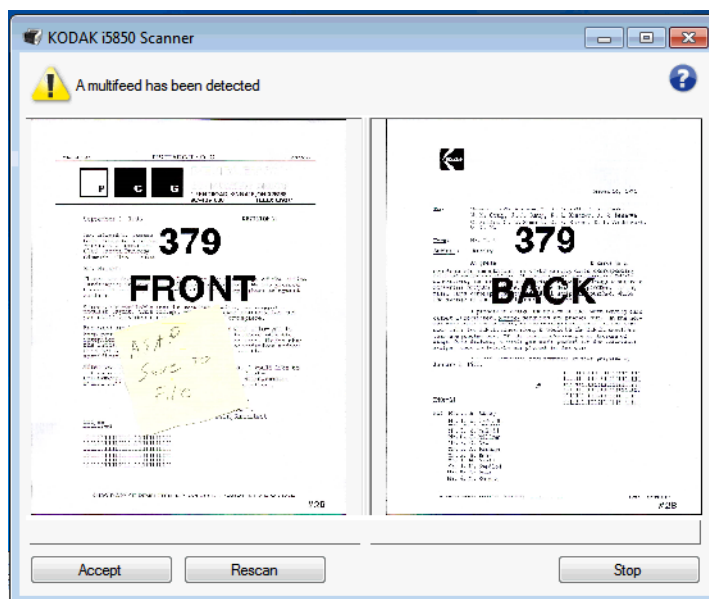
重送が発生し、[重送検知]を有効にしている場合、スキャナーは停止し、以下の画面を表示して表示通りのイメージを許可または再スキャンできます。

[重送検知]が有効で、ドライバで[インタラクティブ重送リカバリ]オプションが選択されている場合、イメージはオペレータコントロールパネルとPCに表示されます。

- [重送検知]が有効で、ドライバで[スキャン一時停止 - (イメージ生成)]オプションが設定されている場合のみ、イメージはオペレータコントロールパネルに表示されます。



- イメージはPCに見やすく表示されます。



- 表示通りのイメージを許可する場合、[許可]を選択するとスキャナーは引き続きスキャンします。
- 原稿を再スキャンする場合、[再スキャン]を選択して入力エレベータに原稿を戻し、原稿を再スキャンします。

オペレータコントロールパネルの[停止 / 一時停止]ボタンを押すと、PCに表示されるイメージは無視されてスキャンセッションは終了します。

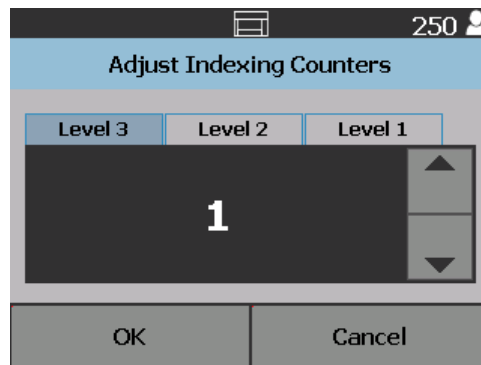
原稿詰まりの対処方法

原稿詰まりの発生時、スキャナーに [スキャンの停止] または [スキャンの一時停止] を設定できます。

- スキャナーに [スキャンの停止] を設定して原稿詰まりが発生した場合、スキャナーは停止します。スキャナーの原稿詰まりを取り除いて、スキャンアプリケーションの [スキャン] ボタンを押してスキャンを継続できます。
- スキャナーに [スキャンの一時停止] を設定して原稿詰まりが発生した場合、スキャナーは一時停止状態になります。スキャナーの原稿詰まりを取り除いて、オペレータコントロールパネルの [スキャン] ボタンを押すことができます。インデクシング、バッチ、印字が有効な場合、スキャナーは一時停止状態になり、以下の（スキャンアプリケーションのジョブに設定した内容に応じた）オプションがオペレータコントロールパネルで利用できます。
 - インデクシングカウンタを調整
 - バッチカウンタを調整
 - プリンターのカウンターを調整

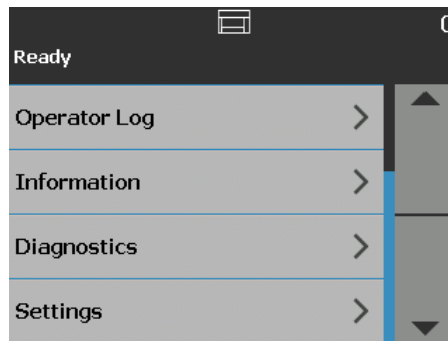
これらの画面が表示されると、オペレータコントロールパネルでカウンタを調整できます。

例えば、スキャンアプリケーションで [インデックス : 単一ページ] を選択して原稿詰まりが発生した場合、必要に応じて上下矢印を使用してインデックスカウントを調整できます。



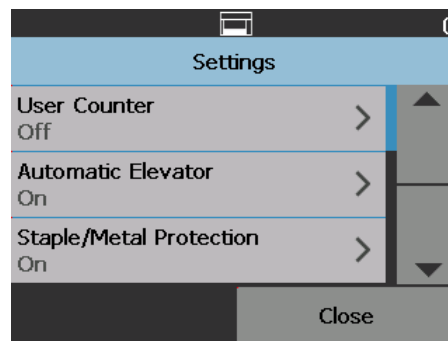
[設定]画面

[設定]画面を表示するには、[準備完了]画面の[設定]を選択します。



- [設定] オプションを選択してオプションのリストを表示します。

注： オプション名の下に現在設定されている値が表示されます。



[設定]画面には、たまにしか設定する必要のないスキャナ設定オプションが用意されています。

- **ユーザカウンタ** — 有効にすると、リセットするまで給紙される原稿枚数を全てカウントします。
- **自動エレベータ** — 有効にすると、入力エレベータに原稿をセットしたときに入力エレベータが自動的に上がります。
- **ホッチキス/金属防護** — 有効にすると、スキャナーは原稿上の金属（ホッチキス、ペーパークリップなど）を検知します。これにより原稿とスキャナーの損傷を防ぎます。
- **音量** — スキャナーアラームの音量を調整します。
- **音声** — スキャナーが特定の状態になったときにスキャナーから鳴らす音を選択します。
- **単位** — [オフセット印字]オプションで使用する単位を選択します。
- **ミスフィードOCPコントロール** — スキャン時に[ミスフィード検出]ボタンを選択するとスキャナーの動作を制御します。
- **デュアルスタッキングトグルパッチ** — 有効にすると、パッチシートを使用して、スタックから選択したページグループを選別することができます。

- **アプリケーションの優先処理** — 言語、印字、最長サイズ検知、自動的にスキャンを開始、排紙方法、スキャン方法、スキャン後に回転、ミスフィード検出、スキヤナー速度オプションを設定できます。[アプリケーションの優先処理]画面からアクセスするほとんどの画面にはアプリケーション設定オプションがあります。アプリケーション設定オプションはデフォルトであり、スキヤナーではスキャンアプリケーションで規定した通りの設定を使用することを意味します。

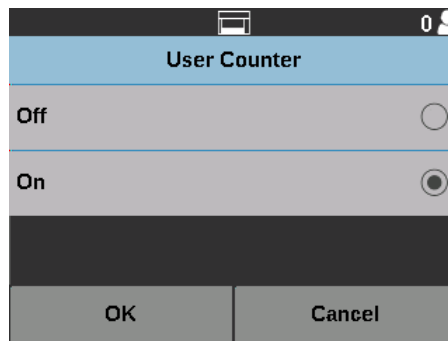
アプリケーションの優先処理に関する詳細については、「アプリケーションの優先処理」ページの 51 を参照してください。


- **全設定のリセット** — すべてのオプションを工場出荷時の設定にリセットします。


ユーザーカウンタ

このオプションは制御可能なカウンタを有効にします。一旦有効にすると、カウンタは 0 になり、用紙 1 枚毎にカウントアップします。カウンタはいつでもリセットできます。

ユーザーカウンタが有効な場合、[カウンタ切り替え]と[ユーザーカウンタのリセット]オプションが[準備完了]画面で利用できます。



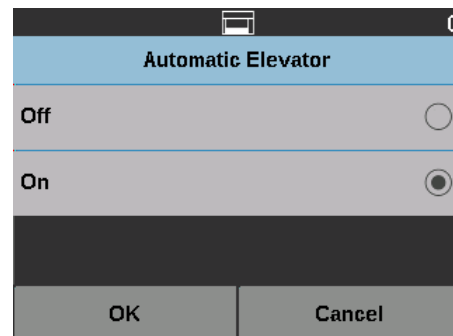
- [準備完了]画面で[カウンタ切り替え]を選択すると、[スキャン]画面と[準備完了]画面の[カウンタ値]の横にあるステータス領域に原稿カウンタアイコン  が表示されます。

- [準備完了]画面で[ユーザーカウンタのリセット]を選択すると、[スキャン]画面と[準備完了]画面の[カウンタ値]の横にあるステータス領域にユーザカウンタアイコン  が表示されます。

ユーザーカウンタが無効な場合、[カウンタ切り替え]と[ユーザーカウンタのリセット]オプションは[準備完了]画面と[スキャン]画面で利用できません。ステータス領域に表示されるのは原稿カウンタ値のみです。

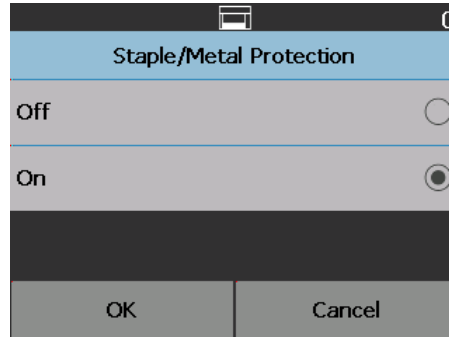
自動エレベータ

このオプションを有効にすると、入力エレベータに原稿をセットしたときに入力エレベータが自動的に給紙位置まで上がります。



ホッチキス / 金属防護

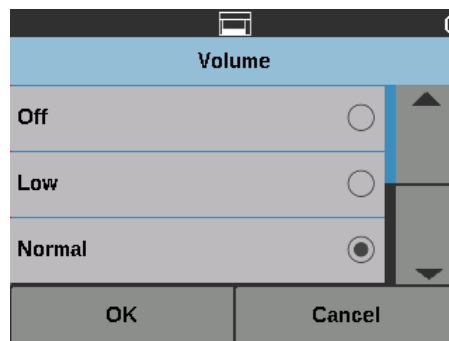
このオプションを有効にすると、スキャナーは原稿にホッチキス、ペーパークリップなどがあるか検知します。これにより原稿とスキャナーの損傷を防ぎます。スキャナーが原稿で金属を検知すると、スキャナーは停止し、原稿から金属を取り除いてスキャンを継続できます。



アラーム音量の変更

[音量] 画面では、スキャナーの状態に応じて鳴らす音の音量を調整できます。[最大] から [小]、または [オフ] (無音) が選択できます。デフォルト値は [小] です。

1. [設定] 画面の [音量] を選択すると、[音量] 画面が表示されます。

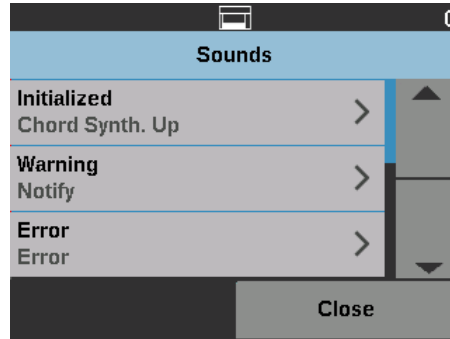


2. 最適な音量を選択します。オプションを選択すると、トーンが鳴ります。
3. [OK] を選択して選択内容を保存し、[設定] 画面に戻ります。[キャンセル] を選択すると、変更内容を保存せずに [設定] 画面に戻ります。

音声の選択

紙詰まりや重送など、スキャナーの状態に応じて鳴らす音声を選択できます。

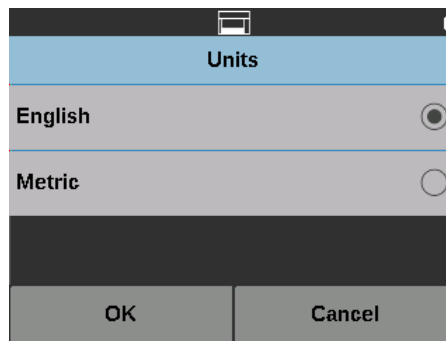
1. **[音声]** を選択して、**[音声]** 画面を表示します。



2. トーンを鳴らすイベントを選択します（警告、エラーなど）。イベントを選択すると、新しい画面にさまざまなトーンが表示されます。ここから適切なトーンを選択します。
3. 選択したイベントが発生した時に鳴らすトーンを選択します。オプションを選択すると、トーンが鳴ります。
4. 他のイベントで鳴らす音声を設定する場合は、**[音声]** 画面に戻ってステップ 2 と 3 を繰り返します。
5. **[OK]** を選択して選択内容を保存し、**[設定]** 画面に戻ります。**[キャンセル]** を選択すると、変更内容を保存せずに **[設定]** 画面に戻ります。

[単位]

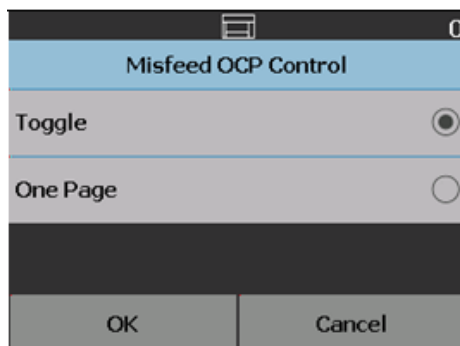
[単位] オプションでは [オフセット印字] オプションで使用する単位を設定します。[**インチ**] (インチ) または [**メートル**] (ミリ) のいずれかを選択後、**[OK]** を選択して変更を保存するか、**[キャンセル]** を選択して変更を保存せずに **[設定]** ウィンドウに戻ります。



ミスフィードOCPコントロール

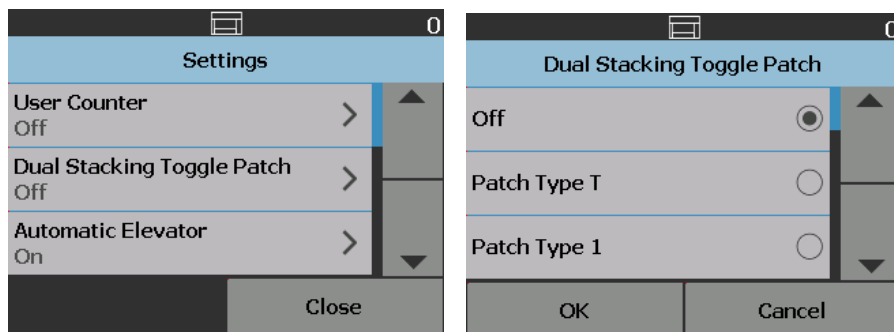
ミスフィード OCP コントロールによりスキャン時に [ミスフィード検出] ボタンを選択するとスキャナーの動作を制御できます。

- スキャン時に [ミスフィード検出] ボタンを選択する際に [1 ページ] を選択すると、[ミスフィード省略] は 1 ページのみ有効となり、その 1 ページ以降は無効になります。
- スキャン時に [ミスフィード検出] ボタンを選択する際に [切り替え] を選択すると、[ミスフィード省略] は [ミスフィード検出] ボタンを再び押すかスキャナーが無効となるまで有効です。



デュアルスタッキングトグルパッチ

管理デュアルスタッカーアクセサリを使用する場合、デュアルスタッキングトグルパッチオプションにより原稿の準備をしているときにパッチシートを使用してスタックから特別な原稿を自動的に仕分けすることができます。例えば、1万ドルより大きな金額の請求書を保存する必要がある場合、このオプションを使用してパッチシートをこれらの請求書ページの前後に配置することによりスキャナーで選別することができます。カラートグルパッチを使用している場合、すべてのカラー原稿を自動的に選別することもできます。

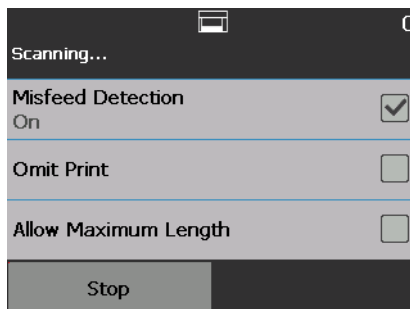


また、「デュアルスタッキングトグルパッチ」ページの 82も参照してください。

優先処理

優先処理には次の3つのタイプがあります。

- **即時優先処理**：この優先処理はスキャン中に実行します。スキャン中にオペレータコントロールパネルから直接優先処理できるオプションは、ミスフィード検出、印字省略、パッチ省略、および最長サイズ許可のみです。

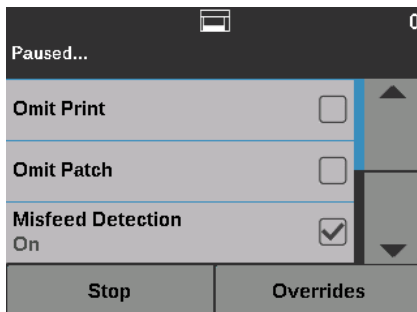


- **バッチの優先処理**：この優先処理はオペレータコントロールパネルの【優先処理】ボタンを選択して実行し、現在の原稿のバッチにのみ有効です。優先処理オプションはスキャナーの【停止/一時停止】ボタン選択時に利用できます。優先処理オプションにより、スキャンジョブの残りを【重送】、【重送センサ】、【最長サイズ検知】、【排紙方法】、【デュアルスタッキング】のスキャンジョブ設定より優先できます。

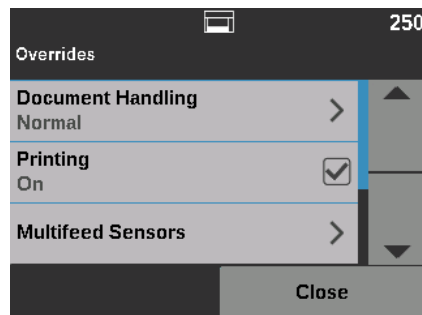
スキャンジョブの開始時に【バッチの優先処理】画面表示させるには、スキャンアプリケーションの自動的にスキャンを開始設定を無効にする必要があります。「原稿のスキャン」ページの26を参照してください。

優先処理の使用方法：

1. 【停止】画面で【優先処理】ボタンを押します。



【優先処理】画面が表示されます。



注：オプションをすべて表示するには、スクロールバーを使用してください。

2. 使用したい優先処理のオプションを選択してから、【閉じる】を押してスキャンを続行します。

- **アプリケーションの優先処理**：この優先処理は設定オプションで設定します。アプリケーションの優先処理は変更するまで持続します。利用可能なアプリケーションの優先処理は、**言語**、**印字**（プリンタがインストールされている場合）、**最長サイズ検知**、**自動的にスキャンを開始**、**排紙方法**、**スキャン方法**、**スキャン後に回転**、**ミスフィード検出**、**速度**です。詳細については、「アプリケーションの優先処理」ページの 51 を参照してください。

注：i5250V/i5650V スキャナーでは**最長サイズ 検知**は利用できません。

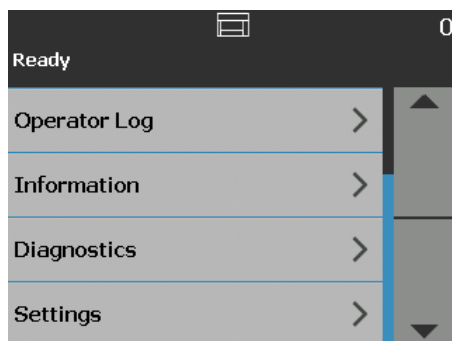
アプリケーションの優先処理

アプリケーションの優先処理によりスキャナーの言語と任意のアプリケーションの優先処理を設定できます。

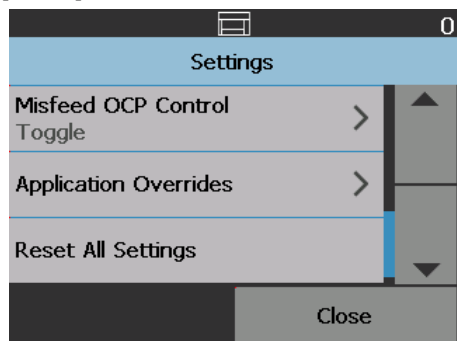
注：アプリケーションの優先処理が設定されている場合、優先処理は再び変更するまで有効です。

アプリケーションの優先処理オプションにアクセスするには以下のようにします。

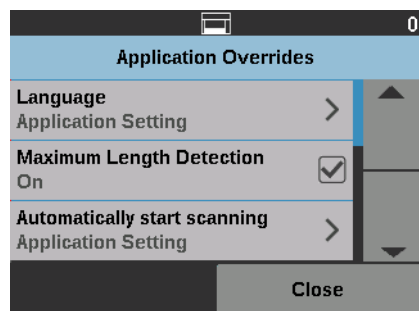
1. [準備完了]画面の[設定]を選択します。



[設定]画面が表示されます。



2. [設定]画面で[アプリケーションの優先処理]を選択します。

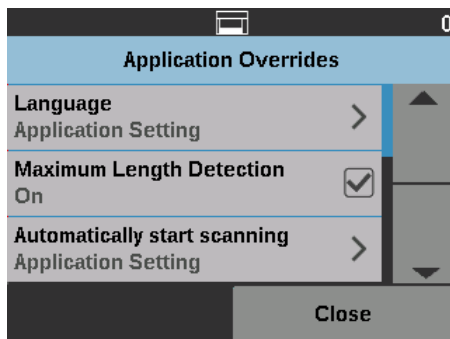


3. 変更するオプションを選択します。
4. 選択した優先処理を有効または無効にして、[OK]を選択します。アプリケーションの優先処理オプションの説明は以下のセクションを参照してください。
5. [アプリケーションの優先処理]画面の[閉じる]を選択すると、[設定]画面に戻ります。

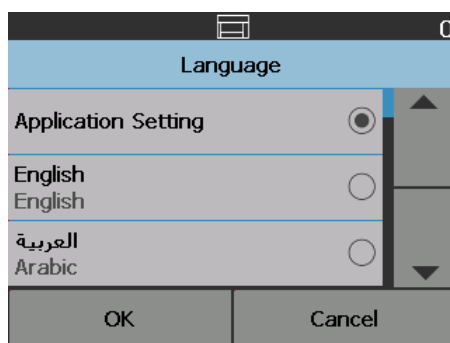
言語の選択

Kodak i5x50 シリーズスキャナーは、多言語をサポートしています。タッチ画面に情報を表示する言語を選択してください。

1. [設定] 画面で [アプリケーションの優先処理] を選択します。[アプリケーションの優先処理] 画面が表示されます。



2. [言語] を選択すると、[言語] 画面が表示されます。



3. 使用する言語を選択します。選択した言語で画面が表示されます。目的の言語が見つからない場合は、上矢印と下矢印を使って目的の言語を探してください。
4. [OK] を選択して選択内容を保存し、[設定] 画面に戻ります。[キャンセル] を選択すると、変更内容を保存せずに [設定] 画面に戻ります。

印刷中

スキャンアプリケーションで印字または電子アノテーションを有効に設定している場合、現在のスキャンジョブの原稿に対して一時的に無効にできます。すでに印字された原稿を再スキャンする際に便利です。

[印字] を一旦無効にすると、[印字] オプションが有効になるまで原稿は印字（またはアノテーション）されません

最長サイズ検知

このオプションでは、スキャンアプリケーションで設定した最長サイズ検知に対して優先処理を実行します。最長サイズ検知は可変で、出力解像度やフォーマットなど各種の要因によって異なります。

以下の表は圧縮出力での両面スキャンを前提にしたガイドラインです。

スキャン DPI	解像度 = 最長サイズ検知
100、150、200、240、300	白黒 = 180 インチ グレー = 180 インチ カラー = 58 インチ
400	白黒 = 100 インチ グレー = 100 インチ カラー = 32 インチ
500	白黒 = 64 インチ グレー = 64 インチ カラー = 18 インチ
600	白黒 = 43 インチ グレー = 43 インチ カラー = 13 インチ

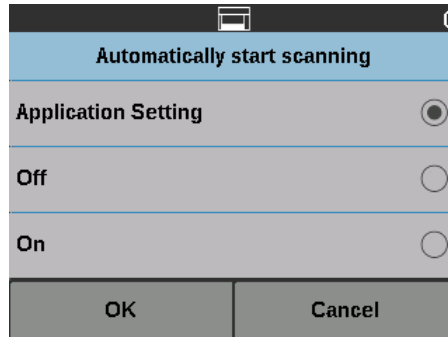
注：

- 管理デュアルスタッキングが有効な場合、デフォルトの最長サイズ検知はすべての解像度に対して 10 インチに設定されます。
- Kodak i5250V、i5650V スキャナーの最長サイズ検知は常に 40 インチに設定されており、優先処理が実行できません。
- 必要以上に最長サイズ検知を高く設定すると、処理速度が低下する場合があります。
- 最長サイズ検知よりも長い原稿を給紙すると、紙詰まりエラーになります。

自動的にスキャンを開始

このオプションでは TWAIN データソース、ISIS ドライバ、VRS で設定した [オートスタート] オプションに対して優先処理を実行します。詳細については、TWAIN、ISIS、および VRS のスキャンセットアップガイドを参照してください。

このオプションが無効の場合、スキャナーは休止モードになりますが、オペレータコントロールパネルの [スタート/再開] ボタンを押すとスキャンを開始できます。

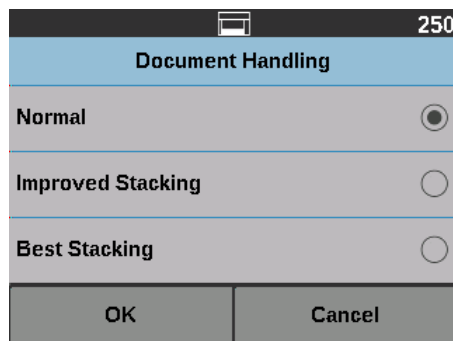


排紙方法

[排紙方法] では、スキャナーによる原稿の排紙方法を選択できます。これにより、原稿をスキャナーにフィードする方法、スキャナーに通す速度、および出力トレイに配置する方法に影響が及びます。

注：管理デュアルスタッキングが有効な場合、このオプションは使用できません。

この画面に表示されるオプションは、現在のスキャンジョブに対してスキャンアプリケーションで設定された内容によって異なります。オプションは、[標準]、[サイズ混在]、および [サイズ混在：ベスト]、または [厚紙]、[デリケート]、および [薄紙] です。



スキャンアプリケーションで3つのオプション：[標準]、[サイズ混在]、または [サイズ混在：ベスト] のいずれかが指定されている場合、指定された3つのオプションだけが画面に表示されます（上の図のように）。

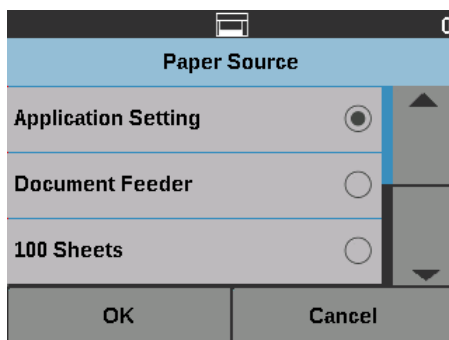
- **標準** — 追加処理はありません。このオプションは、すべての原稿のサイズがほぼ同じ場合に適しています。標準モードでスキャンする場合は、サイドガイドと原稿ストッパーの使用をお勧めします。管理デュアルスタッキングが有効な場合、標準モードは使用できません。
- **サイズ混在** — サイズが混在する原稿用の設定で、出力トレイに順番に排紙される様に制御します。これは、一般的なサイズ混在原稿のセットに使用します。
- **サイズ混在：ベスト** — 原稿にさまざまなサイズがある場合、このオプションにより、出力トレイで原稿を最適にスタックする / 並べることが制御できます。

スキャンアプリケーションで3つのオプション：[厚紙]、[デリケート]、または[薄紙]のいずれかを指定した場合は、この3つのオプションだけが画面に表示されます。

- **厚紙** — 厚い原稿をスキャンする場合に選択します。
- **薄紙** — 薄めの原稿をスキャンする場合に選択します。
- **デリケート** — 遅いペースで搬送路に給紙することで、脆くなったドキュメントの給紙が可能になります。非常に品質の低い原稿を給紙する場合にこのオプションを選択します。

スキャン方法

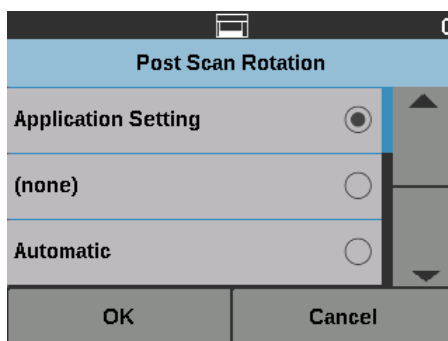
スキャン方法オプションにより入力エレベータの高さに対して優先処理を実行できます。



- **ドキュメントフィーダー** — 入力エレベータは一番高い位置にあります。
- **100 枚**
- **250 枚**
- **500 枚**
- **750 枚**

スキャン後に回転

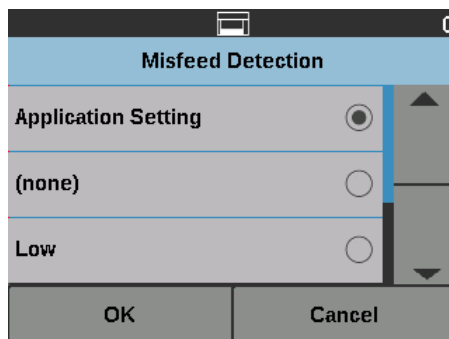
スキャン後に回転オプションにより電子イメージのスキャン後にイメージに適用される回転オプションを選択できます。



- **(なし)**
- **自動**
- **自動 - デフォルト値 90 度**
- **自動 - デフォルト値 180 度**
- **自動 - デフォルト値 270 度**
- **90 度、180 度、または 270 度**

ミスフィード検出

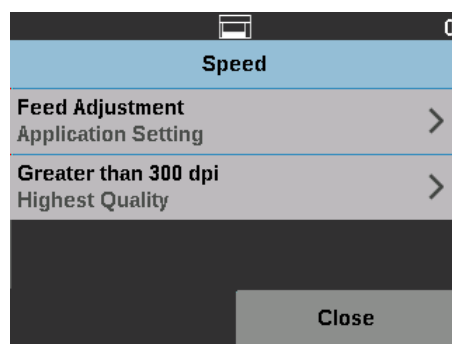
このオプションではスキャナーの複数の重送機能が併用され、これには重送検知感度、スキャナーに正しく入っていない原稿を、スキャナーがどの程度積極的に検出するかを決定するインテリジェントドキュメントプロテクションなどがあります。



[低]、[中]、[高]を選択すると、重送検知はインタラクティブ重送アクションとともに有効になり、中央の3つのセンサが起動します。またインテリジェントドキュメントプロテクションが有効になります。

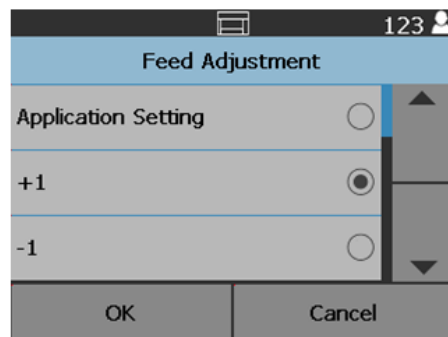
スキャナー速度

速度オプションにはスキャンするページの色を制御するオプションのメニューが表示されます。

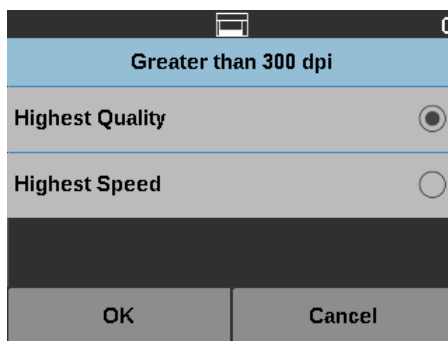


- **フィード調整** — このオプションではスキャナーの処理速度を調整して好みのスキャンペースに合わせることができます。
 - -1 から -9（最も遅い）を選択してスキャナーに給紙するページの色を調整します。
 - i5650/i5650V/i5650S/i5850/i5850S スキャナー用： +1 を選択すると最速でスキャンします。

注： +1 を選択すると、ページがうまく給紙されない場合があります。



- **300dpi 以上** — 以下のオプションの1つを選択できます。
 - **最高品質**：スキャナーは低速で動作し、最高品質のイメージを作成します。
 - **最高速度**：スキャナーは高速で動作し、良質のイメージを作成します。スキャナーの搬送路の速度には影響しません。

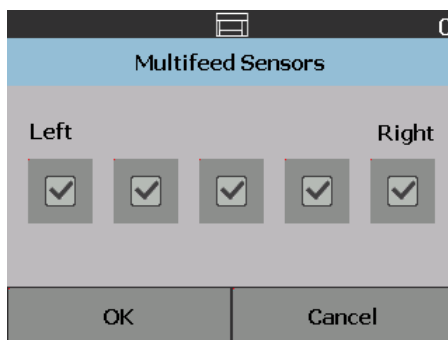


重送検知

スキャンアプリケーションで**〔重送検知〕**を有効に設定している場合、現在のスキャンジョブの原稿に対して**〔重送検知〕**を一時的に無効にできます。

重送センサ

スキャンアプリケーションで**〔重送検知〕**を有効に設定している場合、5つのセンサのいずれかを**有効**または**無効**にできます。センサを選択したら、**〔OK〕**を選択します。



オフセット印刷の変更

オフセット印刷オプションではドキュメントへの印刷部分を一時的に移動することができます（例えば、一度印刷したドキュメントを再スキャンする必要がある場合など）。

オフセット印刷の位置を変更した場合、変更はスキャナが [準備完了] 画面に戻るまで有効です。

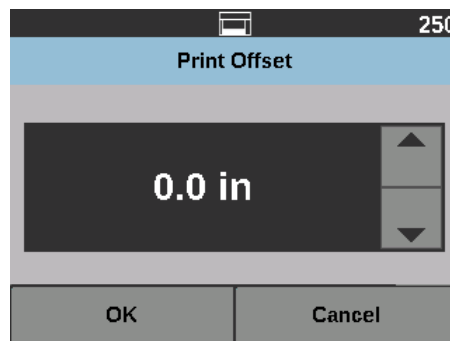
注：

- オフセット印字オプションは、印字を有効にした場合のみ、タッチスクリーンに表示されます。
- オフセット印字はアノテーションに影響しません。
- スキャナが自動スタートに設定されている状態で、オフセット印刷オプションを最初のドキュメントへの適用を希望する場合には、自動スタートを解除することが推奨されます。
- 重送が発生してもスキャナーの有効状態を保ち、効率良くスキャンするには、スキャンアプリケーションで [スキャンの一時停止] を選択すると便利です。
- ドキュメントよりも長い部分にオフセット印刷を設定した場合、ドキュメントへの印刷は実行されません。

1. スキャンアプリケーションで**プリンタ**が有効になっていることを確認します。

注： タッチスクリーンに表示される値はスキャンアプリケーションで設定された位置から追加されるオフセットの長さです。値が 0 の場合はオフセットされません。

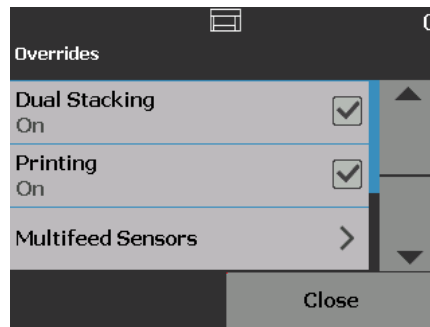
2. **オフセット印字**を選択すると以下の画面が表示されます。



3. 上下矢印を使用して、オフセット印刷の数値を（インチまたはミリメートル単位で）増加または現象させます。スキャンアプリケーションで設定された印字位置から前後して印字されます。例えば、ドキュメントの先端から 1 インチ /25 mm から印刷を開始する設定だった場合に、オフセット印刷ポジションを 1 インチ /25 mm 増加させると、印刷は先端から 2 インチ / 50 mm の位置から開始されます。
4. 確認後、**[OK]** を選択します。

デュアルスタッキング

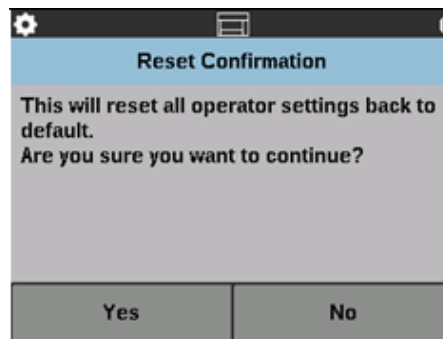
管理デュアルスタッキングオプションでは、Kodak 管理デュアルスタッキングアクセサリを使用することで、サイズやパッチコードのシートに応じて、原稿を仕分けてスタックすることができます。詳細については、「5 ソートとスタッキング」ページの 71 を参照してください。



デュアルスタッキングは、オンまたはオフに設定できます。

すべての設定をリセット

スキャナーの構成を出荷時状態にリセットします。[リセットの確認]画面が表示されます。



- [はい]を選択すると、設定を工場出荷時の設定にリセットします。

4 ドキュメントの印字

この章では、オプションの *Kodak* プリンタアクセサリの使用について説明します。このプリンタオプションを使用するには、*Kodak* プリンタアクセサリを購入し、インストールする必要があります。プリンタアクセサリに付属している説明書を読んで、このアクセサリのインストール手順を確認してください。

スキャンしたすべてのページの前部と後部で印刷できます。ポストスキャンまたは裏ページ印刷は、ページがイメージングされてから行います。スキャン前に前部で印字されるため、スキャンイメージに印字内容が反映されます。一度に1つのプリンタしか使用できません（前部または後部）。前部プリンタおよび後部プリンタのいずれにもプリンタカートリッジをインストールすると、エラーが表示されます。

拡張プリンタは、スキャナーの最高速度で動作します。印刷時には、日付、時刻、ドキュメント順次カウンタ、およびカスタムメッセージを追加することができます。

印字文字列はバッチ名、オペレータ名など、どの原稿に対しても同じになる固定情報と、原稿のシーケンシャルカウンタなど、スキャンするページごとに異なる可変情報の両方を組み合わせて設定できます。

プリンタの使用および設定の詳細については、CD/DVD に収録されている *TWAIN* データソース、*ISIS* ドライバ、*VRS* の『スキャンセットアップガイド』、ご使用のスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

注：

- *Kodak* i5x50 シリーズスキャナーはデジタルプリンタ機能も備えており、追加購入は必要ありません。デジタルプリンタ機能は物理プリンタと同じオプションすべてを備えていますが、物理ページへ印字せず、情報はイメージファイルへ組み込まれます。デジタルプリンタの詳細については、*TWAIN* データソースまたは *ISIS* ドライバのスキャンセットアップガイドを参照してください。
- スキャンセッションを開始する前にプリンタを有効にして、インクカートリッジを取り付けておく必要があります。
- プリンタの使用時には、スキャナーの搬送路を毎日クリーニングしてください。
- プリンタを有効に設定してスキャンするときに、インクカートリッジを装備していないとエラーが表示されます。
- このセクションの図では i5250/i5650/i5250V/i5650V スキャナーを表します。特に指示のない限り、すべてのプリンタの調節は i5650S、i5850、および i5850S スキャナーに対しても同じです。
- 電子イメージアノテーションは i5250V、i5650V で使用できます。イメージアノテーションにはプリンタアクセサリは必要ありません。

プリンタの仕様

以下の仕様の詳細については、TWAIN データソース、ISIS ドライバまたは VRS のスキャンセットアップガイドを参照してください。

特性	説明
最大行数	1
最大文字数	40 文字（スペースを含む）
印字位置（横方向）	最大 39 箇所、前部手動設定 最大 24 箇所、後部手動設定
印字位置（垂直方向）	スキャンアプリケーションで設定。
印字方向	0 度、90 度、180 度、および 270 度
フォントスタイル	標準、太字、極太 デジタルプリンタ用フォント = Roboto Slab 物理プリンタ用フォント = カスタム 注：半角カナなど、太字フォントがサポートされていない場合もあります。
フォントサイズ	最小 (-5) ~ 最大 (+5) の範囲
印字面	表面（スキャン前） 裏面（スキャン後に印字）
原稿の先端からの最小印字開始位置	0.64 cm
インクカートリッジ	黒：HP-C6602A 赤：HP-C6602R 緑：HP-C6602G 青：HP-C6602B
インクカートリッジ 1 個あたりの印字可能文字数	1,500,000 ~ 2,000,000（使用するフォントサイズ等に依存）
使用可能な固定文字フィールド	スキャンアプリケーションを使用したユーザー指定のメッセージ
使用可能な可変フィールド	時間フォーマット 5 つ 日付フォーマット 9 つ 連続カウンタ 1 つ：最大 9 桁 i5650/i5650S：インデックスカウンタ 2 つ i5850/i5850S：インデックスカウンタ 3 つ
サポートされる言語	すべての表音言語に対応します。例：オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語（半角カナ）

インクカートリッジの 取り付け / 交換

プリンタを使用する前に、インクカートリッジをインストールしてください。
ご注文については、「消耗品」ページの 112 を参照してください。

取り付け後、以下の状況が発生した場合は、インクカートリッジを交換する必要があります。

- 印字が薄かったり、濃度が不均一な場合
- 文字が欠落している場合
- 印字テストで印字品質が不均一の場合
- クリーニングを実施しても印字品質が向上しない場合

重要： 国 / 地域の規定に準拠したプリンタ消耗品のリサイクルや、空のインクカートリッジの廃棄については、Hewlett-Packard の Web サイトを参照してください。

前部プリンタへのアクセス

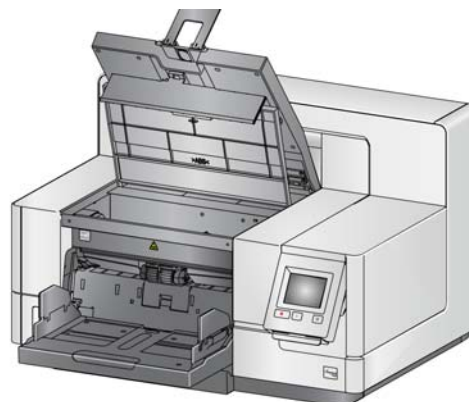
1. 出カトレイを取り外し、プリンタアクセスカバーを開けます。



次のページの手順2、「インクカートリッジの取り付け」に進んでください。

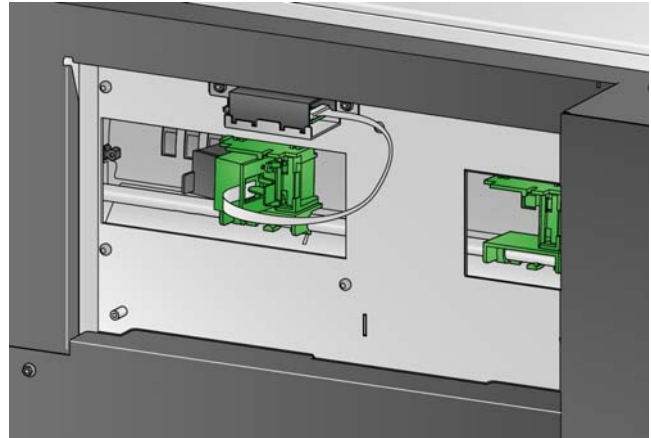
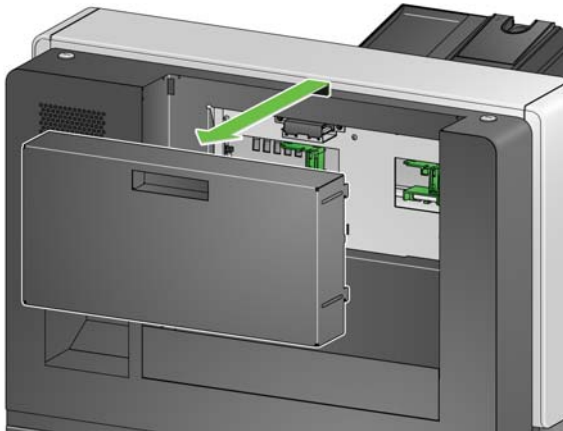


注：出カトレイを取り外さない場合は、出カトレイの前面部を持ち上げてから、プリンタアクセスカバーを高さの調節タブの後ろに来るように持ち上げます。



**後部プリンタへのアクセス
(i5850 および i5850S)**

1. 出荷用ねじが外されていない場合、ネジを外します。
2. 後部アクセスプリンタドアを所定の位置から持ち上げて取り外します。



3. 「インク カートリッジの取り付け」を続行します。

**後部プリンタへのアクセス
(i5250/i5250V/i5650/i5650V/
i5650S)**

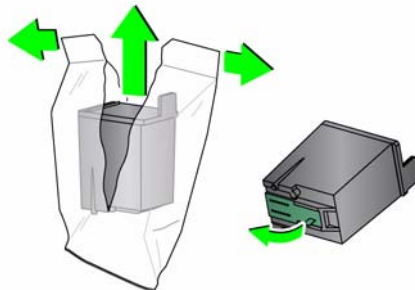
i5x50 の卓上スキャナーモデルの場合：

1. 出荷用ねじが外されていない場合、ネジを外します。
2. 後部アクセスプリンタドアを所定の位置から持ち上げて取り外します。

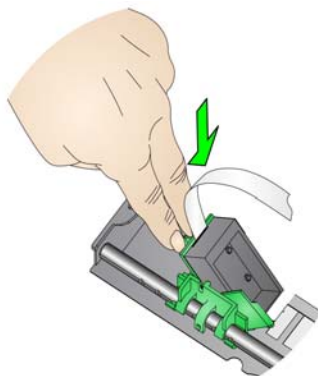


**インク カートリッジの取り
付け**

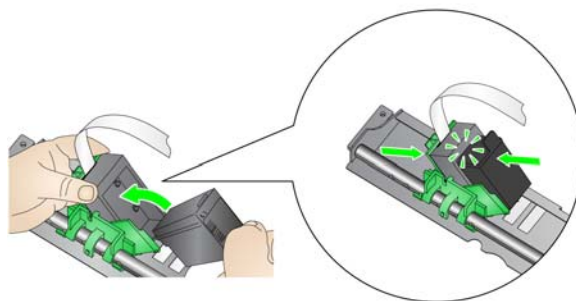
1. インクカートリッジのパッケージを開き、新しいインクカートリッジからシールをはがします。



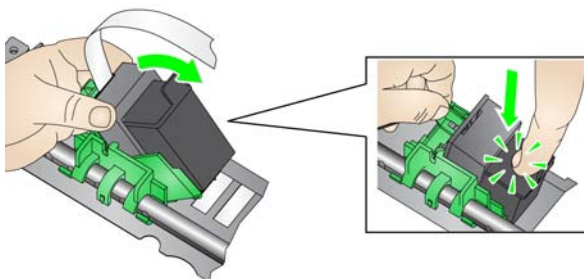
2. プリンタキャリアタブを押し下げて、プリンタキャリアを回転させます。



3. 図のようにインクカートリッジをプリンタキャリアに挿入します。



4. プリンタキャリアを後ろに回転させ、適切な位置にはめ込みます。



5. インクカートリッジホルダを適切な位置に取り付けます。「印字位置の変更」ページの 66 を参照してください。
6. プリンタアクセスカバーを閉めて、出力トレイを取り付けます。後部プリンタを使用している場合は、後部アクセスプリンタドアを取り付けます。
7. 印字テストを実行します（「印字テストの実行」ページの 34 を参照）。

印字位置の変更

印字の横位置は手動で変更する必要があります。

注：上記の指示は前部および後部プリンタで同じです。図は前部プリンタです。

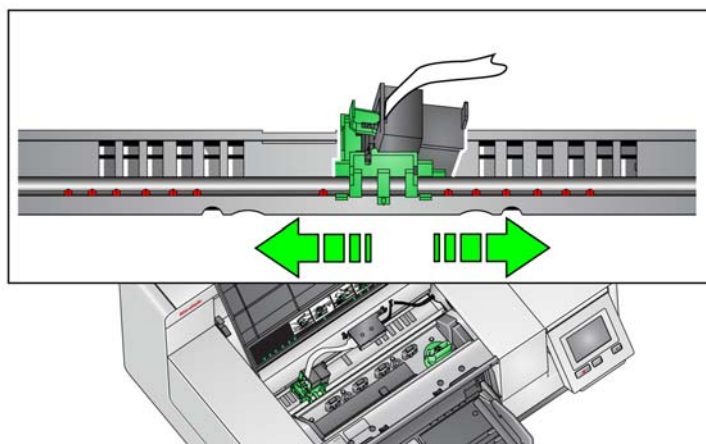
1. 出カトレイを取り外します（前部プリンタのみ）。
2. プリンタアクセスカバーを開けます。

注：

- 水平方向の印字位置は、プリンタレール上の小さなつめで確認できます。前部プリンタには 39 の戻り止め位置があり、後部プリンタには 24 の戻り止め位置があります。
- 情報がすべて印字されていなくても、印字は原稿の後端から約 1.27cm のところで自動的に停止します。

3. プリンタキャリアを所定の印字位置にスライドさせ、プリンタキャリアの溝を適切な印字位置に揃うようにします。

注： **前部プリンタ**：入力エレベータ先端の印字位置インジケータを見て、印字の横位置を確認できます。



注： **後部プリンタ**：戻り止め位置はプリンタレールの下部に位置しているため、見えにくくなっています。

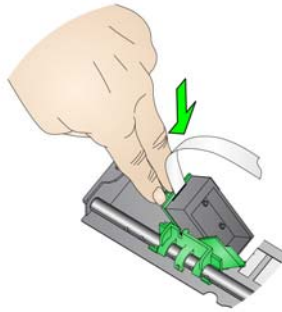
4. 前部プリンタアクセスカバーを閉め、出カトレイを取り付けるか、後部プリンタアクセスドアを取り付けます。

前部および後部印字 キャリアの間のインク カートリッジの移動

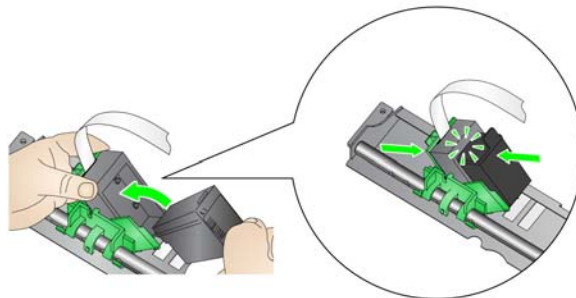
前部プリンタと後部プリンタを使用する場合、印字するのに一度に1つのプリンタしか使用できません。前部プリンタから後部プリンタに変更する場合（またはその逆）、次のように行います

1. 前部プリンタまたは後部プリンタエリアにアクセスし、インクカートリッジを取り外します。「前部プリンタへのアクセス」ページの 63 および「後部プリンタへのアクセス (i5850 および i5850S)」または「後部プリンタへのアクセス (i5850 および i5850S)」ページの 64 の手順を参照してください。
2. プリンタキャリアタブを押し下げて、プリンタキャリアを回転させインクカートリッジを取り外します。

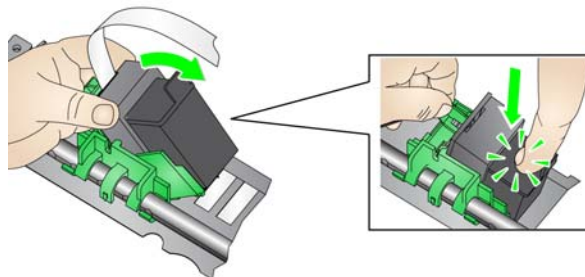
注： 前部から後部（もしくは後部から前部）にインクカートリッジを移動させる場合、手にインクをつけないよう気を付けてください。



3. どちらを印字したいかによって、インクカートリッジを前部または後部から移動させます。
4. 図の様にインクカートリッジをプリンタキャリアに挿入します。



5. プリンタキャリアを回転させ、適切な位置にはめ込みます。



6. インクカートリッジホルダを適切な位置に取り付けます。「印字位置の変更」ページの 66 を参照してください。
7. 前部プリンタアクセスカバーを閉め、出力トレイを取り付けるか、後部プリンタアクセスドアを取り付けます。
8. 印字テストを実行します（「印字テストの実行」ページの 34 を参照）。

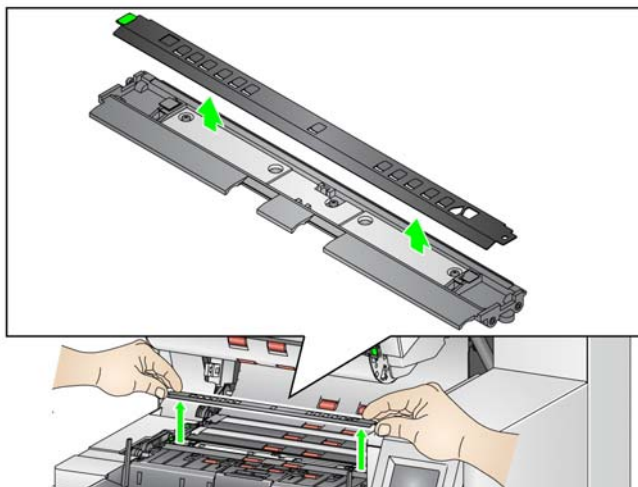
インクブロッタの取り付け / 交換(前部プリンタのみ)

スキャナーの搬送路に3ヶ所のインクブロッタストリップがあり、プリンタからあふれたインクを吸収できるようになっています。ストリップは、プリンタ取り付け時にインクブロッタチャンネルに付けられています。取り付けられていない場合は、次の手順を実行して、このストリップを取り付けてください。

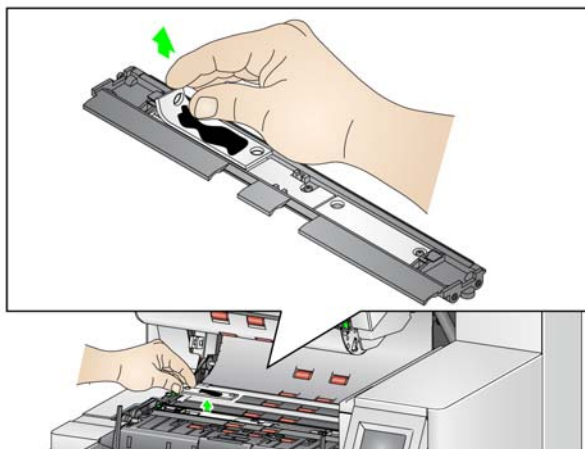
ブロッタからあふれたインクを吸収したストリップは交換してください。プリンタの位置によっては、同時にすべてのストリップを交換する必要はありません。追加のインクブロッタストリップの注文については、「消耗品」ページの112を参照してください。

注：インクブロッタは後部プリンタには必要ありません。

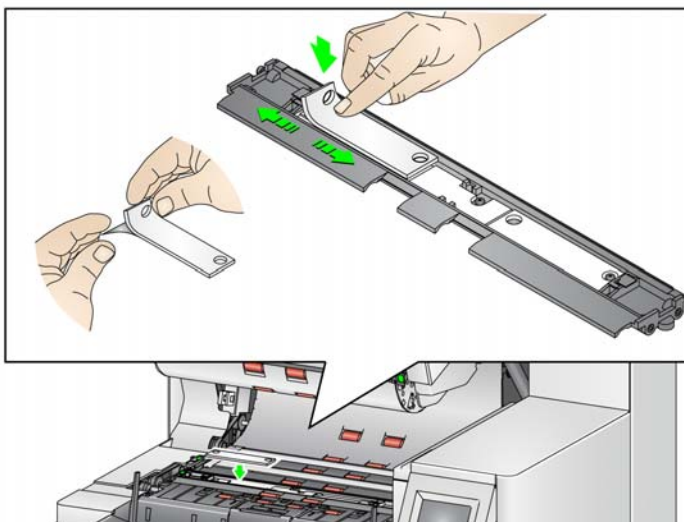
1. スキャナーカバーリリースラッチを手前に引いて、スキャナーカバーを解除して持ち上げます。
2. インクで汚れたストリップを搬送路から剥がします。



3. ブロッタストリップチャンネルを確認します。インク吸い取りストリップをチャンネルに取り付けます。
4. ブロッタストリップを交換する場合は、ステップ5に進みます。ブロッタストリップを初めて取り付けの場合は、ステップ6に進みます。
5. 交換が必要なブロッタストリップを確認し、チャンネルから慎重に剥がします。地域の規定に従って、使用済みのストリップを廃棄してください。



6. 新しいインクプロッタの台紙をはがします。
7. チャンネルにプロッタストリップを並べます。



注：インクプロッタを正しく取り付けないと、紙詰まりの原因になります。

8. インクプロッタの糊の付いている面をチャンネル内にしっかりと押しつけます。
9. 別のストリップも交換する必要がある場合は、ステップ5～8を繰り返します。
10. 汚れたストリップを交換します。
11. スキャナーカバーを閉めます。

問題解決

プリンタ使用時に発生した問題への対処方法については、以下のリストを参考にしてください。

問題	解決方法
印字の品質が悪いまたは一定していない	<ul style="list-style-type: none"> ・インクカートリッジが空でないことを確認します。 ・インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 ・インクカートリッジが正しい位置にあることを確認します。 ・スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっているか、また印字文字列が指定されているか確認します。 ・プリンタコネクタが確実に固定されていて、プリンタケーブルがしっかりと取り付けられているか確認します。 ・印字テストを実行して、すべてのインクジェットが正常に機能していることを確認します。「印字テストの実行」ページの 34 を参照してください。 ・プリントヘッドをクリーニングします（下記の「プリントヘッドの乾燥による、印字開始時の問題」を参照）。
プリントヘッドの乾燥による、印字開始時の問題	<p>スキャナーからインクカートリッジを外し、インクカートリッジのインクジェット部分を濡れた布で軽く叩いた（注：拭かないでください）後に、インクカートリッジを取り付け、再度実行してください。</p>
印字しない	<ul style="list-style-type: none"> ・スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっていることを確認します。 ・目的の印字位置に、インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 ・プリントヘッドからテープが外されていることを確認します。

5 ソートとスタッキング

この章では以下の使用に関する情報をお伝えします。

- i5650S および i5850S スキャナー用のソーター機能と出力トレイ。
- i5650S および i5850S スキャナー用の後部パッチソートオプション。
- Kodak i5850 スキャナー専用のオプションの Kodak 管理デュアルスタッキングアクセサリ。スタッキングオプションを使用するには、このアクセサリをすでに購入しており、認定サービス代理店がその機能を有効にする必要があります。

i5650S および i5850S スキャナー用の出力トレイの調整

スキャナーの出力トレイは最大 17 インチまでの原稿のスキャン/ソートの必要に応じるよう調整できます。調整またはメンテナンスにはトレイを取り外して再び取り付ける必要がある場合があります。

特別に識別される（ソート/スタックされる）原稿は例外原稿と呼ばれます。TWAIN データソース、ISIS ドライバまたはスキャンアプリケーションには、原稿の出力方法（例えばサイズ、パッチシート、重送に基づく）に関するオプションがあり、ソート/スタッキングオプションを有効にすることで、下段出力トレイ（トレイ 1）または上段出力トレイ（トレイ 2）に例外原稿をソートします。

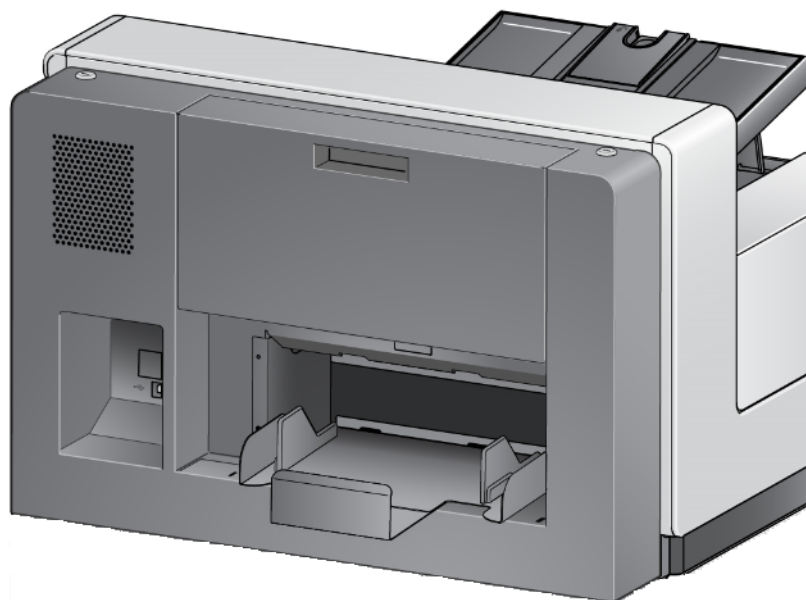
- **トレイ 1/ 下段トレイ**: 原稿がスキャナーから排出される下段に位置します。この場所は出力トレイで最大数の原稿を許容します。例外原稿または非例外原稿に使用できます。スキャン原稿の大半が例外原稿の場合、例外用トレイに下段出力トレイを選択してください。スキャンアプリケーションで原稿のソート/スタッキングオプションを選択していない場合、原稿はこのトレイに出力されます。このトレイを取り外す、または調整する必要がある場合は、「出力トレイの調整」ページの 19 を参照してください。

- **トレイ 2/ 上段トレイ**：上端に最も近い場所にあり、例外原稿が少数の場合に、通常は例外原稿用に使用します。このトレイを取り外す、または調整する必要がある場合は、「上段トレイの角度の調整」ページの 73 を参照してください。



トレイ 1/ 下段トレイ

- **後部排紙トレイ**：スキャナ - の後部にあります。



上段トレイの角度の調整

上段トレイは、5段階の角度に調整できます。上段トレイの高さは原稿を前端または後端に揃えるに応じて調整します。



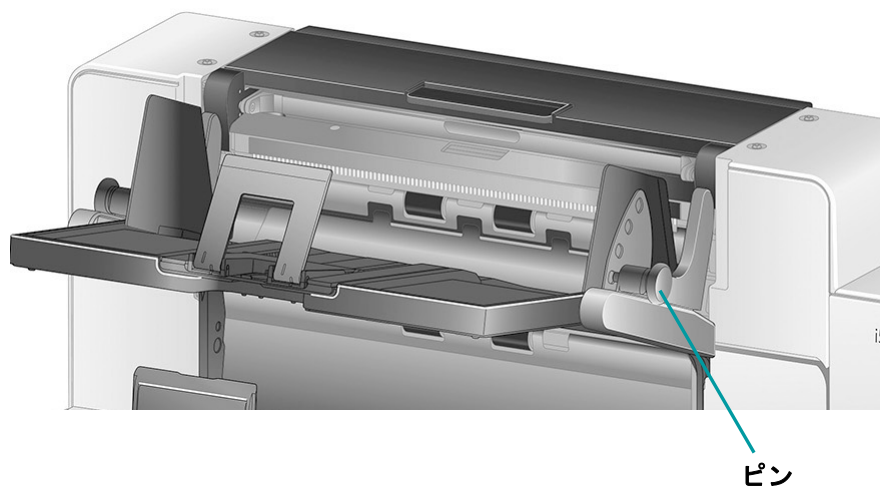
最上段ポジション



再下段ポジション

トレイの角度を変更するには、次の手順を実行します。

1. トレイの両側のピンを引き出し、トレイの角度を穴に合わせて変更します。



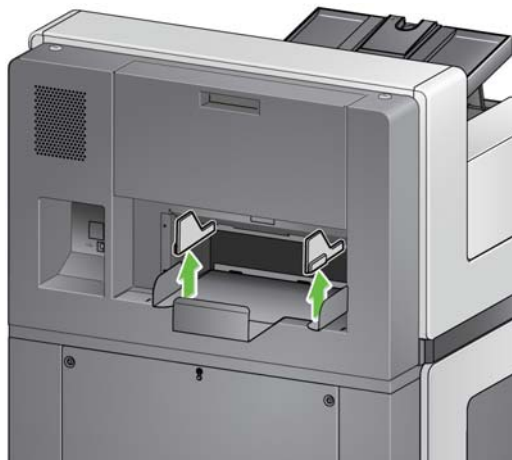
2. 角度が決まったら、ピンをそっと放してトレイを固定します。

一般に、スキャンアプリケーションでベストまたは改良スタッキングを選択した場合、トレイは最上段ポジションにセットしてください（ピンをトレイ一番手前の穴に入れてください）。

上段トレイまたは後部排紙トレイのサイドガイドの調整

サイドガイドを使用すると、原稿は出力トレイでより適切にスタックされるようになります。原稿を最適にスタックするには、サイドガイドの位置変更が必要になる場合があります。

上段トレイ用サイドガイドには磁石があるので、ガイドを左右にスライドさせて簡単に原稿のサイズに調整できます。

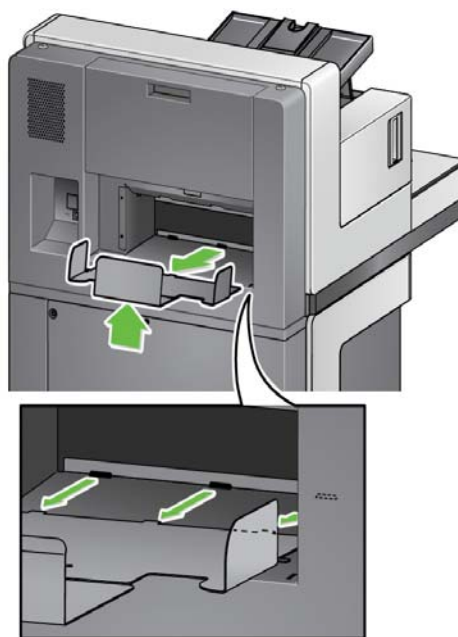


i5850 モデルの後部排紙トレイのサイドガイドは、下段トレイのサイドガイドのように調整します。

i5650S の場合：サイドガイドを取り外す必要がある場合は、そのまま上に持ち上げてトレイから外します。

後部排紙トレイの取り外し

後部排紙トレイを取り外す必要がある場合、トレイを少し上に傾け、持ち上げてスキャナーから外します。



ダングラーの使用法


スキャナーにはサイズの異なる 3 種類のダングラーが付属し、スキャンする原稿セットに応じて簡単に交換できます。

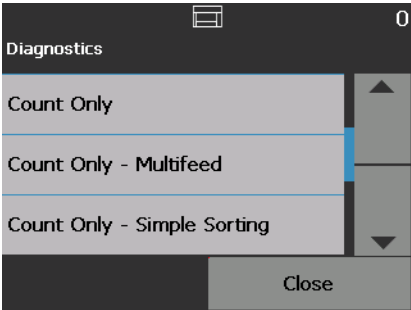
必要に応じ、ダングラーをスキャナー上部排紙口に取り付けます。(ダングラーは下段トレイと後部排紙トレイにも取り付けられます。) ダングラーは出力トレイに積み重なる原稿を合わせるのに役立ちます。スキャンする原稿セットに応じて、最適なサイズのダングラーを取り付けます。ダングラーをお好みの長さにカットすることもできます。



問題解決 - i5650S および i5850S スキャナー

i5650S/i5850S スキャナー使用時に発生した問題への対処方法については、以下のリストを参考にしてください。

問題	解決方法
原稿を長さで正しく仕分けられない	<ul style="list-style-type: none"> スキャンアプリケーションの [ソート] タブの [長さ] オプションが設定されていることを確認します。長さで正しく仕分けするには、用紙サイズに 0.5 インチ以上の違いが必要です。
原稿がパッチシートで仕分けられない	<ul style="list-style-type: none"> すべてのパッチが横向きに印刷されていることを確認します。 このガイドの第 3 章の説明に従い、オペレータコントロールパネルからパッチリーダーテスト (パッチテストではありません) を実行してスキャナーがパッチを読み取っていることを確認します。
原稿が上部搬送エリアで紙詰まりを起こす	<p>スキャナーでの原稿の紙詰まりの原因については、「8 トラブルシューティング」ページの 113 を参照してください。上部搬送路で紙詰まりが発生した場合は、以下を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> トップカバーを開きます。  <ul style="list-style-type: none"> 紙詰まりしている原稿を探して取り除きます。 トップカバーを閉めてラッチがかかっていることを確認し、スキャンを再開します。

問題	解決方法
上段トレイまたは下段トレイで、原稿が正しくスタックされない	<ul style="list-style-type: none"> • スキャンアプリケーションで【ベスト】または【改良スタッキング】を有効にします。 • 必要に応じてサイドガイドとエンドストップを調整します。
「バーコードが間違っただトレイに仕分けられました」というメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> • バーコードのページが 10 インチ以上の場合、TWAIN または ISIS ドライバのデフォルトの用紙トレイ設定で自動的に仕分けられます。
ドキュメントが正しく搬送されない	<p>スキャナーが 3 つの出力トレイすべてに原稿を出力可能であることを確認する場合は、オペレータコントロールパネルで【カウントのみ - ソート】テストを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【診断】を選択します。 2. 【カウントのみ - 簡易ソート】を選択します。  <p>The screenshot shows a 'Diagnostics' window with a list of options: 'Count Only', 'Count Only - Multifeed', and 'Count Only - Simple Sorting'. The 'Count Only' option is highlighted with a blue bar. A 'Close' button is at the bottom right. A '0' is displayed in the top right corner of the window.</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 入力エレベータに、原稿をセットします。 4. 【スタート / 再開】ボタンを押します。すべての原稿がスキャンされると、合計枚数が表示されます。 <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> • このテストの実行中、原稿は下段出力トレイ、後部排紙トレイ、上段出力トレイに搬送されます。テストが終了すると、カウントした原稿の 3 分の 1 がそれぞれのトレイに出力されます。 • 実行する場合は、600 枚以上の原稿をセットしないでください。 • このテストはスペックの速度で実行されません。 • 問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。

管理デュアルスタッキングアクセサリ

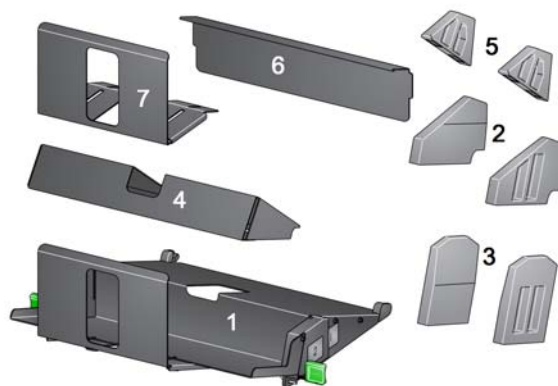
(i5650S または i5850S では使用不可)

このアクセサリにより、原稿のサイズやパッチコードに応じて、スキャンした原稿を実際にスタックすることができます。このアクセサリには、重送を発生させるような原稿をスタックしておく場所を選択できる機能もあります。

管理デュアルスタッキングを使用する場合でのスキヤナーの有効化と設定の詳細については、CD/DVD に収録されている TWAIN および ISIS の『スキャンセットアップガイド』、またはご使用のスキヤンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

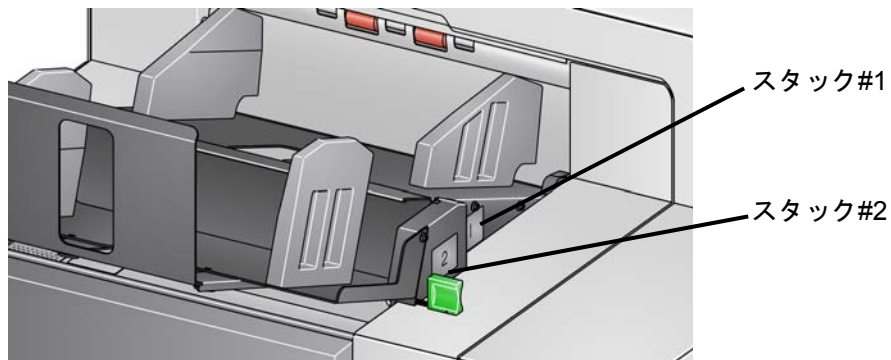
管理デュアルスタッキングアクセサリを調整して使用する場合、下記のガイドでパーツを確認してください。

- 1 伸縮式エンドストップ付き排紙トレイ (1)
- 2 スタック #1 用磁気サイドガイド (2)
- 3 スタック #2 用磁気サイドガイド (2)
- 4 短原稿インサート (1)
- 5 短原稿磁気サイドガイド (2)
- 6 スタック #1 用エクステンダインサート (1)
- 7 代替エンドストップエクステンション (1)



スタッキングの場所

管理デュアルスタッキングアクセサリでは、i5x50 スキヤナーで標準の排紙トレイを置き替えることを想定しています。管理デュアルスタッキングアクセサリには、スタッキングの場所が2か所 (スタック #1 とスタック #2) あります。



スタック #1: 原稿がスキヤナーから出てくるところである原稿搬送路の上部に最も近い場所にあります。この場所は、原稿全体から比較的短い原稿 (6 インチ未満) を仕分ける場合に、主として例外スタックとして使用されます。

スタック #2: より下の場所にあり、パッチページを原稿スタックから仕分ける場合や重送原稿を仕分ける場合に、主として例外スタックとして使用されます。

推奨設定

管理デュアルスタッキングの機能を使用する場合、TWAIN データソース、ISIS ドライバ、またはスキャンアプリケーションには、(サイズ、パッチページ、重送などに応じた) 原稿の出力方法に関するオプションがあります。詳細については、CD に収録されている TWAIN および ISIS の『スキャンセットアップガイド』、またはご使用のスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

注：

- 管理デュアルスタッキングの機能を設定したら、管理デュアルスタッキングアクセサリのサイドガイドをスキャンの設定に合わせて調整する必要があります。
- 長さが 5 インチ未満の原稿には、オプションの短原稿インサートを使用してください。

推奨用紙の仕様

スタック #2 では、無造作に放置されていても正しくスタックできるように、用紙には一定の品質が求められます。硬度が不足していたり量が不十分な場合、用紙はスタック #2 には届かず、結果として出力トレイが混乱した状態になります。

スタック #2 で確実にスタックするための推奨原稿

- A4 サイズの原稿 (良い状態、60 ~ 80 gsm、横長の向きでのスキャン)
- US レターサイズの原稿 (良い状態、16 ~ 24 ポンドのボンド紙、横長の向きでのスキャン)

スタック #2 で確実にスタックできない原稿

- 原稿搬送路の方向に対して直角に折り畳んだ部分がある原稿
- 雑な状態の原稿
- 前方のへりが丸められているか損傷のある原稿
- 長さが 8 インチ未満の原稿と 12 インチ以上の原稿
- 110 ポンドのインデックス用紙 (サイズを問わず)
- レターサイズで 28 ポンドのボンド紙
- A4 サイズで 70 ポンドのオフセット用紙
- 薄い半透明用紙、NCR 用紙、写真 (サイズを問わず)
- レターサイズで 200 ポンドのインデックス用紙
- A4 サイズで 90 gsm の用紙

注：上記にリストした状態では確実にスタックできませんが、状況次第でスタックが正しく行える場合もあります。

スタッキングに影響を及ぼす可能性があるその他の要因

- 湿度の高低により、原稿のスタック状況が変わることがあります。
- 人がスキャナー、ファン、換気口の近くを歩くなどで気流が乱れると、スタック #2 に送られるはずの原稿が正確にスタックされなくなる場合があります。
- スタック #1 でスタックの高さが推奨値 (200 原稿、良い状態の 20 ポンドのボンド紙) を超えると、原稿はスタック #2 に正しくスタックされなくなる場合があります。
- 磁気サイドガイドを使用すると、スタッキングは極めて整然と行われるように改善されます。
- 前方のへりが丸められている場合、丸みの方向と用紙タイプにより、スタック #2 でのスタッキングの確実性が増す場合と減る場合があります。

- リードエッジに裂け目がある原稿や角が 2 回または 3 回折り畳まれている原稿をスタック #2 に貯めていると、予想外の結果をもたらす可能性があります。

縦送リスキャンでの長さ保護の有効化

管理デュアルスタッキングアクセサリでは、原稿を横送りで給紙する場合のスタッキングを想定しています。長さが 215 mm 以上の原稿は、スタック #2 に貯められる用紙のタイプと状態によっては、スタックできない場合があります。横長のページを雑にスタックしないようにするには、スタッキングが有効な場合、長さが 215 mm 以上のページがスキャンされると、管理デュアルスタッキングオプションは、デフォルトで紙詰まりを起こします。

長さ保護の有効化のメッセージがオペレータコントロールパネルに表示されます。これは、原稿の最長サイズの上限が有効であることを示しています。長さが 215 mm 以上の原稿（縦送リなど）をスタックする場合は、テクニカルサポートに支援を要請してください。

注： **最大長の許可**を優先にしても、管理デュアルスタッキングの長さ保護は無効になりません。

最適なスタッキング状態については、次の表を参照してください。

スタック #1	
最大原稿スタック容量	25 mm : 通常 200 原稿、新規状態、20 ポンドのボンド紙
最大原稿長：横送リ（タイプと状態がさまざまな用紙をスキャンする場合）	215 mm : US レターサイズ
最大原稿長：縦送リ（推奨タイプの用紙を良い状態でのみスキャンする場合）	297 mm : A4 レター
最大用紙幅（横送リ）	297 mm : A4 レター
最小用紙幅	63 mm
最小用紙長	63 mm
スタック #1（短原稿インサート）	
最大原稿スタック容量	25 mm : 通常 200 原稿、新規状態、20 ポンドのボンド紙
最大用紙長	148 mm
最大用紙幅	297 mm
スタック #2	
最大原稿スタック容量	25 mm : 通常 200 原稿、新規状態、20 ポンドのボンド紙
最大原稿長：横送リ（タイプと状態がさまざまな用紙をスキャンする場合）	215 mm : US レターサイズ
最大原稿長：縦送リ（推奨タイプの用紙を良い状態でのみスキャンする場合）	297 mm : A4 レター
最大用紙幅（横送リ）	297 mm : A4 レター
最小用紙幅	139 mm
最小用紙長	139 mm

確実なスタッキングのためのヒント

「推奨用紙の仕様」ページの 78 で説明されたガイドラインの他に、下記のヒントを使用して、スタッキングが出来る限り最善の結果になるようにしてください。

- より整然とスタッキングを行うには、紙揃え機を使用してスキャンする前に原稿のへりを揃えます。
- 原稿の仕分けにパッチシートを使用しているものの、そのパッチシートでは正しく仕分けられない場合、パッチシートをより重い用紙に印刷します。用紙がより重ければ、スタック #2 にはより確実にスタックできるようになります。

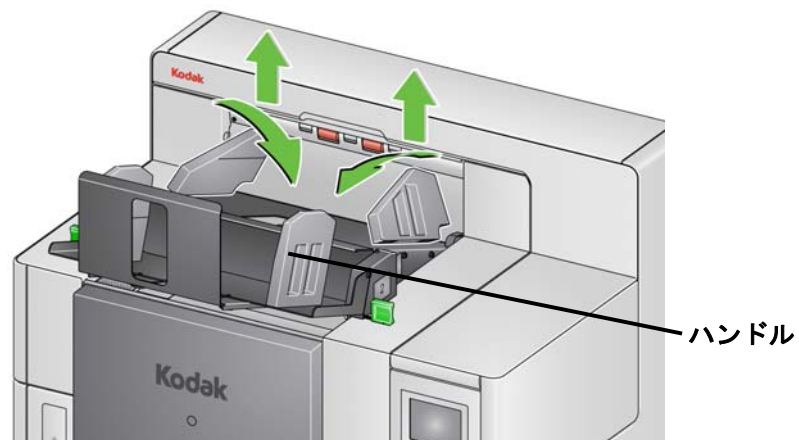
管理デュアルスタッキングアクセサリの調整

管理デュアルスタッキングアクセサリを取り付けていない場合は、アクセサリ付属の取り付け手順を参照してください。

スタック #1 とスタック #2 でのサイドガイドの調整

サイドガイドにより、原稿はより適切にスタックされるようになります。原稿を最適にスタックするには、サイドガイドの位置変更が必要になる場合があります。

サイドガイドは磁気を帯びています。サイドガイドを取り外す場合、ガイドを左右のいずれかに傾けることで、より簡単に取り外すことができます。



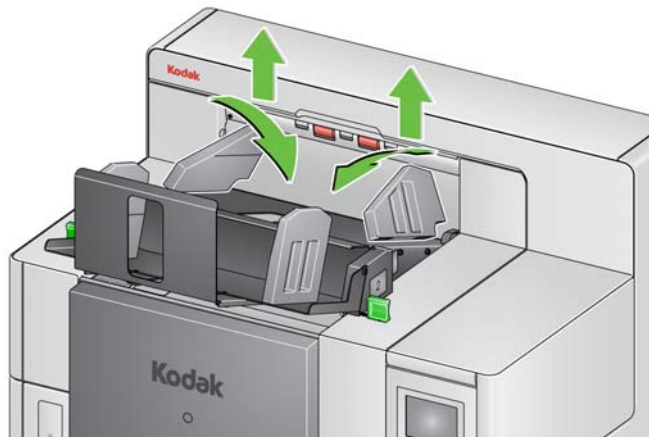
注：サイドガイドのハンドルは、常に外側に向けておいてください。

短原稿インサート

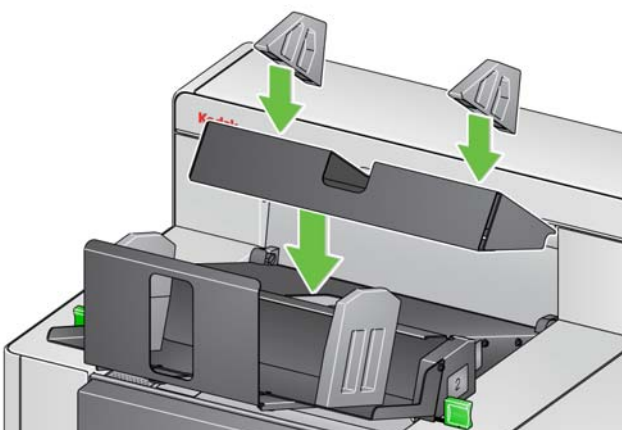
短原稿インサートは、スタック #1 で請求書などの短い原稿をスタックする場合に使用できます。

短原稿トレイを取り付けるには、次の作業を行います。

1. スタック #1 からサイドガイドを取り外します。



2. 短原稿インサートを取り付けます。以下の図を参照して、正しい向きにします。

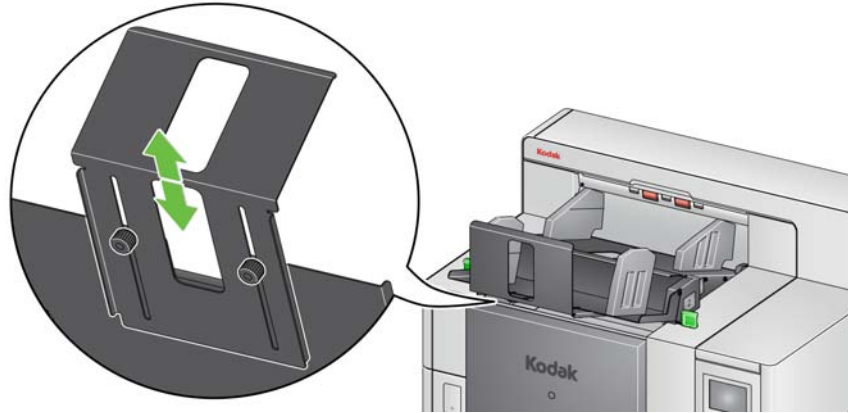


注：磁気サイドガイドは、スキャナーの後方のへりから約 50.8 mm の位置に配置することをお勧めします。ただし、スタッキングをより適切に行うならば、サイドガイドはどの位置にも配置できます。

エンドストップの調整

エンドストップを調整することもできます。エンドストップは、スタック #2 に貯められる最長の原稿よりも約 38.1 mm 長く調整しておくことをお勧めします。スタック #1 の底部のねじを使用して、調整を行います。

1. スタック #1 の底部にある両方のねじを緩めます。



2. エンドストップを内側か外側にスライドして、希望の長さにします。
3. 両方のねじを締めます。

管理デュアルスタッキングに対する優先処理

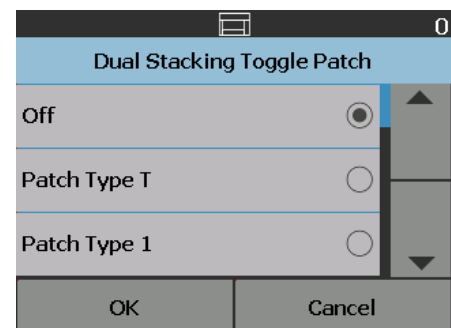
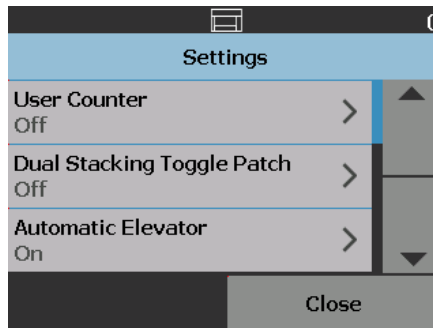
オペレータコントロールパネルで [優先処理] 画面を使用すれば、管理デュアルスタッキングよりも優先的に実行できます。詳細については、「優先処理」ページの 49 を参照してください。

デュアルスタッキングトグルパッチ

デュアルスタッキングトグルパッチは、オペレータコントロールパネルで有効にすることができます。

[デュアルスタッキングトグルパッチ] オプションにより原稿の準備中にパッチシートを使用してスタックから例外原稿を自動的に仕分けることができます。例外原稿の前後にパッチシートをセットしてこのオプションを有効にすると例外原稿を仕分けることができます。

パッチを後部排紙トレイに送り、例外原稿を指定した例外用トレイに送るには、オペレータコントロールパネルで [後部パッチソート] を有効にする必要があります。



問題解決 - 管理デュアルスタッキングアクセサリの調整

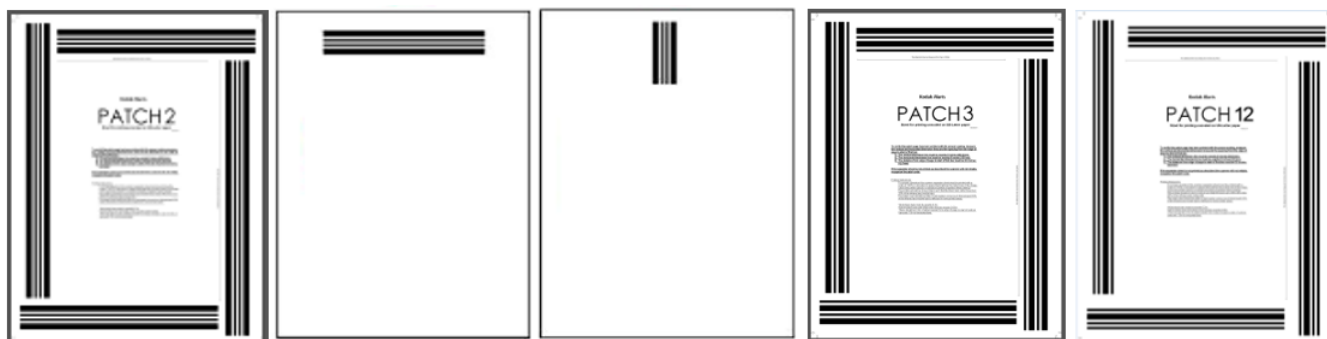
以下のリストを参考にして、管理デュアルスタッキングアクセサリの使用時に発生する問題の解決方法を確認してください。

問題	解決方法
原稿が仕分けられない	• 管理デュアルスタッキングアクセサリが、フィールドサービス担当者により有効にされていることを確認してください。
パッチコード付きの原稿がスタック #2 に正しくスタックされない	• パッチシートをより硬い用紙にコピーしてみてください。パッチシートの印刷に硬い用紙ストックを使用することで、そのページはスタック #2 により確実に届くようになります。
一部の原稿がスタック #1 に整然とスタックされない	• より整然とスタッキングを行うには、紙揃え機を使用してスキャンする前に原稿のへりを揃えてください。
原稿がスキャナーで停止する	• [長さ保護] オプションにより、スキャナーは横長の給紙のみに限定されます。詳細については、「縦送リスキャンでの長さ保護の有効化」ページの 79 を参照してください。

6 パッチ読み込み

パッチページとは

パッチページにはスキャン時に通常原稿区切りとして使用するパッチコードが含まれます。パッチコードは、黒いバーとスペースが交互に並んだ平行パターンであり、原稿に印刷されます。スキャンすると、パッチページからスキャナーまたはスキャンアプリケーションにそれぞれの機能を作動させるよう指示されます。パッチページにはさまざまなパターンのバーとフォーマットがあります。



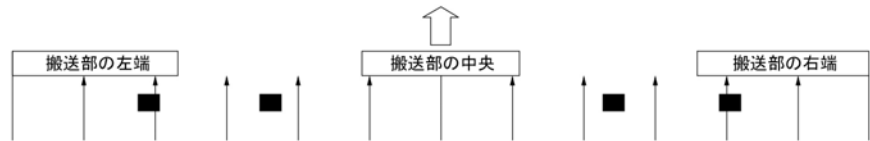
パッチページのサンプル PDF ファイルは、Kodak Alaris の Web サイトからダウンロードできます。www.kodakalaris.com/go/IM サポートセンター タブをクリックして、ドキュメントスキャナー > 製品 > **i5850 (i5250、i5650、i5250V、i5650V)** の順に選択し、ユーザーマニュアルを選択します。

注：これらの PDF 版は A4 用紙と US レターサイズ用紙での印刷用にサイズ調整されています。パッチを独自にカスタマイズできる TIFF ソースファイルもあります。手順に従い、そのページがお使いのプリンターに正確に印刷されることを確認してください。

パッチページの読み込み場所



- **方法1**: カメラを使用して、垂直にパッチを読み込みます。このドキュメントでの**垂直**とは、パッチパターンのバーをスキャナーへの原稿の給紙方向に合わせることで、この方法でパッチを読み込むと、パッチは原稿の上端と原稿の表面または裏面のどこでも可能です。この方法の欠点は、(前面、プレスキャンプリンターで)パッチを読み込む前にパッチパターン付きのページが印刷されるため、ページ上のパッチの有無に基づいて印刷の修正ができないことです。
- **方法2**: カメラを使用して、水平にパッチを読み込みます。このドキュメントでの**水平**とは、パッチパターンがスキャナーへの原稿の給紙方向と直角に交わることで、水平方向にパッチを読み込む場合は、スキャナーがカメラを使用して4つの物理的パッチリーダーと同じ位置に4つの仮想パッチリーダーを作成します。パッチは、4つの物理的パッチリーダーと同じ位置で搬送路を通過するページ上に配置されなければなりません。



この方法でパッチを読み込むと、パッチは横のバーになりページの表面または裏面のパッチを読み込みます。この方法の欠点は、パッチを読み込む前にパッチパターン付きのページがすでに印刷されているため、ページ上のパッチの有無に基づいて印刷の修正ができないことです。

- **方法3**: ハードウェアパッチリーダーを使用して、水平にパッチを読み込みます。パッチは、4つの物理的パッチリーダーと同じ位置で搬送路を通過するページ上に配置されなければなりません。この方法の利点は、イメージアドレス/インデックス機能付きのスキャナーでページ毎に正しいドキュメント位置表示番号を印刷できることです。パッチパターンがページの表になるようにします。

i5850 スキャナーのパッチリーダー位置はスキャナーの搬送路の中央から以下の距離にあります。

左	- 4.125 インチ
左中央	- 2.4375 インチ
右中央	+ 2.4375 インチ
右	+ 4.125 インチ

Kodak i5x50 スキャナーはお使いのスキャナーモデルと有効な機能に応じて異なる方法でパッチパターンを読み込みます。

i5250V/i5650V スキャナー

- **インテリジェントプリンター - パッチカウント**: パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。
- **カラー切替**: カラー切替パッチはスキャナーのハードウェアのパッチリーダーのカメラで垂直または水平方向に読み込まれ、パッチページへの印字を防ぎます。
- **スキャナーコントロール**: パッチ 10、11、12、13、14、15 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。

i5250/i5650/i5650S スキャナー

- **インテリジェントプリンター - パッチカウント** : パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。
- **インテリジェントプリンター - インデクシング** : パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。
- **カラー切替** : カラー切替パッチはスキャナーのハードウェアのパッチリーダーのカメラで垂直または水平方向に読み込まれ、パッチページへの印字を防ぎます。
- **スキャナーコントロール** : パッチ 10、11、12、13、14、15 はハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。

i5850/i5850S スキャナー

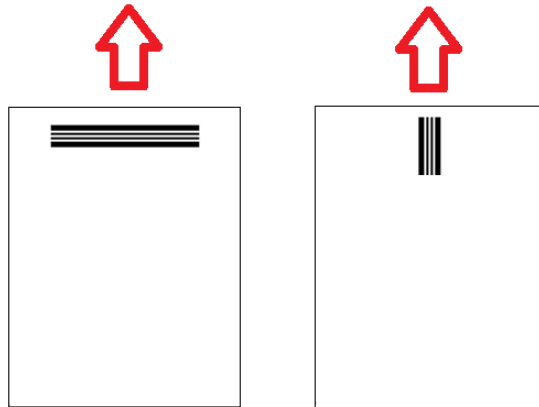
- **インテリジェントプリンター - パッチカウント** : パッチ 1、2、3、5、6 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。
- **インテリジェントプリンター - インデクシング** : パッチ 1、2、3、5、6 はハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。
- **インテリジェントプリンター - イメージアドレス** : パッチ 1、2、3、5、6 はハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。
- **カラー切替** : カラー切替パッチはスキャナーのハードウェアのパッチリーダーのカメラで垂直または水平方向に読み込まれ、パッチページへの印字を防ぎます。
- **スキャナーコントロール** : パッチ 10、11、12、13、14、15 はハードウェアのパッチリーダーで水平方向へのみ読み込まれます。
- **管理デュアルスタッカー (このアクセサリを搭載する i5850 用)** : パッチ 1、2、3、4、5、6、10、11、12、13、14、15 はスキャナーのハードウェアのパッチリーダーでは水平方向へのみ、カメラでは垂直または水平方向に読み込まれます。

Kodak Scanner	Feature Enable	Includer Patch Reader	Intelligent Printing		Central Dual Stacker		Color Tagged Patch		Scanner Features	Patch Sorting
			With Hardware Patch Reader (P10-P15)	With Hardware Patch Reader (P10-P15) (P12 only)	With Camera Front or Rear	With Camera Front or Rear	With Hardware Patch Reader (P10-P15)	With Hardware Patch Reader (P10-P15)		
i5200 or i5200V	-	na	-	-	-	-	-	yes	-	-
i5600 or i5600V	-	na	-	-	-	-	-	yes	-	-
i5250V or i5650V	-	yes	yes	-	-	-	yes	yes	yes	-
i5250	-	yes	yes	na	na	-	-	yes	yes	-
i5650	-	yes	yes	yes	na	-	-	yes	yes	-
i5800	na	na	-	-	-	-	-	yes	-	-
	yes	-	-	-	yes	na	-	-	-	-
i5850	na	yes	yes	yes	yes	-	-	yes	yes	-
	yes	yes	-	-	yes	yes	-	yes	-	-
	yes	na	-	-	yes	yes	-	yes	-	-
	na	na	-	-	-	-	-	yes	-	-
i5650S	-	-	-	-	na	-	-	yes	yes	-
i5850S	na	yes	-	-	yes	-	-	yes	yes	-
i1800 or i1800	-	yes	yes	-	-	-	yes	na	-	-
i1800	-	na	-	-	-	-	-	na	yes	-
i4250/i4650	-	na	-	-	-	-	-	yes	-	-
i4350	-	-	Camera read	-	-	-	-	yes	-	-

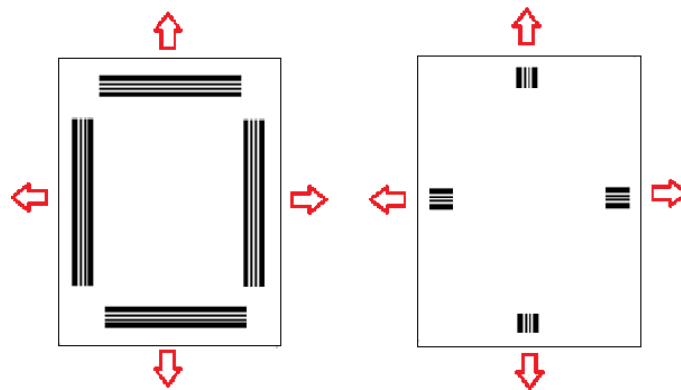
パッチコード要件

パッチパターンのサイズと位置には特殊な要件があるため、パッチページが正しく作成されたこと確認する際には注意してください。

注：パッチページで使用される有効なスキャナー機能に関する情報は、TWAIN および ISIS の『スキャンセットアップガイド』、またはお使いのスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

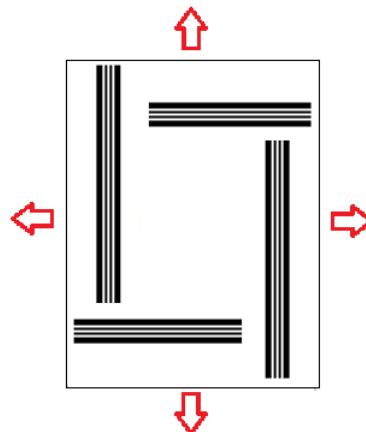


どのような方向にも給紙をできるようにするために、ページの各エッジにパッチパターンを持つパッチページを作成するのが一般的です。



カラー切替パッチ

また、どの Kodak スキャナーでも使用可能で、カメラパッチ読み込みまたはハードウェアパッチ読み込みで一貫性のある読み込みが行われるバーパターンを持つパッチページを作成することも可能です。



パッチパターンの詳細

パッチは次の3種類に分類されます。

原稿/パッチ区切りパッチ（別称、イメージアドレスパッチ）— これらのパッチは、多くの種類の原稿を一度にスキャンする際に、区切りのパッチページとして以前から使用されています。これらには、タイプ2（原稿区切り）、タイプ3（パッチ区切り）、タイプT（原稿またはパッチ区切り）のパッチがあります。

タイプ2

垂直



水平



タイプ3

垂直



水平



タイプT (5)

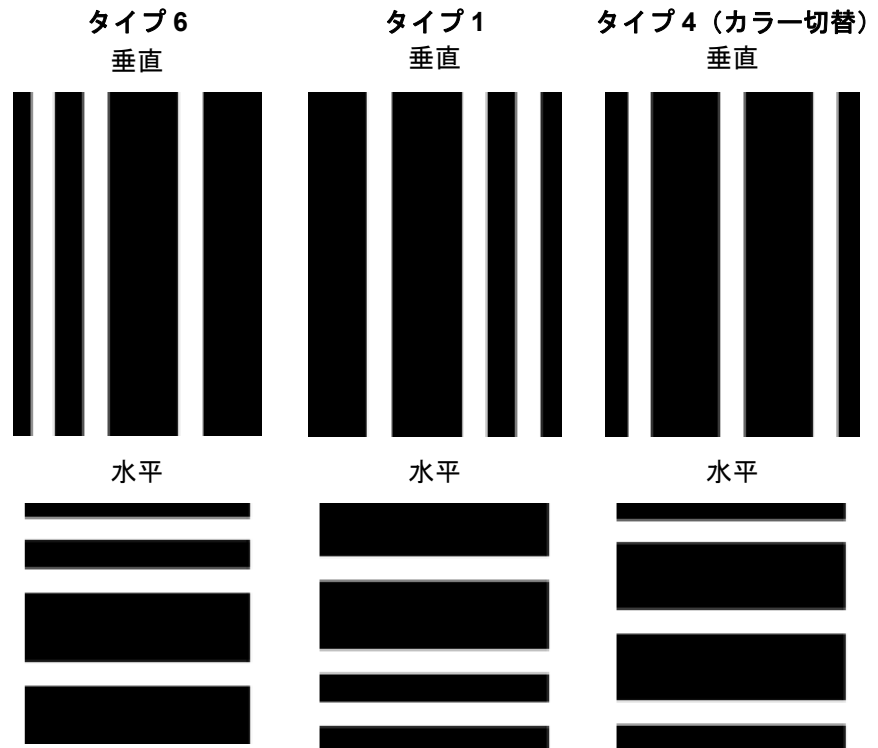
垂直



水平

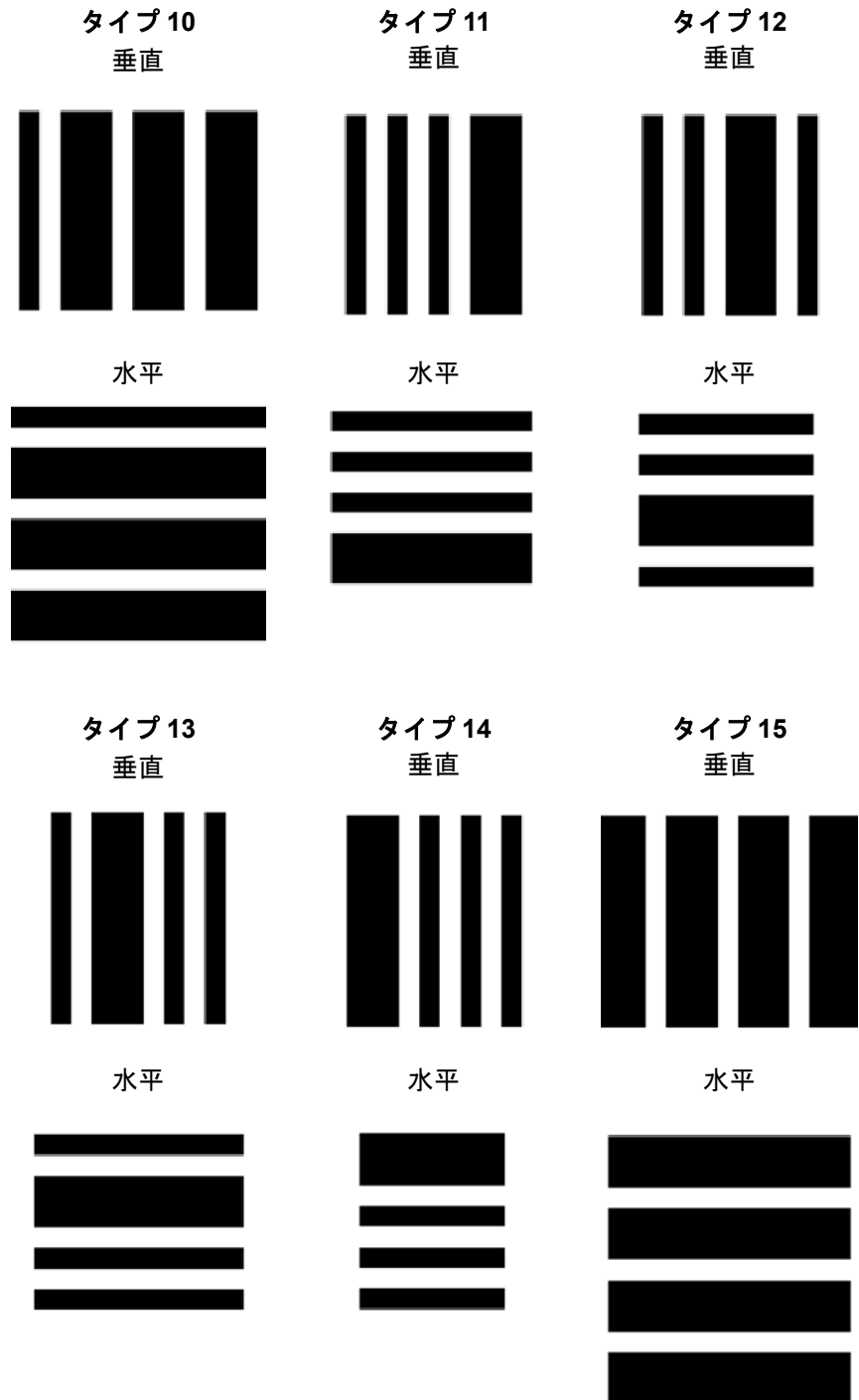


機能パッチ — 従来からこれらのパッチページはドキュメントセパレーションには使用されません。これらのパッチは、スキャナーの機能（カラー切替や重送検知コントロール）やソフトウェアの機能を作動させるために使用される場合があります。これらには、タイプ 1、タイプ 4（カラー切替）、タイプ 6 のパッチがあります。



注：スキャナーで使用する場合、上記のパッチパターンは印刷しないでください。これらは一例であり、サイズは正しくなく、実際の使用には適していません。印刷可能な PDF 版は、Kodak Alaris の Web サイトからダウンロードできます。

・ スキャナーコントロールパッチ — このパッチページは Kodak i5x50 スキャナーに新規のもので、作成してスキャナー機能の制御に使用します。パッチには、タイプ 10、タイプ 11、タイプ 12、タイプ 13、タイプ 14、タイプ 15 があります。



注： スキャナーで使用する場合、上記のパッチパターンは印刷しないでください。これらは一例であり、サイズは正しくなく、実際の使用には適していません。印刷可能な PDF 版は、Kodak Alaris の Web サイトからダウンロードできます。

バーパターンの詳細

パッチは、黒いバーとスペースが交互に並んだ平行パターンであり、原稿に印刷されます。スキャナーは正しくフォーマットされたバーパターンのみをパッチとして認識し、これ以外の原稿のデータをパッチとして検出しないようにしています。バーとバーの間のスペースの幅は、スキャナーがバーパターンを確実に検出できるように、極めて厳密に管理しておく必要があります。

- 太いバーは、 $5\text{ mm} \pm 0.25\text{ mm}$ の幅にする必要があります。
- 細いバーの幅は、 $2.03\text{ mm} + 0.25\text{ mm}$ と決められています。
- パッチコードの最大幅は特定のパッチパターンの太いバーと細いバーの数によって異なります。
- パッチバーの最小全長は、50 mm です。

以下の表に Kodak スキャナーで使用するパッチコードのパターンをまとめます。




パッチコードのタイプ	グラフィックパターン	説明	最大幅
0	コードの検出なし		
1	WWnn	Kodak パッチコード #1	0.8 +/- 0.01
2	WnnW	Kodak パッチコード #2	
3	WnWn	Kodak パッチコード #3	
4	nWWn	Kodak パッチコード #4	
5	nWnW	Kodak パッチコード #5	
6	nnWW	Kodak パッチコード #6	
7	WWWn	Kodak パッチコード #7	0.92 +/- 0.01
8	WWnW	Kodak パッチコード #8	
9	WnWW	Kodak パッチコード #9	
10	nWWW	Kodak パッチコード #10	
11	nnnW	Kodak パッチコード #11	0.68 +/- 0.01
12	nnWn	Kodak パッチコード #12	
13	nWnn	Kodak パッチコード #13	
14	Wnnn	Kodak パッチコード #14	
15	WWWW	Kodak パッチコード #15	1.04 +/- 0.01

例えば、パッチ 1 が **WWnn** の場合、






太いバー、スペース、別の太いバー、スペース、細いバー、スペース、細いバーの順になります。

インデクシング、イメージアドレスのパッチコード

<p>パッチ 2 インテリジェントプリンタ の使用方法</p> 	<ul style="list-style-type: none"> パッチカウント：パッチの増加またはリセットに使用できます。 インデクシング：インデクシングに使用できるパッチはパッチ 2 のみです。 フルイメージアドレス：現在の原稿にイメージレベル 2 を割り当てます。
<p>パッチ 3 インテリジェントプリンタ の使用方法</p> 	<ul style="list-style-type: none"> パッチカウント：パッチの増加またはリセットに使用できます。 インデクシング：インデクシングに使用できるパッチはパッチ 2 のみです。 フルイメージアドレス：現在の原稿にイメージレベル 3 を割り当てます。
<p>パッチT/トランスファーパッチ/パッチ 5 インテリジェントプリンタ の使用方法</p> 	<ul style="list-style-type: none"> パッチカウント：パッチの増加またはリセットに使用できます。 インデクシング：インデクシングに使用できるパッチはパッチ 2 のみです。 フルイメージアドレス：次の原稿にイメージレベル 2 または 3 を割り当てます。

特徴的パッチコード

<p>パッチ 1 インテリジェントプリンタ の使用方法</p> 	<p>スキャンアプリケーション固有の機能を作動させるのに使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> パッチカウント：パッチの増加またはリセットに使用できます。 インデクシング：使用しません。 フルイメージアドレス：使用しません。
<p>カラー切替パッチ/パッチ 4/ インテリジェントプリンタ の使用方法</p> 	<p>スキャンアプリケーション固有の機能を作動させるのに使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> パッチカウント：パッチの増加またはリセットに使用できます。 インデクシング：使用しません。 フルイメージアドレス：使用しません。
<p>パッチ 6 インテリジェントプリンタ の使用方法</p> 	<p>スキャンアプリケーション固有の機能を作動させるのに使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> パッチカウント：パッチの増加またはリセットに使用できます。 インデクシング：使用しません。 フルイメージアドレス：使用しません。

スキャナーコントロールパッチコード

スキャナーの機能の制御に使用できます。
インテリジェントプリンタの使用法：
パッチカウント：使用しません。
インデクシング：使用しません。
フルイメージアドレス：使用しません。

パッチ 10



パッチ 11



パッチ 12



パッチ 13



パッチ 14



パッチ 15



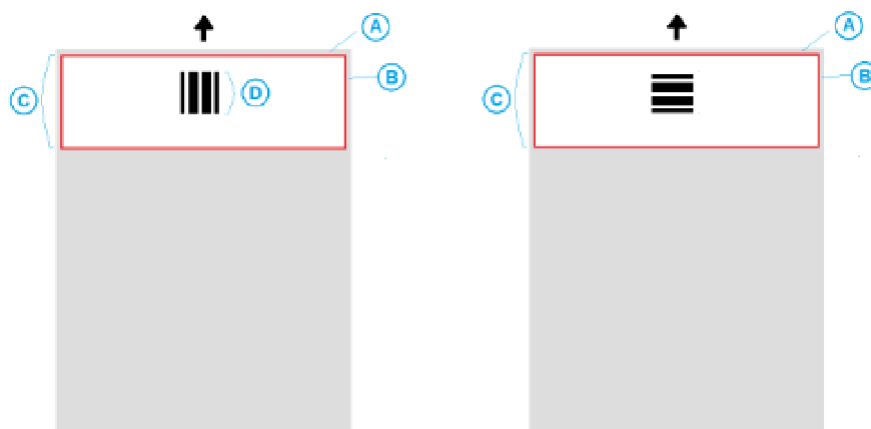
パッチの位置決定

パッチコードが縦と横にどのように配置されているかは、パッチを確実に読み込む際の決め手になります。パッチコードが原稿上で正しく配置されていなければ、スキャナーはパッチの読み込みに失敗する場合があります。

- A** 垂直パッチを、ページの先端（スキャナーに最初に挿入する部分）と印刷されるバーパターンの始めとの間の白いスペースが少なくとも 12.7mm になるように配置します。

水平パッチを、ページの先端（スキャナーに最初に挿入する部分）と印刷されるバーパターンの始めとの間の白いスペースが少なくとも 6.35mm になるように配置します。

- B** パッチコードと原稿の端との間のスペースは少なくとも 6 mm 必要です。
- C** パッチ読み込みウィンドウは、原稿のリードエッジから 50.8 mm が終端です。水平パッチがパッチウィンドウを超えないようにしてください。
- D** 垂直パッチの場合は、パッチ読み込み領域内には少なくとも 19 mm のパッチコードが表示される必要があります。



用紙の詳細

- **用紙のカラー** — 白紙はパッチコード読み込みのために最も信頼できる選択になります。オペレータやスキャンする原稿を準備する人たちが、パッチページを見分けられるようにする場合、用紙ストックに明るい色を使用することができます。淡い黄色や淡いパステル色の用紙は、光源の反射率が 65% 以上であるため、問題ありません。暗い色の用紙ストックをパッチページに使用すると、パッチの読み込みが確実に行われない場合があります。
- **印刷** — パッチバーは常に黒で印刷する必要があります。印刷した黒のバーにより、光源の反射率を 20% 未満にしておく必要があります。パッチをコピーする場合は注意してください。コピー機は、黒のバーと白のスペースのサイズに影響する原稿を自動的に縮小、拡大する傾向があるため、印刷仕様を変えてしまいます。i5850 スキャナーには拡大を 100% に設定したコピー機を使用してください。
- **用紙サイズ** — パッチページの長さや幅は、最低 139.7 mm にする必要があります。
- **紙厚** — 選別後にそのパッチページを再利用する場合、用紙重量はスタック #2 に届くほどの十分な堅さである必要があります。詳細については、「推奨用紙の仕様」ページの 78 を参照してください。

7 メンテナンス

この章では、Kodak i5x50 スキャナーに必要なクリーニングとメンテナンスの手順について説明します。これらの手順の頻度はスキャン環境、用紙、イメージ処理の要件によって異なります。スキャンの量が多い場合、スキャナーのクリーニングおよび消耗品の交換の頻度も多くなります。スキャンの量が少ない場合、これらの作業の頻度も少なくなります。次のページの「クリーニング頻度チャート」を参照して、クリーニングの目安にしてください。ただし、最良の方法はご自身で判断してください。Kodak は、スキャンが実際に使われている現場に長年立ち会ってきました。その経験から、スキャナーの正しいクリーニングとメンテナンスによって、より少ない時間でより多くの原稿をスキャンでき、問題も防止できることが確認されています。正しくメンテナンスをすれば、i5x50 スキャナーを長期間に渡って問題なく使用できます。

スキャナー消耗品（タイヤ、プリセパレーションパッド等）およびクリーニング用サプライは、スキャナーサプライヤから入手できます。消耗品はさまざまなサイズのキットとして販売されています。これらのキットではタイヤ、ローラ、プリセパレーションパッドなどが適切に組み合わせられているため、推奨頻度で簡単に交換できます。たとえば、タイヤを交換してもセパレーションローラアセンブリを交換しなければ、スキャナーの処理能力は必然的に低くなります。消耗品を推奨頻度で交換することで、処理能力を最大化することができます。

注：このセクションの図では i5250/i5650/i5250V/i5650V スキャナーを表します。特に指示のない限り、すべての調節は i5650S、i5850、および i5850S スキャナーに対しても同じです。

クリーニング頻度 チャート

推奨するクリーニング手順では、スキャナーの搬送路を掃除機で掃除し、フィードモジュールタイヤ、セパレーションローラおよびドライブローラのゴミを取り除き、イメージングガイドをクリーニングします。

スキャナーのクリーニング頻度については、以下のチャートで確認してください。

手順	業務の 開始時	作業中	休憩中 (新規作業前)
出力トレイと入力部（入力エレベータと搬送路）を掃除機で清掃します	X		
全ローラを清掃	X		X
搬送路を掃除機でクリーニングします	X	X	X
イメージングガイドの清掃	X	X	X
トランスポートクリーニングシートを使用します	X		X

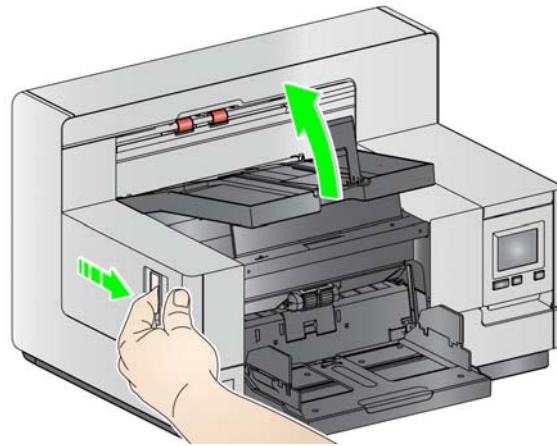
クリーニング用品

スキャナーの日常的なメンテナンスを行うときには、以下のクリーニング用品のみを使用してください。他のクリーニング製品を使用すると、スキャナーに損傷を与える場合があります。

- Kodak デジタルサイエンストランスポートクリーニングシート
- Kodak デジタルサイエンスローラクリーニングパッド
- Kodak スキャナー用静電クリーニングクロス（静電クリーニングクロスはすべての国で利用できるとは限りません）
- Kodak スキャナー用イメージングガイド クリーニング セット
- 掃除機およびツール

スキャナーカバーの開 け方

1. 入力エレベータ、出力トレイから原稿を取り除きます。
2. スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引きます。スキャナーカバーが少し開きます。カバーを持ち上げて、内部コンポーネントにアクセスできるように完全に開きます。



3. スキャナーのクリーニングや消耗品の交換が終わったら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

清掃手順

最適な画質を保つには、定期的にスキャナーをクリーニングして予防的なメンテナンスを施す必要があります。

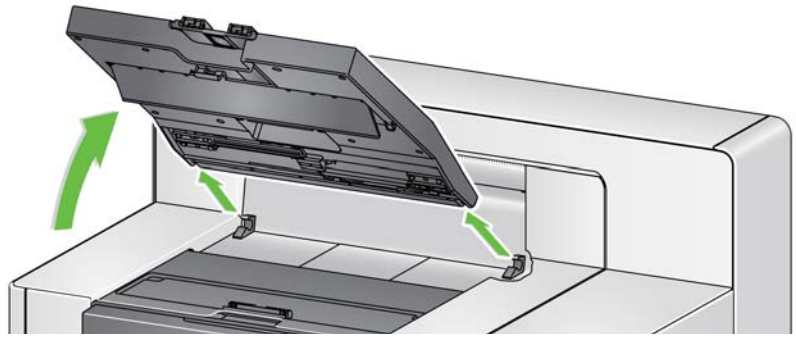
原稿の種類によっては紙粉やゴミが通常より多く発生するため、より頻繁にクリーニングする必要があります。

スキャナーのクリーニングや消耗品を交換する前に、以下を参照してください。

- フィードモジュールおよびセパレーションローラのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのカスは必ずしもタイヤの磨耗や損傷を意味するものではありません。クリーニング後、タイヤを点検して必要があれば交換し、必要に応じてセパレーションローラまたはフィードモジュールを交換してください。
 - ローラやタイヤをクリーニングした場合は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
 - 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。未承認の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。
 - 密閉された場所でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。
 - 高熱面にクリーナを使用しないでください。清掃前に、室温になるまで表面を冷ましてください。
 - スプレーや圧縮空気は使用しないでください。圧縮空気を使用すると、紙粉がスキャナーのイメージングシステムに入り込んで画質の問題を引き起こし、カメラを取り外さない限りクリーニングできません。
 - スキャナーの近くで可燃性スプレーを使用しないでください。
 - 推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナーのゴミを取り除くこともできます。
 - 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。MSDS は、以下の Web サイトで入手できます www.kodakalaris.com/en-us/about/ehs。
- 注： MSDS にアクセスするには、消耗品のカタログ番号またはキーワードが必要です。カタログ番号については、「消耗品」ページの 112 を参照してください。
- ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS を参照してください。

出カトレイと入力エレベータの掃除

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 出カトレイを取り外します。

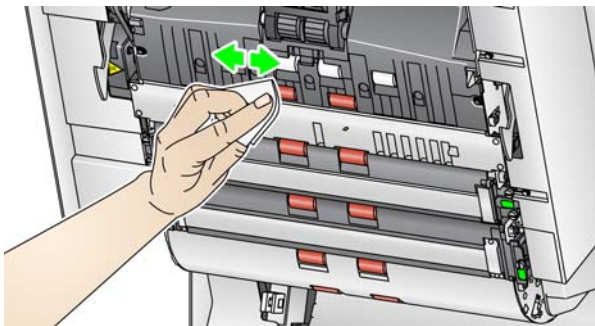


3. 出カトレイ、出カトレイおよび入力エレベータの付近を掃除機で完全にクリーニングします。

ローラの清掃

ローラをクリーニングする場合、搬送部のローラ、セパレーションローラ、フィードモジュールのタイヤをすべてクリーニングします。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. ローラクリーニングパッドを使用して、ローラを手で回転させながら汚れを拭き取ります。



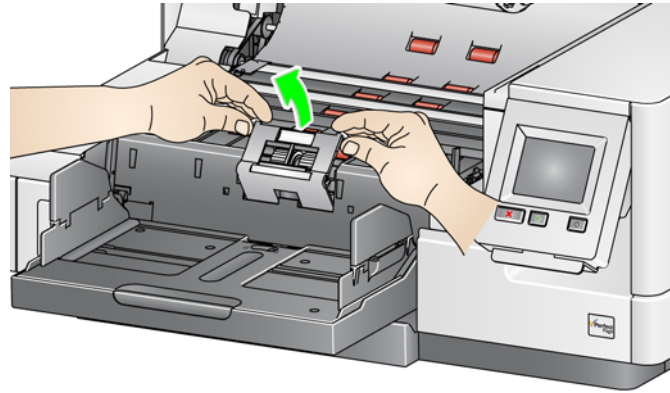
注：ローラのクリーニングに静電クリーニングクロスまたはイメージングガイドクリーニングセットを使用しないでください。

3. チリの出ない布でローラを乾拭きします。

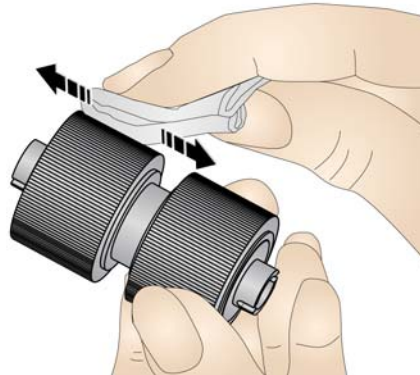
セパレーションローラタイヤのクリーニング手順

1. セパレーションローラのカバーを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。

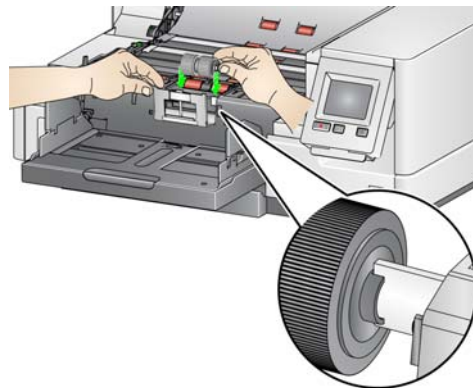
注：セパレーションローラのカバーはスプリングで留められています。セパレーションローラのカバーを引き上げ、セパレーションローラを取り外してから、セパレーションローラのカバーをゆっくりと元に戻します。



2. セパレーションローラタイヤを手で回転させながら、ローラクリーニングパッドで拭いてください。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。

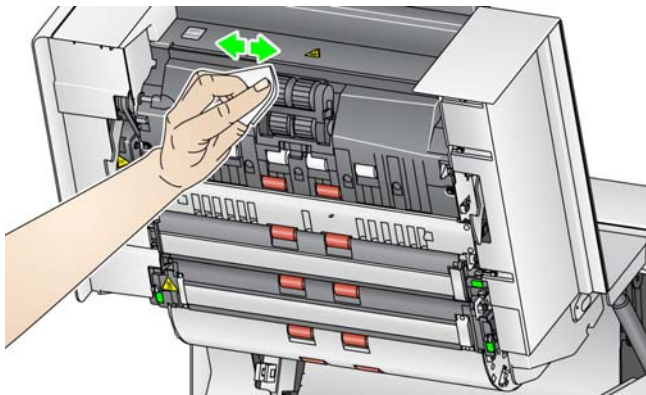


3. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆候が見られる場合は、タイヤを交換します。「交換手順」ページの 104 を参照してください。
4. セパレーションローラの溝とホルダを合わせて、ローラを取り付けます。



フィードモジュールタイヤの クリーニング手順

1. フィードモジュールタイヤは手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭きます。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。タイヤをクリーニングするときに、フィードモジュールを取り外す必要はありません。

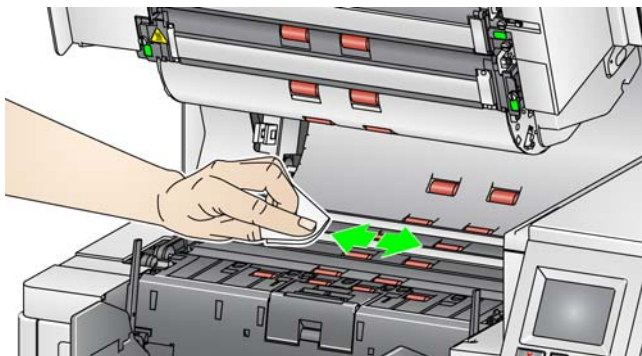


注： フィードモジュールのタイヤのクリーニングに静電クリーニングクロスまたはイメージングガイド クリーニング セットを使用しないでください。

2. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、フィードモジュールタイヤを交換します。「交換手順」ページの 104 を参照してください。

切替式ホワイトバックグラウンドストリップのクリーニング方法

1. 静電クリーニングクロス、または「ステップ 1」のイメージガイドクリーニングセットを使用して上下のバックグラウンドストリップを拭きます。

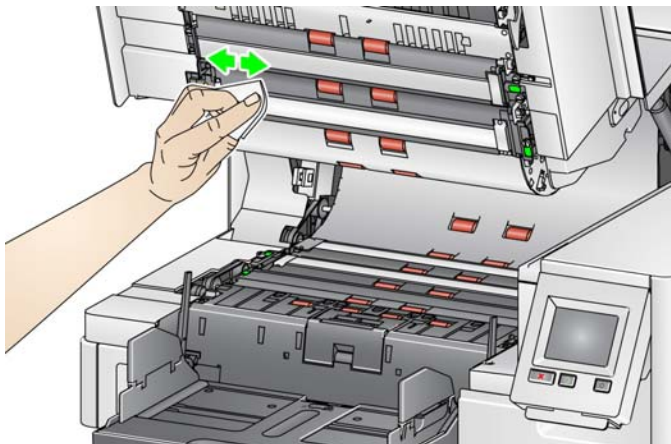


注： 搬送路のローラに触れないように注意してください。

2. 乾いた静電ワイプか「ステップ 2」のイメージングガイド・クリーニング・セットを使って、上下のバックグラウンドストリップを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

イメージングガイドのクリーニング

1. 静電クリーニングクロス、または「ステップ1」のイメージガイドクリーニングセットを使用して上下のイメージングガイドを拭きます。



2. 乾いた静電ワイプか「ステップ2」のイメージングガイド・クリーニングセットを使って、上下のイメージングガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。
3. スキャナーカバーを閉めます。
4. すべてのクリーニングを完了したら、スキャナーを起動します。

トランスポートクリーニングシートによる清掃

搬送路は、トランスポートクリーニングシートを数回通してクリーニングする必要があります。

1. トランスポートクリーニングシートの台紙を外します。
2. 入力エレベータと出力トレイサイドガイドを、最大幅まで広げます。
3. 入力エレベータの中央にトランスポートクリーニングシートを横長にセットします。このとき、粘着面を上にしてください。
4. 搬送路クリーニングシートのスキャンを行います。
5. 出力トレイからトランスポートクリーニングシートを取り出し、今度は粘着面を下にセットしてスキャンします。
6. ローラがきれいになるまで、ステップ3～5を繰り返します。

注：このシートが汚れたり粘着力が低下したら、廃棄して新しいシートを使用します。

クリーニングの最終手順

トランスポートクリーニングシートによるクリーニングが完了したら、次の作業を実行してください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. ほこりのない布を使用して上下のイメージングガイドの汚れを拭き取ります。
3. スキャナーカバーを閉じて、テスト用原稿をスキャンして、画質を確認してください。

交換手順

ここでは、次の部品の交換手順について説明します。交換頻度については、以下の説明を参考にしてください。

- **フィードモジュールタイヤとセパレーションローラタイヤ (Kodak 薄紙専用フィードモジュールを含む)** — タイヤの寿命は、用紙の種類、環境、汚れ具合によって異なります。タイヤ寿命はおおよそ原稿 500,000 枚ですが、実際は条件によって異なります。フィーダの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。セパレーションローラタイヤは、フィードモジュールタイヤよりも早く磨耗します。フィードモジュールタイヤの交換時には、4 つすべてのタイヤを同時に交換する必要があります。セパレーションローラタイヤの交換時には、両方のタイヤを同時に交換する必要があります。
- **フィーダモジュールとセパレーションローラ (Kodak 薄紙専用フィーダキットを含む)** — タイヤを 4 回交換する毎に、新しいフィードモジュールとセパレーションローラに交換することをお勧めします。新しいフィードモジュールとセパレーションローラは同時に交換してください。
- **プリセパレーションパッド (Kodak 薄紙専用フィーダキットを含む)** — フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤを変更する毎に一度はプリセパレーションパッドを変更することをお勧めします。
- **イメージングガイド** — イメージングガイドに傷が付き、イメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換してください。

注：このセクションの図は、実際に交換する消耗品によって若干異なる場合があります。たとえば、薄紙専用フィーダキットは、標準のフィードモジュールと外観が若干異なります。ただし交換手順は同じです。

オペレータは消耗品の交換時にメータをリセットする必要があります。消耗品を交換しても、メーターは自動的にリセットされません。メータにはスキャンしたページ数が示されます。メンテナンスメータの表示および使用の詳細については、「メンテナンスメータの表示」ページの 32 を参照してください。

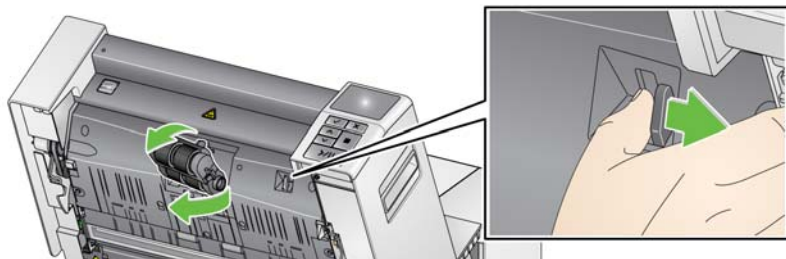
注：部品の交換時は、スキャナーの電源を切ってください。

フィードモジュール、フィードモジュールタイヤの交換手順

最初にフィードモジュールを取り外します。フィードモジュールを取り外す方法は 2 つあります。

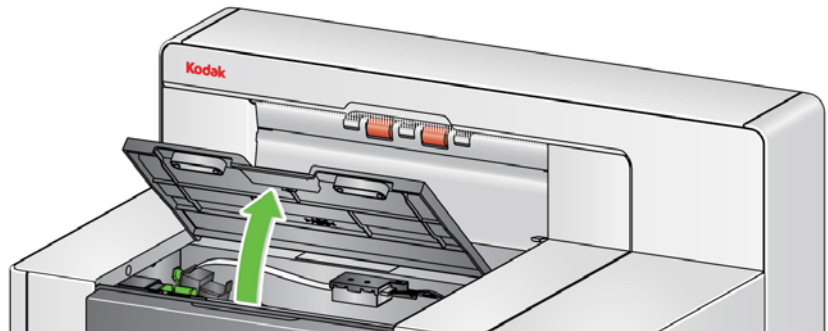
方法 1：

1. スキャナーカバーを開きます。
2. リリースタブを右に押してフィードモジュールをスキャナーから取り外します。

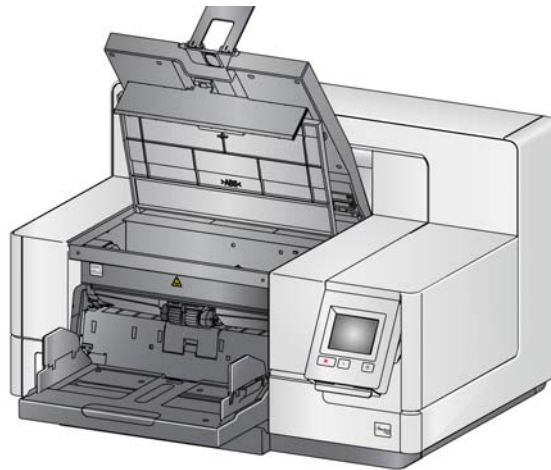


方法 2 :

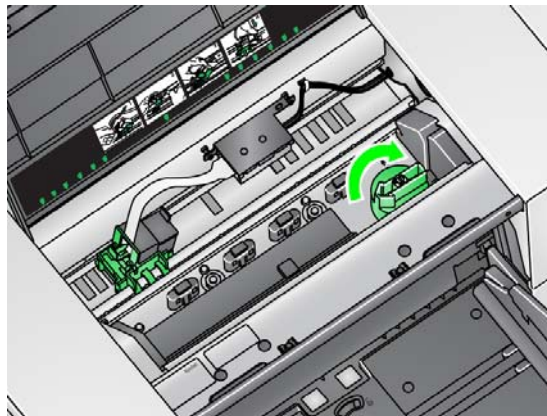
1. 出力トレイを取り外します。
2. プリンタアクセスカバーを持ち上げて開きます。



注： 出力トレイを取り外さない場合は、出力トレイの前面部を持ち上げてから、プリンタアクセスカバーを高さの調節タブの後ろに来るように持ち上げます。

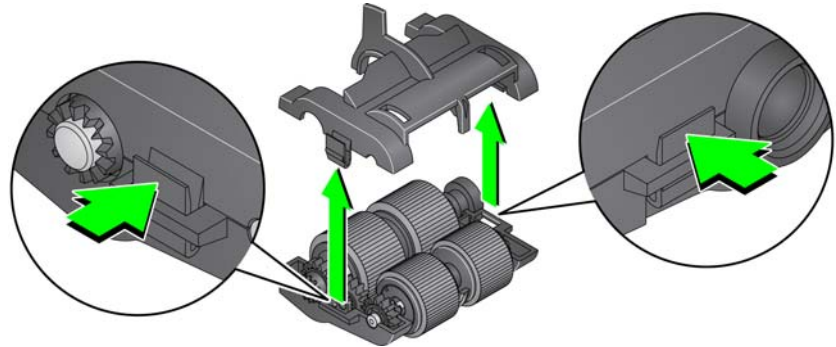


3. フィードモジュールのリリースノブをロック解除シンボルまで回転し、フィードモジュールを取り外します。

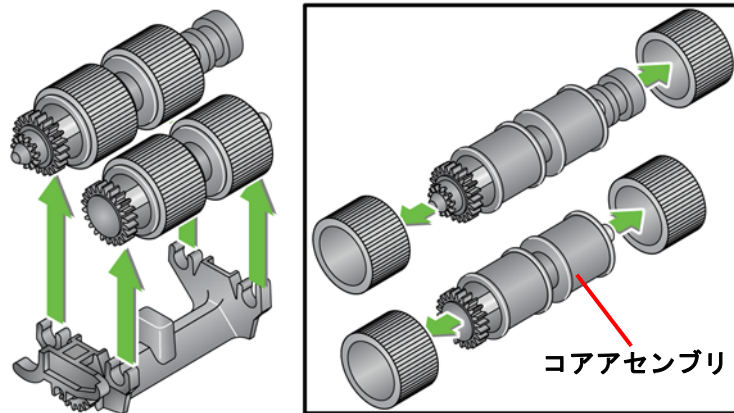


4. フィードモジュールを交換する場合は、ステップ 11 に進んでください。タイヤを交換する場合は、ステップ 5 に進んでください。

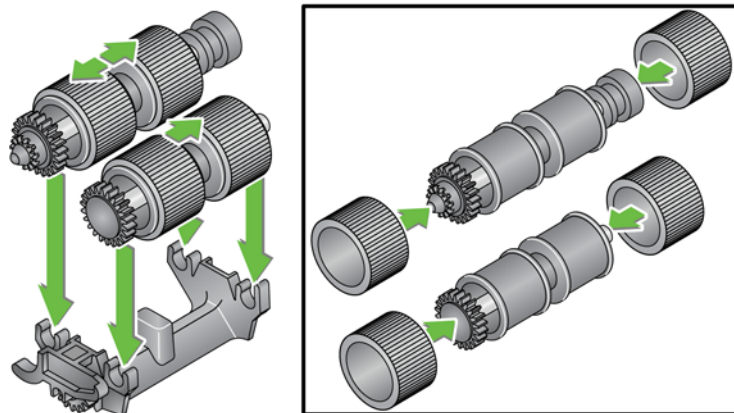
- 片手で固定用のタブ（両側に1つずつあります）を押しながら、もう一方の手で下部のカバーを押さえます。上部のカバーを引き上げて、モジュールから取り外します。



- 両方のローラを外します。
- 各タイヤをずらしてコアアセンブリから外します。

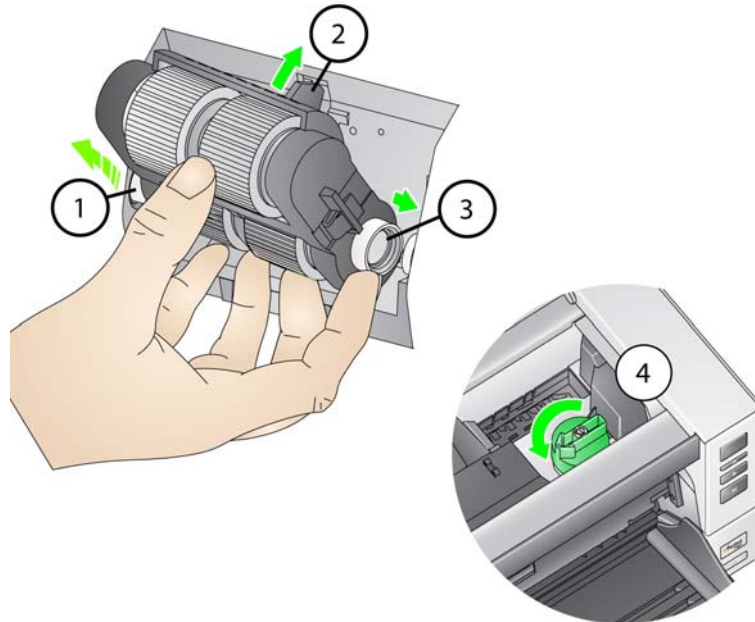


- 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながらコアアセンブリに取り付けます。タイヤの取り付け時に、向きを気にする必要はありません。
重要： タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。
- 各ローラをフィードモジュール下部カバーへ取り付け、上部カバーのタブを下部カバーの溝へ合わせます。



- 所定の位置にカチッと収まるまで、上下のカバーを同時に押し込みます。

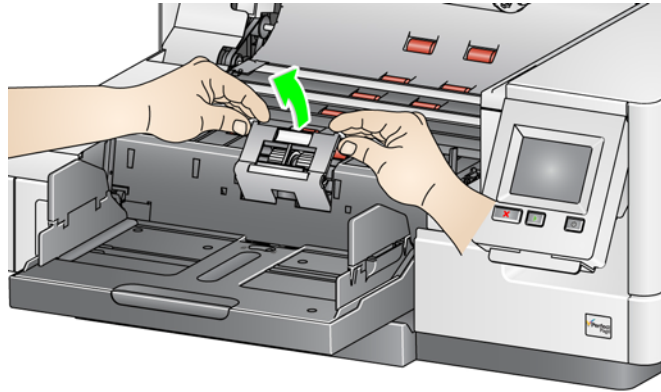
11. フィードモジュールの左側にピンを挿入し (1)、上部タブを溝に合わせます (2)。フィードモジュールの右側のピンを溝に合わせ (3)、緑色のフィードモジュールのリリースノブをロック済みシンボルまで回して (4) フィードモジュールを取付けます。フィードモジュールが正しい位置に収まり、取り付け後にスムーズに動くことを確認してください。



12. スキャナーカバーとプリンタアクセスカバーを閉めます。
13. 出力トレイを取り付けます。
14. 完了したら、オペレータコントロールパネルのメンテナンスメータを開き (「メンテナンスメータをリセットする場合 :」 ページの 33 を参照)、**[リセット]** アイコンをタッチしてフィードタイヤ / フィードモジュールメータをリセットします。

セパレーションローラ、セパレーションローラタイヤの交換手順

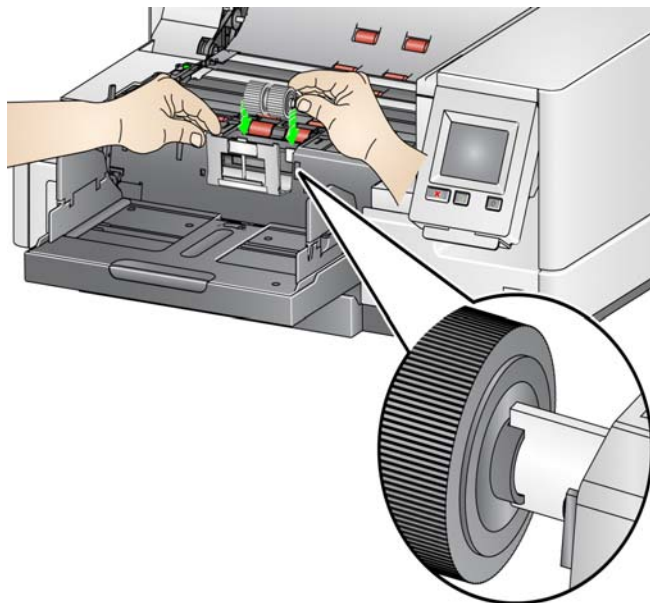
1. スキャナーカバーを開きます。
2. セパレーションローラのカバーを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。



注：セパレーションローラのカバーはスプリングで留められています。セパレーションローラのカバーを引き上げ、セパレーションローラを取り外してから、セパレーションローラのカバーをゆっくりと元に戻します。

セパレーションモジュールを交換する場合は、ステップ3と4に進んでください。セパレーションローラタイヤを交換する場合は、ステップ5に進んでください。

3. 新しいセパレーションローラを挿入します。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。



4. セパレーションローラのカバーをゆっくりと元に戻し、スキャナーカバーを閉じます。

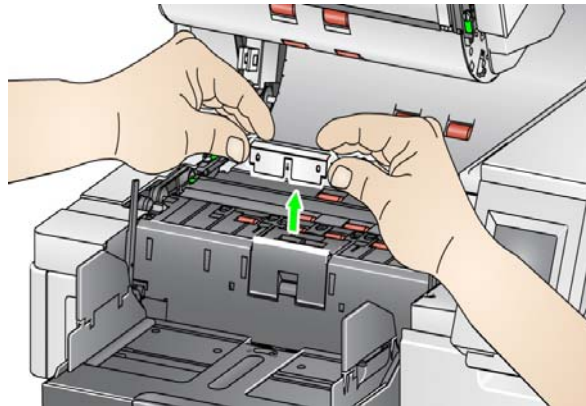
タイヤを交換するには、以下の手順に従います。

5. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。
6. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。
重要： タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。
7. セパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。
8. セパレーションローラホルダーを元に戻します。
9. スキャナーカバーを閉めます。
10. 完了したら、オペレータコントロールパネルのメンテナンスメータを開き（「メンテナンスメータをリセットする場合：」ページの 33 を参照）、**[リセット]**アイコンをタッチしてセパレーションローラタイヤ/セパレーションローラメータをリセットします。

プリセパレーションパッドの交換手順

原稿の重送の頻度が増えてきた場合は、プリセパレーションパッドを交換してください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて取り外します。
注： プリセパレーションパッドはぴったりと収まっているため、取り外しには多少、力が必要な場合があります。



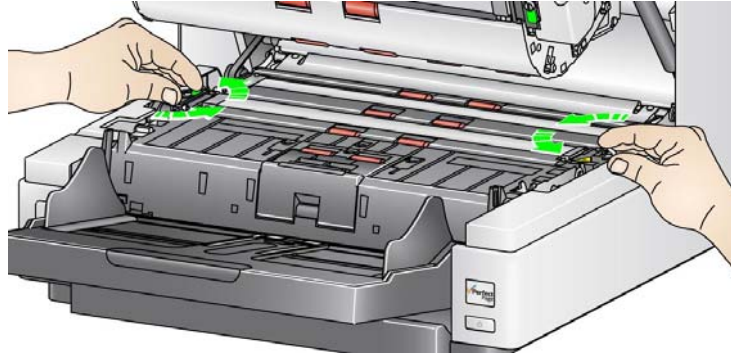
3. 新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。
4. スキャナーカバーを閉めます。
5. 完了したら、オペレータコントロールパネルのメンテナンスメータを開き（「メンテナンスメータをリセットする場合：」ページの 33 を参照）、**[リセット]**アイコンをタッチしてプリセパレーションパッドメータをリセットします。

イメージングガイドの交換 手順

イメージングガイドに傷が付き表示されたイメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換する必要があります。

注：イメージングガイドに指紋がつかないようにしてください。

1. スキャナーカバーを開きます。
2. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを回し、イメージングガイドを取り外します。

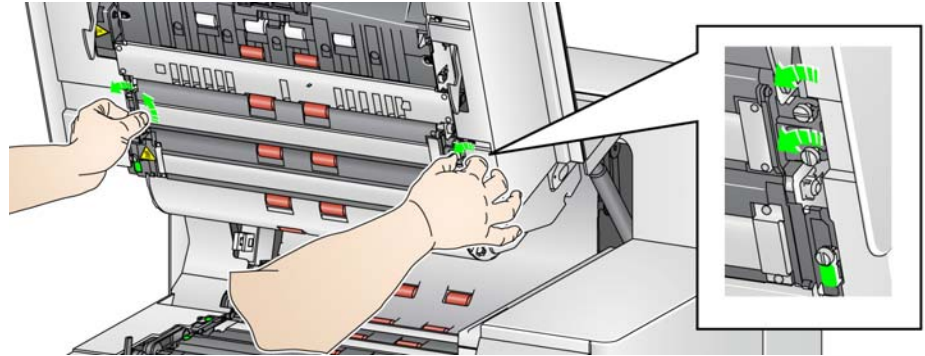


3. 新しいイメージングガイドを取り付け、ネジを締めてイメージングガイドを固定します。
4. 手順2～3を繰り返して、上部イメージングガイドを交換します。
5. スキャナーカバーを閉めます。

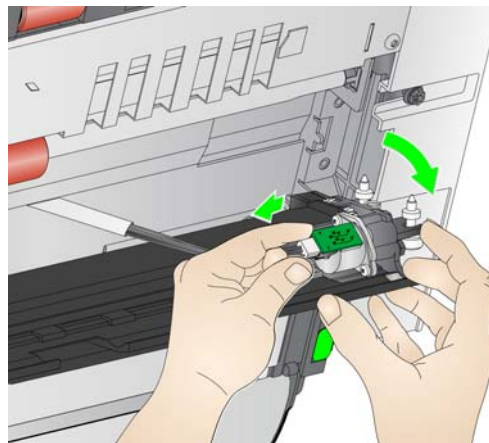
切替式ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法

切替式ホワイトバックグラウンドストリップを交換するには以下の手順に従ってください。

1. スキャナーの電源をオフにします。
2. スキャナーカバーを開きます。
3. 指、または添付のマイナスドライバを使用して、上部バックグラウンドストリップの両側にある2本のネジを緩め、外します。



4. バックグラウンドストリップのコネクタを取り外します。



5. 新しいバックグラウンドストリップ コネクタ をケーブルで接続します。正しく取り付けられていることを確認してください。
6. 新しいバックグラウンドストリップを取り付けて、両端にあるネジを締めます。
注： スプリングをスキャナーフレーム内のタブの上に揃えます。バックグラウンドが上下できることを確認します。
7. ステップ2～5を繰り返して、下部のバックグラウンドストリップを交換します。
8. スキャナーカバーを閉めます。

消耗品

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

消耗品	カタログ 番号
フィーダ交換キット	832 7538
フィーダ交換キット ラージパック	838 7938
フィーダ交換キット エクストララージパック	146 2415
イメージングガイドセット (プリンタなし用)	834 8054
イメージングガイド (プリンタ付き用)	871 4438
Kodak i5x50S イメージングガイド (プリンタなし用)	162 9500
Kodak i5x50S イメージングガイド (プリンタ付き用)	143 2244
Kodak i4x50/i5x50 切り替え式ホワイトバックグラウンド (プリンタなし用)	166 7641
Kodak i4x50/i5x50 切り替え式ホワイトバックグラウンド (プリンタ付き用)	161 2605
Kodak i5X50S バックグラウンド (プリンタなし用)	190 8979
Kodak i5X50S バックグラウンド (プリンタ付き用)	146 8933
薄紙専用フィーダ キット	844 5280
マニュアルフィーダ (i5250/i5650 スキャナー用)	167 3953
マニュアルフィーダ (i5850 スキャナー用)	169 4256
Kodak リード エッジ アラインメント 排紙トレイ アクセサリ	118 5859
i5250/i5650 スキャナー用背面排紙トレイアクセサリ	165 0621
プリンタアクセサリ	140 8756
i5850 プリンタアクセサリ (前部および後部)	121 3743
Kodak i5x50S 拡張プリンタアクセサリ	197 5168
インクプロッタ	125 7633
大容量インクカートリッジ 黒	818 3386
大容量インクカートリッジ 赤	159 6832
緑色 (HP-C6602G) および青色 (HP-C6602B) のインクカートリッジを使用することもできますが、ヒューレット・パッカード社の販売代理店でのみ取り扱っています。	N/A
拡張プリンタ : インクカートリッジホルダ	176 3218
66.04 cm (26 インチ) 延長トレイ (1 個 / ボックス)	183 3946
76.2 cm (30 インチ) 延長トレイ (1 個 / ボックス)	162 6803
86.36 cm (34 インチ) 延長トレイ (1 個 / ボックス)	149 8476
トランスポートクリーニングシート (50 枚入り)	169 0783
ローラークリーニングパッド (24 枚入り)	853 5981
Kodak 静電クリーニングクロス (144 枚入り)	896 5519
Kodak スキャナー用イメージングガイドクリーニングセット	826 6488

8 トラブルシューティング

問題解決

次の表を参照して、Kodak i5x50 スキャナーの使用時に発生する問題の解決方法を確認してください。

問題	解決方法
紙詰まりが発生している、または、原稿が重送する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての原稿がサイズ、重さ、種類など、付録 A の「仕様」の要件を満たしている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • すべてのローラとタイヤがクリーニングされ、セパレーションローラとフィードモジュールが適切に取り付けられている。「7 メンテナンス」ページの 97 の手順を参照してください。 • ローラやタイヤの交換時期を確認するために、オペレータコントロールパネルのメンテナンスメータを確認してください。 • すべての原稿がフィーダで中央にセットされ、各原稿の先端がフィードローラに接触するようになっている。 • 特殊な素材や表面の原稿は手動、または別の排紙方法設定（薄紙、厚紙、デリケート）を使用して給紙します。詳細については、ISIS ドライバ、TWAIN データソース、VRS のスキャンセットアップガイドを参照してください。 • ギャップリリース切り替えスイッチがリリース状態になっていない。 • 給紙しやすくするため、原稿をぱらぱらとめくってください。 • 重送状態になることが予め分かっている場合は、重送検知を無視するために、[スキャン] 画面で [重送検知をスキップ] を選択してください。 <p>紙詰まりを解消するには：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力トレイから原稿を取り除きます。 • スキャナーカバーを開きます。 • 紙詰まりしている原稿を探して取り除きます。 • スキャナーカバーを両手で閉じ、スキャンを再開します。
長尺原稿が給紙されない、または詰まる	<ul style="list-style-type: none"> • サイズの大きい原稿に対応できるよう、入力エレベータと出力トレイのエクステンションを引き出すか、オプションのドキュメント拡張装置を使用します。 • i5250/i5650/i5650S/i5850/i5850S スキャナー用：原稿の最長サイズが充分であることを確認します。最長原稿サイズは解像度とスキャン階調によって異なります。 • i5250V/i5650V スキャナー用：最長原稿サイズは常に 40 インチに設定されています。ユーザーは設定できません。 • 低い解像度や代替の出力フォーマットを設定します。
「フィーダーで金属が検出されました」というメッセージが OCP に表示される	<ul style="list-style-type: none"> • ホッチキス検出が有効の場合、ホッチキスやペーパークリップが原因でスキャナーが停止し、OCP にこのメッセージが表示されます。 • フォイル（小切手のフォイルホログラムなど）が金属センサにホッチキスとして読み取られます。
イメージ品質が悪い、または低下する	<p>スキャナーとイメージングガイドが汚れていないか確認してください。第 7 章の「メンテナンス」を参照してください。</p>

問題	解決方法
紙詰まりの誤検出または重送が起こる	<ul style="list-style-type: none"> • 搬送部が汚れていないか確認します。 • 別の排紙方法の設定を選択します。詳細については、ISIS ドライバ、TWAIN データソース、VRS のスキャンセットアップガイドを参照してください。 • 超音波重送検知の再キャリブレーションを実行します。 • ご使用のスキャンアプリケーションの重送感度設定を調整します。詳細については、ISIS ドライバ、TWAIN データソース、VRS のスキャンセットアップガイドを参照してください。
スキャナーが原稿をスキャンまたは給紙しない	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードが接続され、電源が入っている。 • [電源] ボタンが押され、緑色の LED が点灯している。 • スキャナーカバーが完全に閉じられている。 • 原稿がフィードモジュールに送られ、用紙センサを通過している。 • 原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。 • 原稿が厚い場合、ギャップリリース切り替えスイッチを切り替えてフィードします。 • フィードモジュールおよびセパレーションローラに摩耗の兆候がないか確認し、必要に応じて交換します。 <p>また、スキャナーの電源をいったん落としてから、もう一度入れ直してみてください。</p>
スキャナーの動作が遅すぎる	<ul style="list-style-type: none"> • ホスト PC がスキャナーの最低要件を満たしていない場合があります。「付録 A 仕様」ページの 117 を参照してください。 • イメージ処理機能の中には、スキャナーの速度が遅くなる機能もあります。 • 解像度 (dpi) の設定が高すぎる可能性があります。 • 圧縮設定が充分でない可能性があります。 • ウィルス対策ソリューションが、すべての TIFF または JPEG ファイルをスキャンしている可能性があります。 • ローカルドライブをスキャンしていることを確認してください。 • ソートオプションによってスキャナーの速度が低下する場合があります。
スキャン中に原稿が斜めになる	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力エレベータのサイドガイドが給紙する原稿に合わせて調整されている。 • 原稿がフィードモジュールに対して垂直に給紙されている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • フィードモジュール、セパレーションローラ、ドライブローラが汚れていない。 • スキャナーカバーが完全に閉じられている。
スキャナーがスキャン中に長時間休止する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホスト PC のスペックがスキャンの最小要件を満たしている。「付録 A 仕様」ページの 117 を参照してください。 • ハードディスクドライブに十分な空き領域がある。 • 他のアプリケーションがすべて終了している。 • USB2.0 を接続に使用している。 <p>スキャンアプリケーションのスキャンオプション（圧縮、解像度、出力形式など）を変更することもできます。</p>

問題	解決方法
スキャンした原稿にローラの跡や筋が付く	フィードモジュール、セパレーションローラ、タイヤをクリーニングします。第7章の「メンテナンス」を参照してください。
イメージに縦線が現れる	<ul style="list-style-type: none"> イメージングガイドをクリーニングしてください。第7章の「メンテナンス」を参照してください。 スキャンアプリケーションで[原稿フィルタ]オプションを有効にするか、設定値を上げます。
「USB 接続エラー」というメッセージが OCP に表示される	<p>フラットベッドスキャナーを i5x50 スキャナーで使用している場合、スキャナーの電源を入れる順序が重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初にフラットベッドスキャナーの電源を入れて、 次に i5x50 スキャナーの電源を入れます。 電源を入れる順序を間違えると、USB 接続エラーのメッセージが OCP に表示される場合があります。
重送ページが間違った排紙口に送られる	<p>重送ページは後部排紙口に送るように設定していて、重送検知時の動作を「用紙を搬送路に残す」（停止または一時停止）に設定している場合に、重送ページが後部排紙口に送られない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重送検知時の動作を「用紙を搬送路に残す」にしないようにしてください。

電源ボタン/インジケータライト

緑の点灯：スキャナーが [準備完了] モードです。

黄色の点滅：スキャナーが [省電力] モードです。

黄色の点灯：スキャナーが [スタンバイ] モードです。

ソフトウェアのアップグレード

Kodak Alaris では問題の修正と新機能の追加のため、ドライバとファームウェアをアップデートしています。エラーが発生時は、テクニカルサポートに連絡する前に最新のスキャナーソフトウェアバージョンを実行していることを確認してください。次のアドレス、www.kodakalaris.com/go/IMsupport で、**i5x50** のソフトウェアとドライバにアクセスして、最新のアップグレードをダウンロードしてください。

サービスセンターへの問い合わせ

- www.kodakalaris.com/go/IMcontacts にアクセスして、お住まいの国の最新の電話番号を入手してください。
- お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。
 - 障害の内容
 - スキャナのモデルとシリアル番号
 - コンピュータの構成
 - お使いのスキャンアプリケーション

付録 A 仕様

スキャナーの種類 / 速度	<ul style="list-style-type: none"> • i5250/i5250V スキャナー : 毎分 150 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り、通常排紙) 処理するデスクトップ両面カラーレスキャナーです。 • i5650/i5650V/i5650S スキャナー : 毎分 180 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り、通常排紙) 処理するデスクトップ両面カラーレスキャナーです。 • i5850/i5850S スキャナー : 毎分 210 枚 (200/300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、A4 横送り、通常排紙) 処理するデスクトップ両面カラーレスキャナーです。
スキャンテクノロジー	デュアル CCD
出力解像度	100、150、200、240、250、300、400、500、600 dpi
出力ファイルフォーマット	TIFF、JPEG
スキャン領域	i5250/i5650/i5650S/i5850/i5850S : 最大 30.5 x 457.2 cm i5250V/i5650V : 最大 30.5 x 101.6 cm
フィーダ積載枚数	750 枚 (20 lb. (80 g/m ²) ボンド紙)
一日の推奨処理枚数	制限なし
光源	LED
入力電源	100 ~ 240V (海外対応)、50/60 Hz
外形寸法 <i>i5250/i5650/i5650S</i> スキャナー <i>i5250V/i5650V</i> スキャナー <i>i5850/i5850S</i> スキャナー	<p>入力エレベータを開状態 : 高さ : 43.4 cm 幅 : 69.3 cm 奥行き : 65.3 cm</p> <p>入力エレベータを閉状態 : 高さ : 43.4 cm 幅 : 69.3 cm 奥行き : 51 cm</p> <p>高さ : 106.7 cm ~ 130.8 cm 幅 : 69.3 cm 奥行き : 82.3 cm</p>
重量 (開梱時)	i5250/i5650/i5250V/i5650V スキャナー : 57.6 kg i5650S スキャナー : 65.0 kg i5850 スキャナー : 185.9 kg i5850S スキャナー : 192.8 kg
重量 (梱包時)	i5250/i5650/i5250V/i5650V スキャナー : 69.0 kg i5650S スキャナー : 90.3 kg i5850 スキャナー : 257.2 kg i5850S スキャナー : 282.1 kg
インターフェース	高速 USB 2.0、USB 3.0 対応
動作温度	59°F ~ 95°F (15°C ~ 35°C)

湿度	相対湿度：15～76%
環境要因	Energy Star 認証スキャナー
消費電力 - スキャナー	待機時 - スキャン停止中：115W 未満（全モデル） 稼働時 - スキャン中： 215W 未満（i5250/i5250V/i5650/i5650V/i5650S スキャナー） 250W 未満（i5850/i5850S スキャナー） 省電力モード：3.5W 未満 低電力：0.5W 未満
騒音レベル （操作位置の音圧レベル）	スキャン中：65 dB(A) 未満 スタンバイ時：42.3 dB(A) 未満

システム要件

Kodak i5x50 スキャナーの使用に推奨するシステム構成は以下のとおりです。

i5250/i5650/i5850 スキャナーの場合	PC：2.7 GHz 以上で動作する Intel® Core™ i5（Sandy Bridge 以降）、USB 3.0 (Super Speed) または USB 2.0 (High Speed)、4 GB RAM 以上
i5250V/i5650V スキャナーの場合	PC：Intel® Core™ Quad、3GHz、4 GB RAM、USB 2.0 以上
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows XP、SP3（TWAIN データソースのみ） • Microsoft Windows Vista; SP1 • Microsoft Windows Vista x64 Edition • Microsoft Windows 7（32 および 64 ビット） • Microsoft Windows 8（32 および 64 ビット） • Microsoft Windows 8.1（32 および 64 ビット） • Microsoft Windows 10（32 および 64 ビット）
ドライバ：	Windows OS：TWAIN、ISIS、WIA VRS（Kodak i5250V および i5650V スキャナーのみ）

付録 B 保証 一米国、カナダ限定

Kodak スキャナーをご購入いただき、ありがとうございます。Kodak スキャナーは、お客様に最高レベルのパフォーマンスと信頼性をお届けします。すべての Kodak スキャナーは次の限定保証の対象となります。

Kodak スキャナーの限定保証

Kodak Alaris 社は、Kodak Alaris または Kodak Alaris 認定小売チャネルを通じて販売された、Kodak スキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

Kodak Alaris 社は、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、Kodak スキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定の Kodak スキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべての Kodak スキャナーには以下の保証除外規定が適用されます。欠陥がある、または製品仕様に準拠していない Kodak スキャナーは、Kodak Alaris の判断により、修理、新製品または代替製品と交換いたします。

購入者は、www.kodakalaris.com/go/IMsupport にアクセスする、または Kodak スキャナーに同梱されている限定保証の概要のカードを見て、購入した Kodak スキャナーに適用される限定保証期間を確認できます。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

Kodak Alaris の限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後に Kodak スキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) Kodak Alaris にスキャナーを送り返す際に、現行の Kodak Alaris の梱包材と輸送のガイドラインにしたがってスキャナーを梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に輸送中の損害を防ぐ手段を講じなかった、または、使用前にこれらの手段を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザーのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、製品またはコンポーネントのシステムエンジニアリング、移動や廃棄、データの再構築によって損害が生じた（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、シールの破損を含む）。(c) Kodak Alaris、または Kodak Alaris の正規修理店以外によってサービス、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、Kodak Alaris 製品の模造コンポーネントや Kodak Alaris 社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者の誤動作、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（推奨されている手順や仕様に従わなかった、Kodak Alaris の承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリの使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼働環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電 (ESD) 保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアの更新やリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目によって損害が生じた。これらの追加項目はオンライン (www.kodakalaris.com/go/IMsupport) で確認可能。

Kodak Alaris では、米国およびカナダ以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

Kodak Alaris では、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM (Original Equipment Manufacturer) により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と断り書き

Kodak Alaris では、原因のいかんを問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらの Kodak Alaris が保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、またこれに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

Kodak スキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読むことで、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られます。ただし、追加のテクニカルサポートが必要な場合は、当社の Web サイト (www.kodakalaris.com/go/IMsupport) へアクセスいただくか以下へご連絡ください。Kodak Alaris サポートセンター：(800) 822-1414

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

お問い合わせになる前に、該当する購入者は Kodak スキャナーのモデル番号、パーツ番号、シリアル番号、購入を証明できるものをご用意ください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザーが問題を解決できるように、電話でお手伝いします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題が Kodak スキャナーにあるかまたは別のコンポーネントにあるのか、問題を電話で解決できるか、サポートセンターでの判断に役立てるためです。サポートセンターが、ハードウェア障害が限定保証や購入されたサービス保守契約の範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号（返品認証番号）が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理か交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、Kodak スキャナー保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。Kodak Alaris では、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者は Kodak スキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加のアイテム（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。Kodak Alaris はこれらの品目について責任を負わず、修理または交換した Kodak スキャナーと一緒に返送されません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、Kodak Alaris に返送してください。購入者は Kodak スキャナーを発送する前に、梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となる Kodak スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号 (RMA) を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak Alaris の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、Kodak スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザーは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。Kodak Alaris では、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

Kodak Alaris は限定保証をサポートし、Kodak スキャナーの使用および取り扱い（サービス方法）を支援する、様々なサービスプログラムを提供しています。Kodak スキャナーは重要な投資です。Kodak スキャナーは、競争力を維持するために必要な生産性を発揮します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは、修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高価なものになりえます。これらの問題を避けるために、Kodak Alaris では限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって、以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

選択した Kodak スキャナーには限定保証登録カードと限定保証概要カードが付属しています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定の Kodak スキャナーに適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証の概要カードが見つからない場合、製品に関する情報（最新の保証やサービスプログラムに関する情報や制限を含む）は、ネット上 (www.kodakalaris.com/go/IMsupport) で入手できます。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが見当たらない場合は、ネット上 (www.kodakalaris.com/go/IMsupport) で登録できます。

Kodak Alaris はまた、Kodak スキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。Kodak Alaris では、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく努力しています。

当社は、製造終了後、最低 5 年間はスペア部品と消耗品を供給いたします。

出張サービス

選択した Kodak スキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアプログラムを確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の 48 州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナーにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、Kodak Alaris の技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社の Web サイト (www.kodakalaris.com/go/IM) を参照してください。出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの現地時間で午前 8 時から午後 5 時の間に実施されています。

AUR (アドバンスユニット交換)

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定の Kodak スキャナーの該当する購入者に対し、Kodak Alaris は 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のある Kodak スキャナーについて、事前に交換を行います。AUR を利用するには、対象となる購入者は RMA 番号を取得し、アドバンス交換合意書に署名し、交換用製品を確保するためのクレジットカードへの課金に了承します。RMA 番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示がファックスで送信されます。サービスのリクエストが始まり、Kodak Alaris が署名された合意書を受け取ってから 2 営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザーが交換用製品を受け取ってから 10 日以内に Kodak Alaris に届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザーのクレジットカードに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、Kodak Alaris が送料を負担し、輸送手段を選択します。Kodak Alaris の指示や、Kodak Alaris が希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品を Kodak Alaris に返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ (電源コードやマニュアルを含む) を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

ディーポサービス

Kodak スキャナーが AUR またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はディーポ修理サービスを利用できます。対象となる購入者は、最寄の正規ディーポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任をもつものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ (電源コードやマニュアルを含む) を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている箱を使用して、Kodak Alaris に返送してください。Kodak スキャナーは、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、Kodak Alaris のサポートセンター (電話: 800-822-1414) に、新しい梱包用品の注文方法を問い合わせてください。Kodak スキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号 (「RMA」) を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内に Kodak の現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、Kodak スキャナーをエンドユーザーの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

資格: アドバンス交換プログラムおよびディーポサービスは米国 50 州の該当する購入者が利用でき、オンサイトサービスは隣接した 48 州、アラスカおよびハワイの特定の領域で Kodak Alaris の認定ディストリビュータから購入した製品に対して利用できます。Kodak スキャナーは、購入者が Kodak Alaris のその時点で有効な梱包および発送のガイドラインに従って欠陥のある製品を返送しなかった場合など、製品が Kodak Alaris のその時点で有効な保証除外規定を満たさない場合、保証内のいかなるサービスも受けられません。購入者は、Kodak スキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザー」とみなされます。

消耗品: 消耗品は、通常の使用において消費され、必要に応じてエンドユーザーによって交換される品目です。消耗品や備品など、および、ユーザーズガイドでユーザーの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

Kodak Alaris が交換した製品や部品は、Kodak Alaris の所有となります。

Kodak Alaris へのお問い合わせ

Kodak スキャナーに関する情報 :

Web サイト : www.kodakalaris.com/go/IM

米国内の電話によるサービス、修理、技術サポート

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 5 時から午後 5 時まで営業しています。電話 : (800) 822-1414

技術文書と FAQ (24 時間) :

Web サイト : www.kodakalaris.com/go/IM

サービスプログラム情報 :

Web サイト : www.kodakalaris.com

電話 : (800) 822-1414



Kodak Alaris Inc.
2400 Mount Read Blvd.
Rochester, NY 14615

© 2016 Kodak Alaris Inc.
All rights reserved.

コダックの商標およびトレード
レスはイーストマンコダック社の
許可を受けて使用しています。